

米沢市  
子育て支援に関するアンケート調査  
報告書

令和6年10月

米沢市



# 目次

第1章 調査実施の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	2
(1) 年齢・学年の定義	2
(2) 電算処理の注意点	2
(3) グラフの見方について	2
第2章 調査対象者・回答者の属性	3
I. 調査対象者・回答者の属性	3
1. 就学前児童の属性	3
(1) 回答者	3
(2) 配偶者の有無	3
(3) お住まいの小学校区	4
(4) 子どもの年齢	4
(5) 子どもの数	5
(6) 子育てを主に行っている人	5
2. 小学生の属性	6
(1) 回答者	6
(2) 配偶者の有無	6
(3) お住まいの小学校区	7
(4) 子どもの学年	7
(5) 子どもの数	8
(6) 子育てを主に行っている人	8
第3章 調査結果の分析	9
I. 子育て環境について	9
1. 子育てに日常的に関わっている人	9
2. 日常的に子どもを預かってもらえる人	10
(1) 日常的に子どもを預かってもらえる人の有無	10
(2) 親族に子どもをみてもらっている状況	11
(3) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況	12
3. 子育てや教育に関する相談について	13
(1) 子育てや教育についての相談先の有無	13
(2) 子育てや教育についての相談先	14
II. 就労状況について	15
1. 母親の就労状況	15
(1) 母親の現在の就労状況	15
(2) 母親の就労日数・時間	17
(3) 母親の出発時刻・帰宅時刻	19
(4) 母親のフルタイムへの転換希望	21
(5) 母親の今後の就労希望	22

(6) 母親が希望する就労形態 .....	24
2. 父親の就労状況 .....	26
(1) 父親の現在の就労状況 .....	26
(2) 父親の就労日数・時間 .....	27
(3) 父親の出発時刻・帰宅時刻 .....	29
(4) 父親のフルタイムへの転換希望 .....	31
(5) 父親の今後の就労希望 .....	32
(6) 父親が希望する就労形態 .....	33
III. 育児休業の取得について .....	34
1. 育児休業の取得について .....	34
(1) 育児休業取得の有無 .....	34
(2) 育児休業を取得していない理由 .....	35
IV. 平日の定期的な教育・保育事業の利用について .....	36
1. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 .....	36
(1) 定期的な教育・保育事業利用の有無 .....	36
(2) 利用している教育・保育事業 .....	37
(3) 1週当たりの利用日数・1日当たりの利用時間 .....	38
(4) 利用している教育・保育事業の実施場所 .....	42
(5) 利用している教育・保育事業についてよいと感じていること .....	43
(6) 教育・保育事業を利用していない理由 .....	45
2. 定期的に利用したい教育・保育事業について .....	47
(1) こども誰でも通園制度（仮称）が実施された場合の保育施設等の利用希望 .....	47
(2) 定期的に利用したい教育・保育事業 .....	48
(3) 教育・保育事業を利用したい場所 .....	49
(4) 幼稚園の強い利用希望の有無 .....	49
V. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について .....	50
1. 土曜日・日曜日・祝日の定期的な事業の利用希望 .....	50
(1) 土曜日・日曜日・祝日の定期的な事業の利用希望 .....	50
(2) 土曜日・日曜日・祝日にたまに利用したい理由 .....	53
2. 幼稚園長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望 .....	54
(1) 幼稚園長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望 .....	54
(2) 長期休暇期間中にたまに利用したい理由 .....	56
VI. 放課後の過ごし方について .....	57
1. 就学前児童の小学校就学後の放課後の過ごし方の希望 .....	57
2. 小学生の放課後の過ごし方 .....	60
(1) 現在の放課後の過ごし方 .....	60
(2) 今後の放課後の過ごし方の希望 .....	63
(3) 放課後児童クラブのよいと感じているところ .....	66
3. 土曜日・長期休暇中の放課後児童クラブの利用状況 .....	67
4. 土曜日・日曜日・祝日・長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望 .....	70
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用できなかった経験 .....	77
VII. 病気の際の対応について .....	82
1. 子どもの病気やけがの際の対応 .....	82

(1) 通常の教育・保育事業の利用や学校に行くことができなかったことの有無	82
(2) 子どもの病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法	83
(3) 病児・病後児保育事業の利用希望	84
(4) 病児・病後児保育事業の希望事業形態	86
(5) 病児・病後児保育事業を利用したいと思わない理由	87
(6) 父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか	88
(7) 仕事を休んで看ることが非常に難しい理由	89
VIII. 子育て支援事業の不定期な利用や、宿泊を伴う事業の利用状況について	90
1. 子育て支援事業の不定期な利用について	90
(1) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に子育て支援事業を利用したか	90
(2) 利用した子育て支援事業	91
(3) 不定期に子育て支援事業を利用しなかった理由	92
2. 不定期な子育て支援事業の利用希望について	93
(1) 私用、親の通院、不定期の就労の際の事業の利用希望の有無	93
(2) 不定期な子育て支援事業の利用目的	94
(3) 不定期な子育て支援事業の希望事業形態	95
3. 宿泊を伴う事業の利用状況について	96
(1) 短期入所生活支援事業（ショートステイ）の利用希望	96
(2) 短期入所生活支援事業（ショートステイ）の利用目的	97
IX. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について	98
1. 地域子育て支援拠点事業の利用状況	98
2. 地域子育て支援拠点事業の利用希望	99
X. ファミリー・サポート・センターについて	100
1. ファミリー・サポート・センターの利用について	100
(1) 過去1年間のファミリー・サポート・センターの利用の有無	100
(2) ファミリー・サポート・センターでもっとも役に立つ活動	101
(3) ファミリー・サポート・センターの現在の活動内容の満足度	102
2. ファミリー・サポート・センターの援助活動への参加意向	103
X I. 理想的な子どもの人数について	104
1. 理想的な子どもの数と持つつもりの子どもの数	104
2. 持つつもりの子どもの数が、理想より少ない理由	106
X II. 米沢市の子育て環境について	107
1. 施策の評価	107
2. 今後力を入れるべきこと	110
3. 地域の子育ての環境や支援の満足度	112
X III. 子育ての環境や支援に関するご意見について	113
<b>第4章 資料編</b>	<b>115</b>
I. 調査票（就学前児童用）	115
II. 調査票（小学生用）	126



# 第1章 調査実施の概要

## 1. 調査の目的

米沢市では、平成27年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」に基づき、「米沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育てしやすい環境づくりのための諸施策を総合的に推進してきた。

今回、令和7年から始まる第3期計画を策定するにあたり、子育てをされているご家庭の現状とニーズを的確に把握・分析し、計画策定の基礎資料とするためのアンケート調査を実施することとした。

## 2. 調査の設計

調査対象	令和6年5月1日時点で米沢市住民基本台帳に登録されている就学前児童・小学生が属する世帯
抽出方法	①就学前児童が属する世帯：1,500世帯（各歳別に250件ずつ抽出） ②小学生が属する世帯：1,500世帯（各学年別に250件ずつ抽出）
調査方法	郵送配布－郵送回収・WEB回収
調査期間	令和6年6月14日～令和6年7月1日 （令和6年7月29日までの回収票も有効としている）
企画実施	米沢市健康福祉部子育て支援課
集計・分析	株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

## 3. 回収結果

	配布数	有効回収数	回収率
①就学前児童	1,500人	729人	48.6%
②小学生	1,500人	795人	53.0%

#### 4. 報告書の見方

国の資料及びニーズ調査票では「就学前児童」と「就学児童」の名称を使用しているが、本調査では違いを明確にするため、「就学児童」を「小学生」と表記している。

##### (1) 年齢・学年の定義

就学前児童の年齢定義は、アンケート調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計した。なお、小学生は学年を回答しているため、それに基づいて集計した。

年齢区分	該当する生年月	年齢区分	該当する生年月
0歳児	令和5年4月～令和6年4月	3歳児	令和2年4月～令和3年4月
1歳児	令和4年4月～令和5年4月	4歳児	平成31年4月～令和2年4月
2歳児	令和3年4月～令和4年4月	5歳児	平成30年4月～平成31年4月

(注) 調査期間【令和6年度】における年齢定義

##### (2) 電算処理の注意点

- ◆ 調査数 (n=Number of cases) とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ◆ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、合計すると100%にならない場合がある。
- ◆ 回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える。

##### (3) グラフの見方について

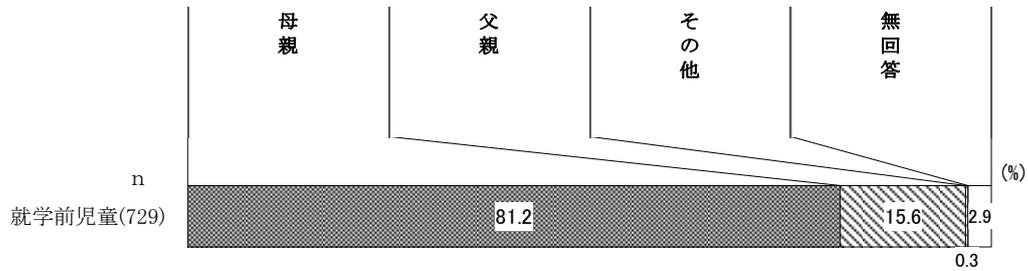
- ◆ 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

## 第2章 調査対象者・回答者の属性

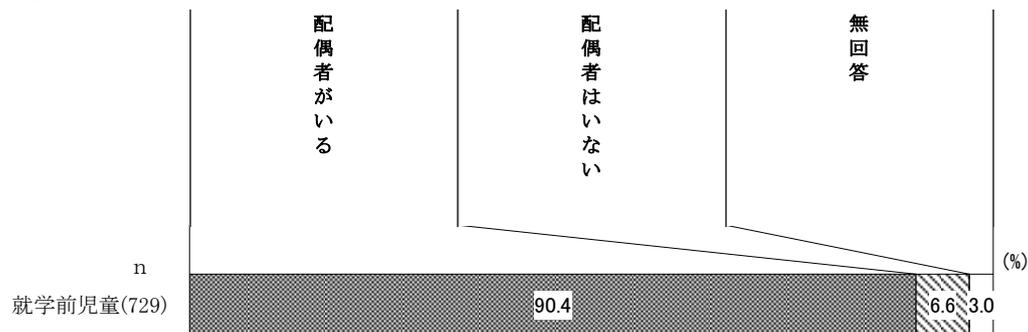
### I. 調査対象者・回答者の属性

#### 1. 就学前児童の属性

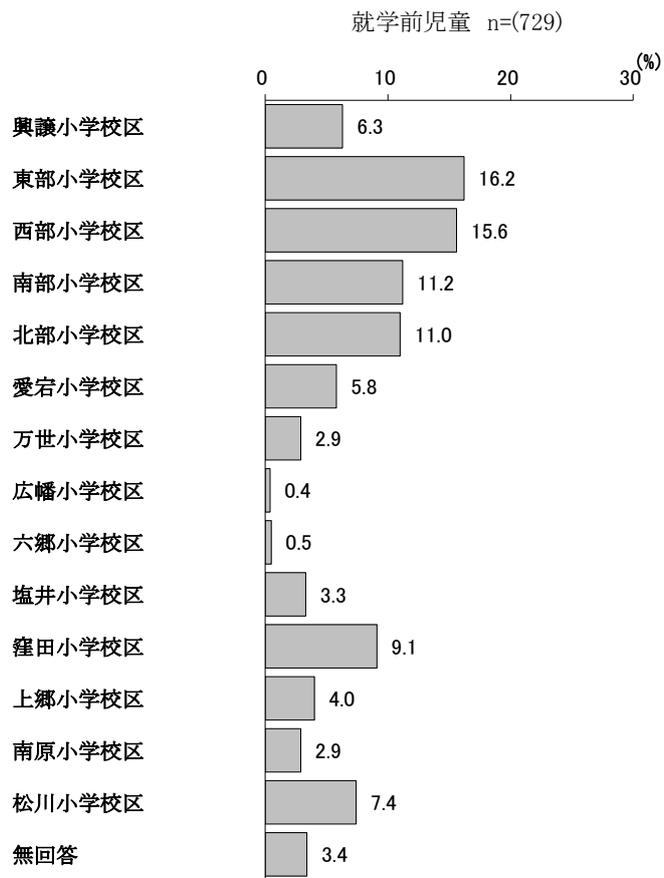
##### (1) 回答者



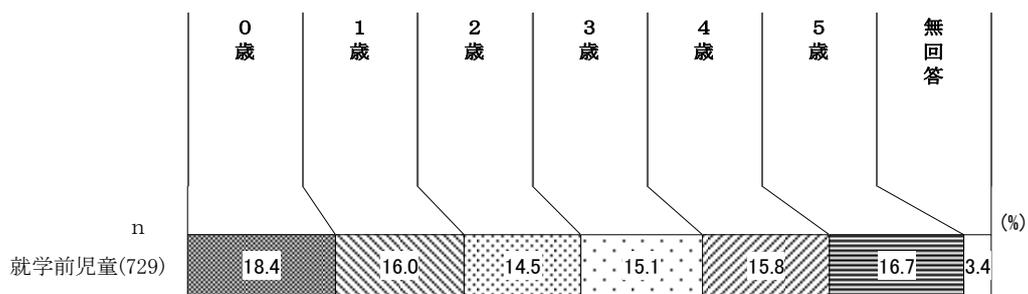
##### (2) 配偶者の有無



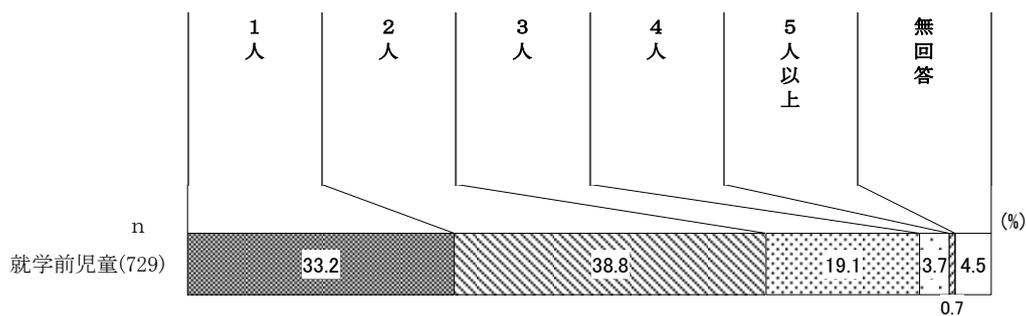
(3) お住まいの小学校区



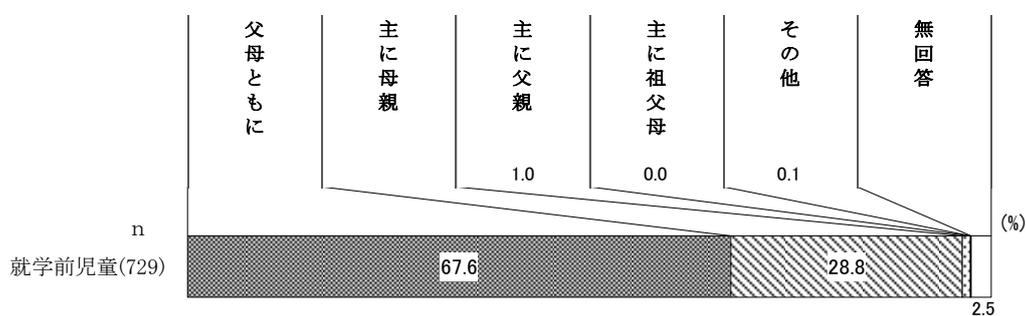
(4) 子どもの年齢



(5) 子どもの数

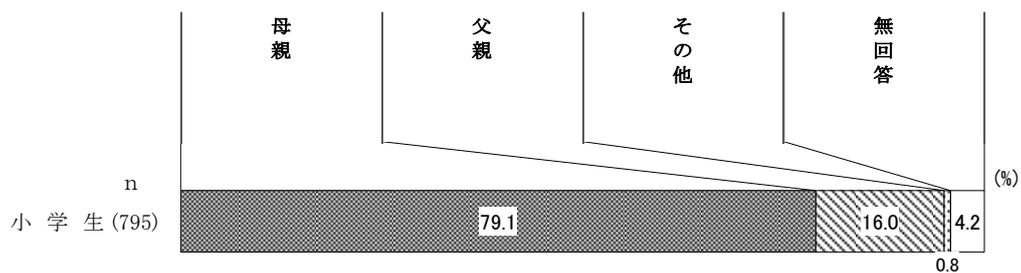


(6) 子育てを主に行っている人

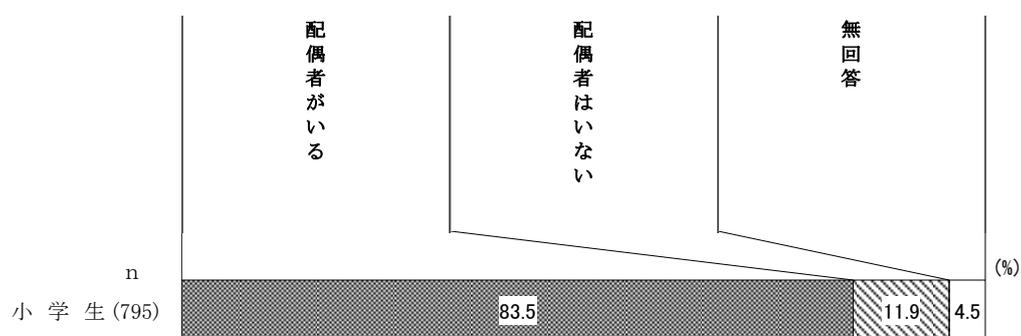


## 2. 小学生の属性

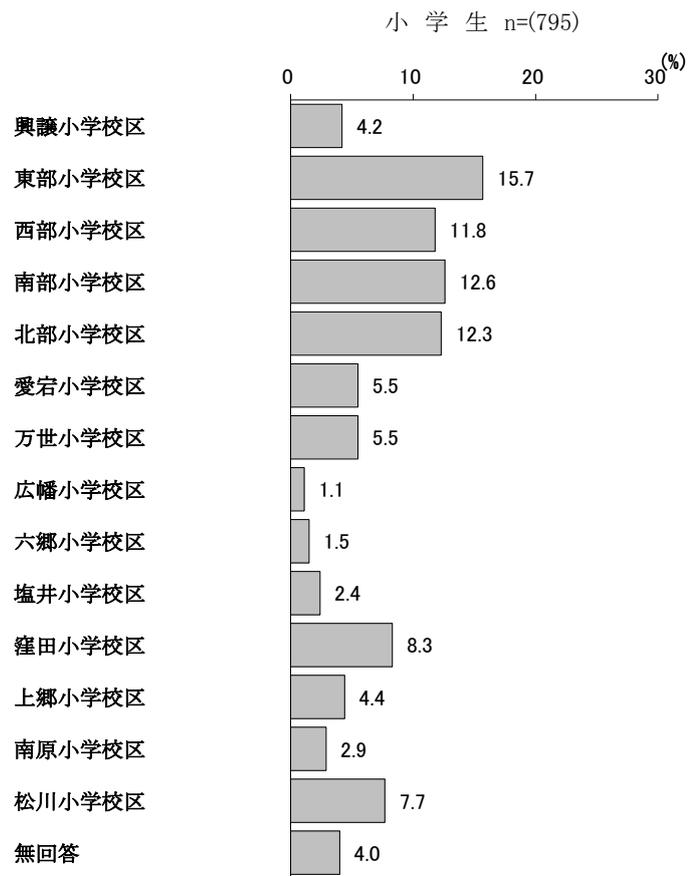
### (1) 回答者



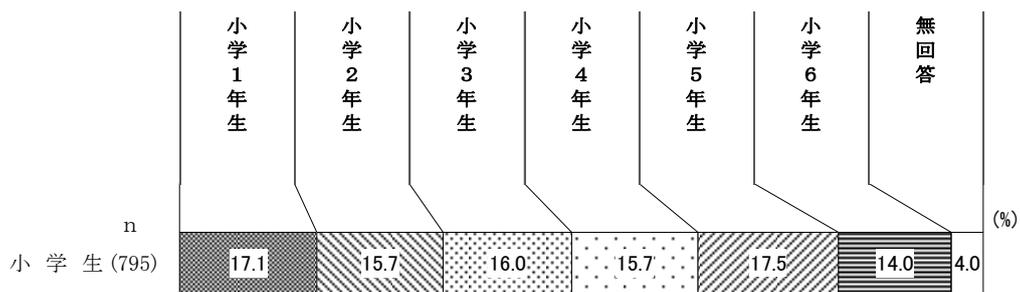
### (2) 配偶者の有無



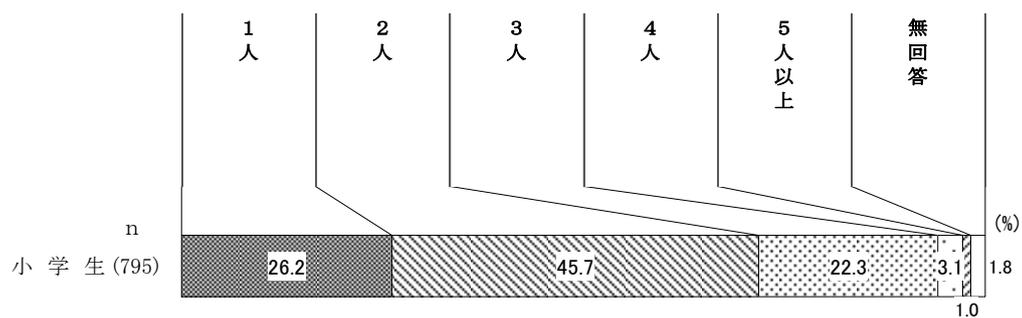
(3) お住まいの小学校区



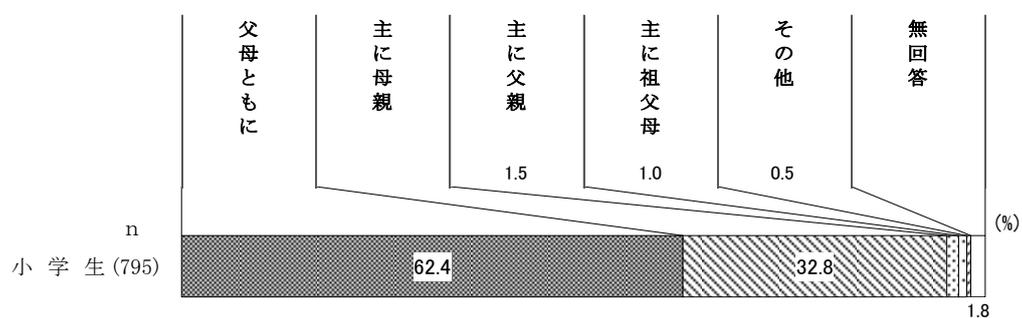
(4) 子どもの学年



(5) 子どもの数



(6) 子育てを主に行っている人



# 第3章 調査結果の分析

## I. 子育て環境について

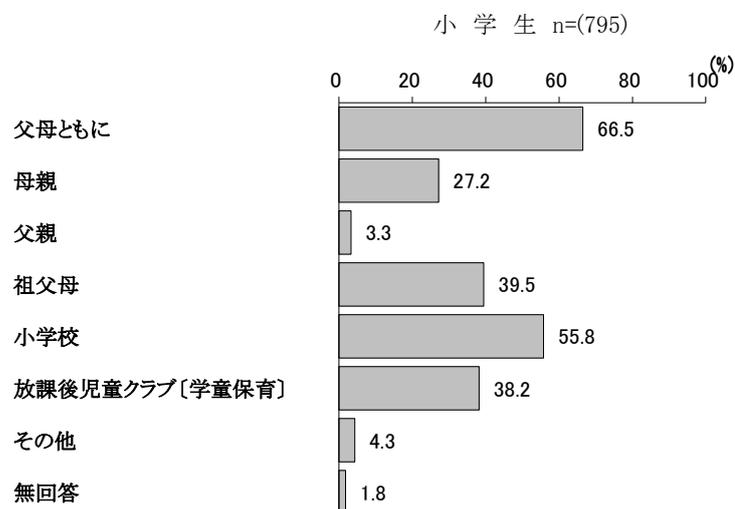
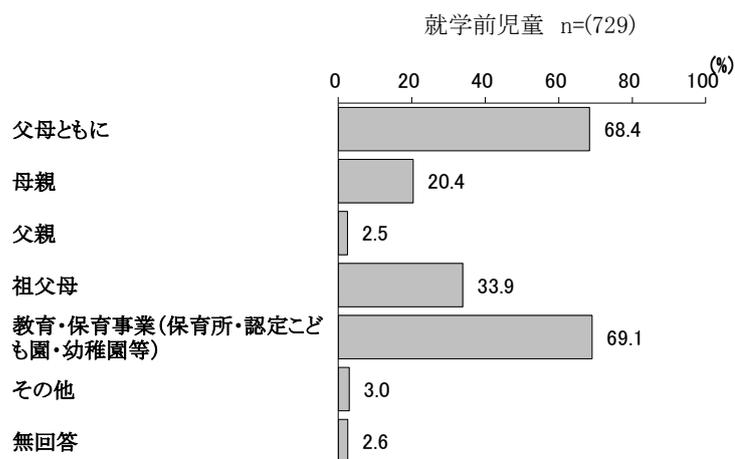
### 1. 子育てに日常的に関わっている人

・子育てに日常的に関わっている人をみると、就学前児童では「教育・保育事業（保育所・認定こども園・幼稚園等）」（69.1%）と「父母ともに」（68.4%）がともに多く、以下「祖父母」（33.9%）となっている。小学生では「父母ともに」（66.5%）が最も多く、以下「小学校」（55.8%）、「祖父母」（39.5%）となっており、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」も 38.2%と「祖父母」（39.5%）と約 1.3 ポイント差となっている。

#### 【就学前児童 問7】【小学生 問7】

宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（または施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

#### 子育てに日常的に関わっている人



## 2. 日常的に子どもを預かってもらえる人

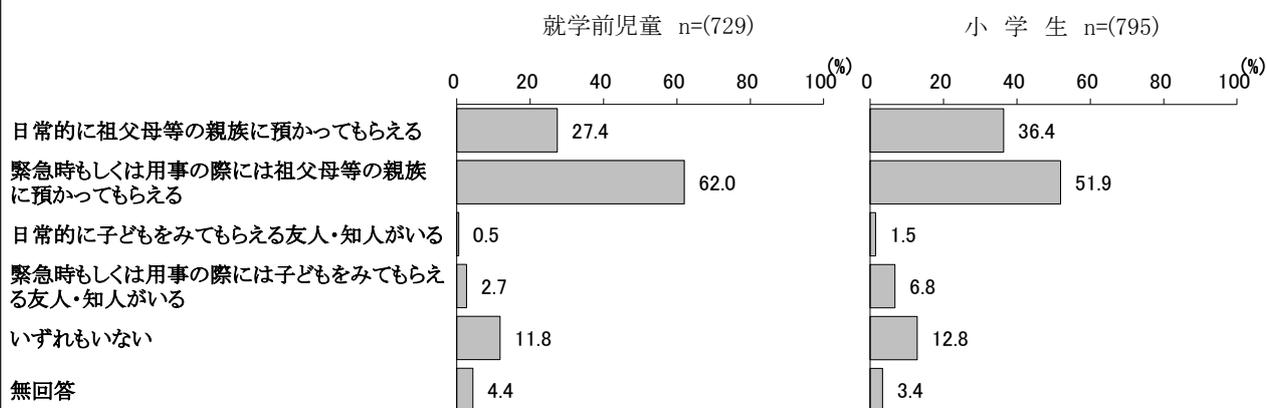
### (1) 日常的に子どもを預かってもらえる人の有無

- ・日常的に子どもを預かってもらえる人の有無をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」(就学前児童 62.0%・小学生 51.9%)、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」(就学前児童 27.4%・小学生 36.4%)、「いずれもない」(就学前児童 11.8%・小学生 12.8%) が上位3項目となっている。

#### 【就学前児童 問8】【小学生 問8】

日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

日常的に子どもを預かってもらえる人の有無



## (2) 親族に子どもをみてもらっている状況

・親族に子どもをみてもらっている状況を見ると、「祖父母等の親族には安心して子どもを預けられる」(就学前児童 70.8%・小学生 75.5%) が最も多く、70%以上の方が安心して子どもを預けられる環境があると回答している。一方、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(就学前児童 27.1%・小学生 22.4%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(就学前児童 23.9%・小学生 20.7%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(就学前児童 19.0%・小学生 14.7%) など、心配や心苦しさを感している方も一定数いる。

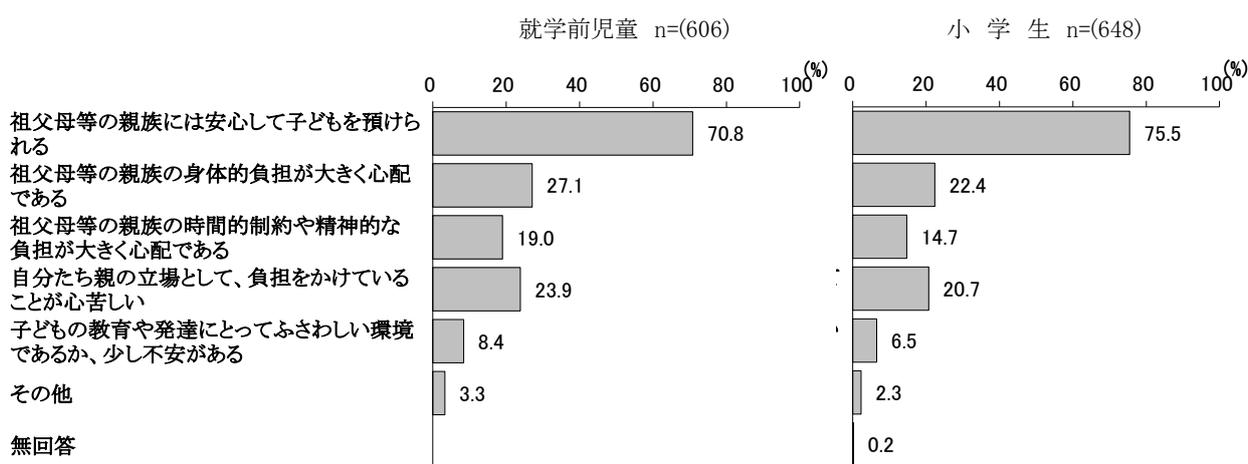
\* 問 8 で「1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 8-1】【小学生 問 8-1】

祖父母等の親族に宛名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

親族に子どもをみてもらっている状況



### (3) 友人・知人に子どもをみてもらっている状況

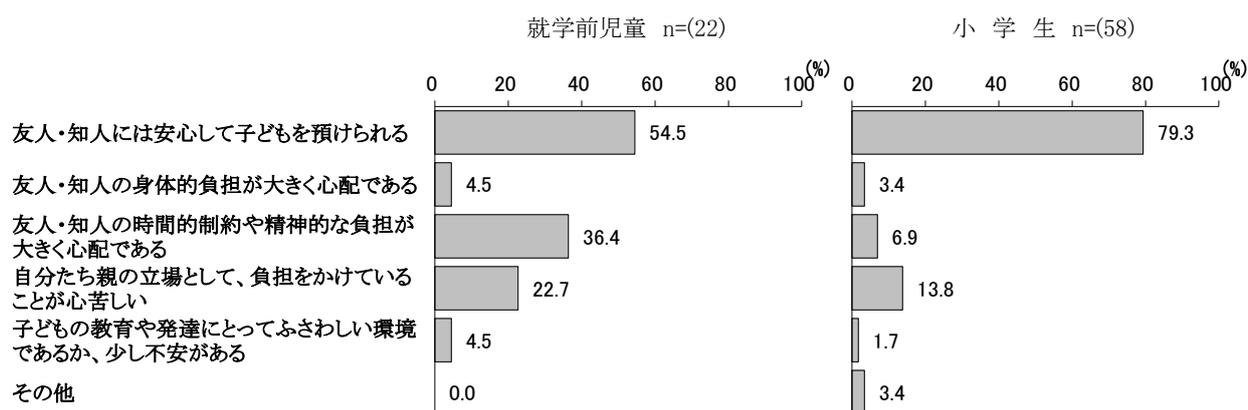
・友人・知人に子どもをみてもらっている状況をみると、就学前児童では「友人・知人には安心して子どもを預けられる」(54.5%)が最も多く、以下「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(36.4%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(22.7%)となっている。小学生では「友人・知人には安心して子どもを預けられる」(79.3%)が最も多く、以下「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(13.8%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(6.9%)となっている。

\* 問8で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問8-2】【小学生 問8-2】

友人・知人に宛名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。  
(あてはまる番号すべてに○)

友人・知人に子どもをみてもらっている状況



### 3. 子育てや教育に関する相談について

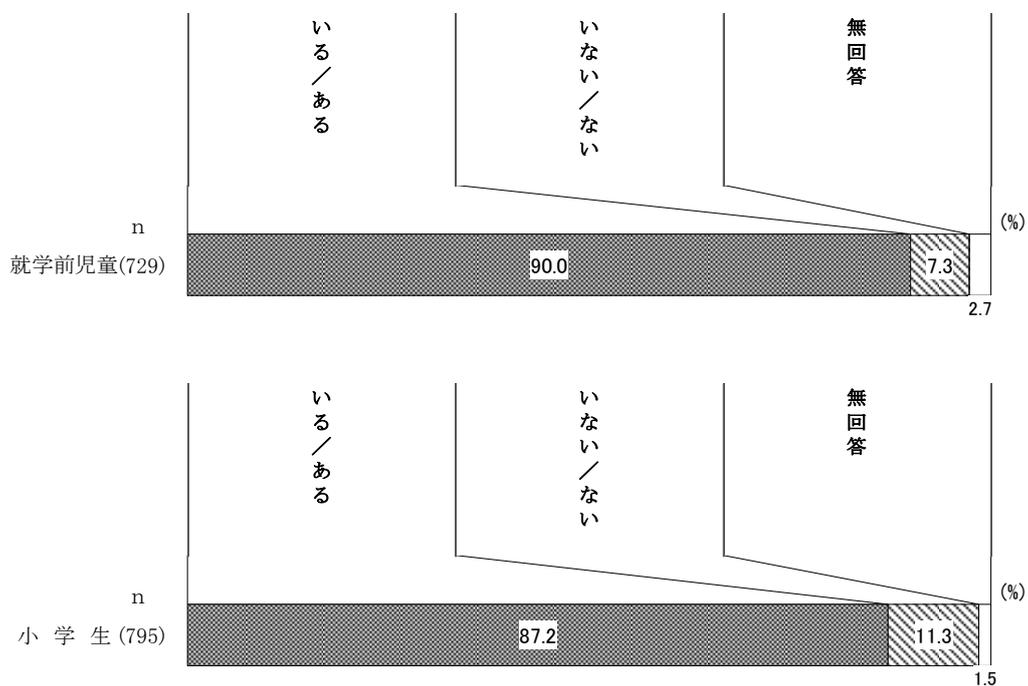
#### (1) 子育てや教育についての相談先の有無

・子育てや教育についての相談先の有無をみると、「いる／ある」（就学前児童 90.0%・小学生 87.2%）とほとんどの方が「いる／ある」と回答している。一方、「いない／ない」は小学生が 11.3%と、就学前児童（7.3%）を約 4.0 ポイント上回っている。

#### 【就学前児童 問9】【小学生 問9】

宛名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所はありますか。（1つに○）

子育てや教育についての相談先の有無



## (2) 子育てや教育についての相談先

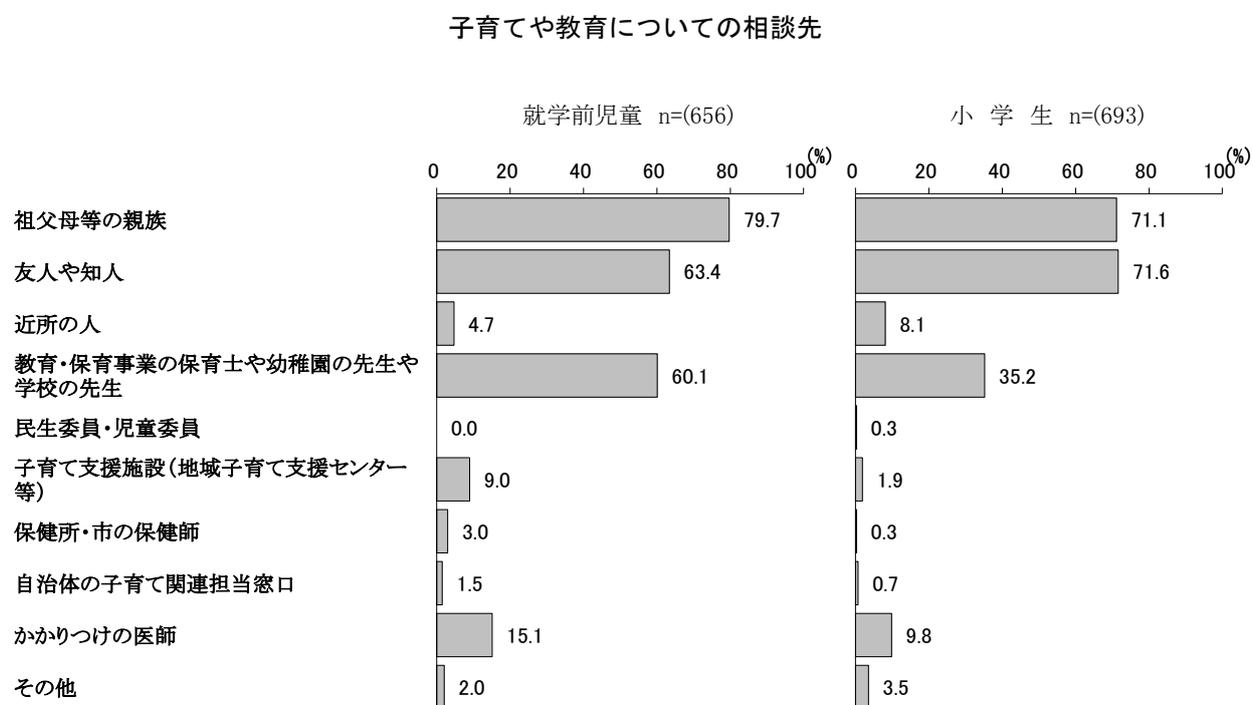
- ・子育てや教育についての相談先をみると、「祖父母等の親族」（就学前児童 79.7%・小学生 71.1%）、「友人や知人」（就学前児童 63.4%・小学生 71.6%）、「教育・保育事業の保育士や幼稚園の先生や学校の先生」（就学前児童 60.1%・小学生 35.2%）が上位3項目となっている。また、就学前児童では小学生に比べ「教育・保育事業の保育士や幼稚園の先生や学校の先生」（60.1%）と「友人や知人」（63.4%）がほぼ同等の割合となっている。

\* 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問9-1】【小学生 問9-1】

宛名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

（あてはまる番号すべてに○）



## Ⅱ. 就労状況について

### 1. 母親の就労状況

#### (1) 母親の現在の就労状況

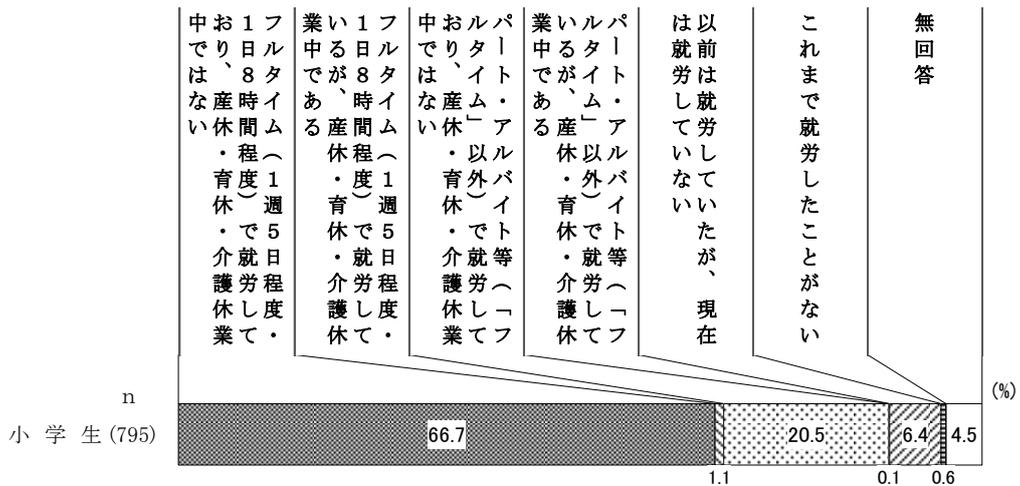
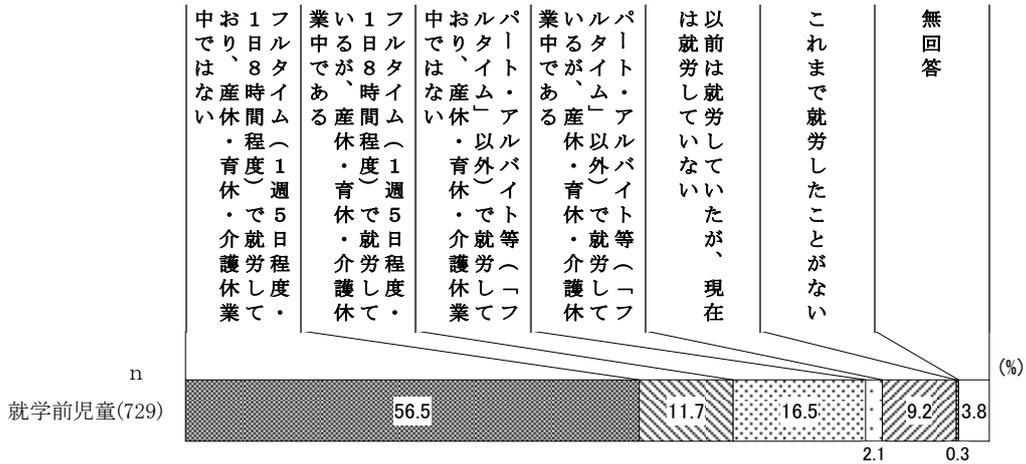
・母親の現在の就労状況をみると、就学前児童では「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（56.5%）、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（16.5%）を合わせると73.0%の方が就労し、現在産休・育休・介護休業中の方が13.8%となっている。小学生では「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（66.7%）、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（20.5%）を合わせると87.2%の方が就労しており、就学前児童を約14.2ポイント上回っている。

【就学前児童 問10】【小学生 問10】

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。  
 ※ひとり親の方は、ご自身に関する設問にのみお答えください。

※現在の就労状況についてお答えください。（母親、父親のそれぞれについて1つに○）

母親の現在の就労状況



(2) 母親の就労日数・時間

・母親の就労日数・時間をみると、就労日数は1週当たり「5日」（就学前児童 80.7%・小学生 78.5%）が最も多く、就労時間は1日当たり「8時間」（就学前児童 55.2%・小学生 52.8%）が最も多くなっており、就学前児童と小学生の母親で大きな違いはみられない。

\*問10で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

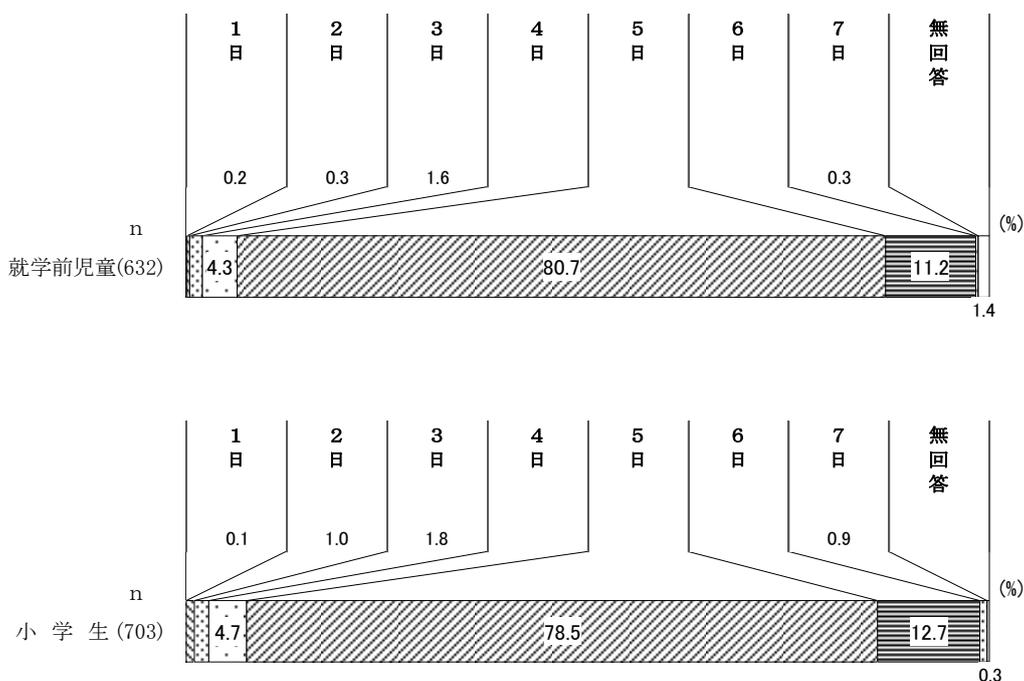
【就学前児童 問10-1】【小学生 問10-1】

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（休憩時間、残業時間を含む）」をお答えください。（〔 〕内に数字でご記入ください。）

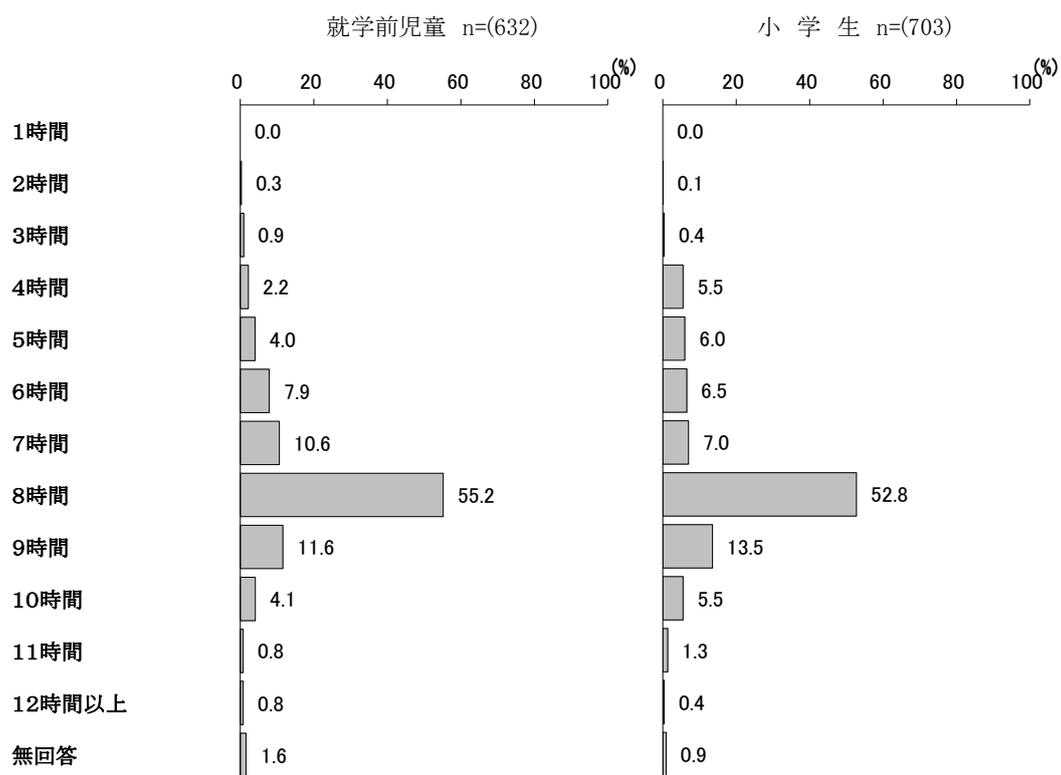
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

母親の就労日数（1週当たり）



### 母親の就労時間（1日当たり）



(3) 母親の出発時刻・帰宅時刻

・母親の出発時刻・帰宅時刻をみると、出発時刻は「8時台」(就学前児童 60.3%・小学生 63.7%)、「7時台」(就学前児童 23.4%・小学生 18.2%)の順に多く、帰宅時刻は「18時台」(就学前児童 55.9%・小学生 47.1%)が最も多く、大きな違いはみられない。なお、帰宅時刻が20時以降になる母親は就学前児童では2.7%、小学生では4.7%となっている。

\* 問10で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問10-2】【小学生 問10-2】

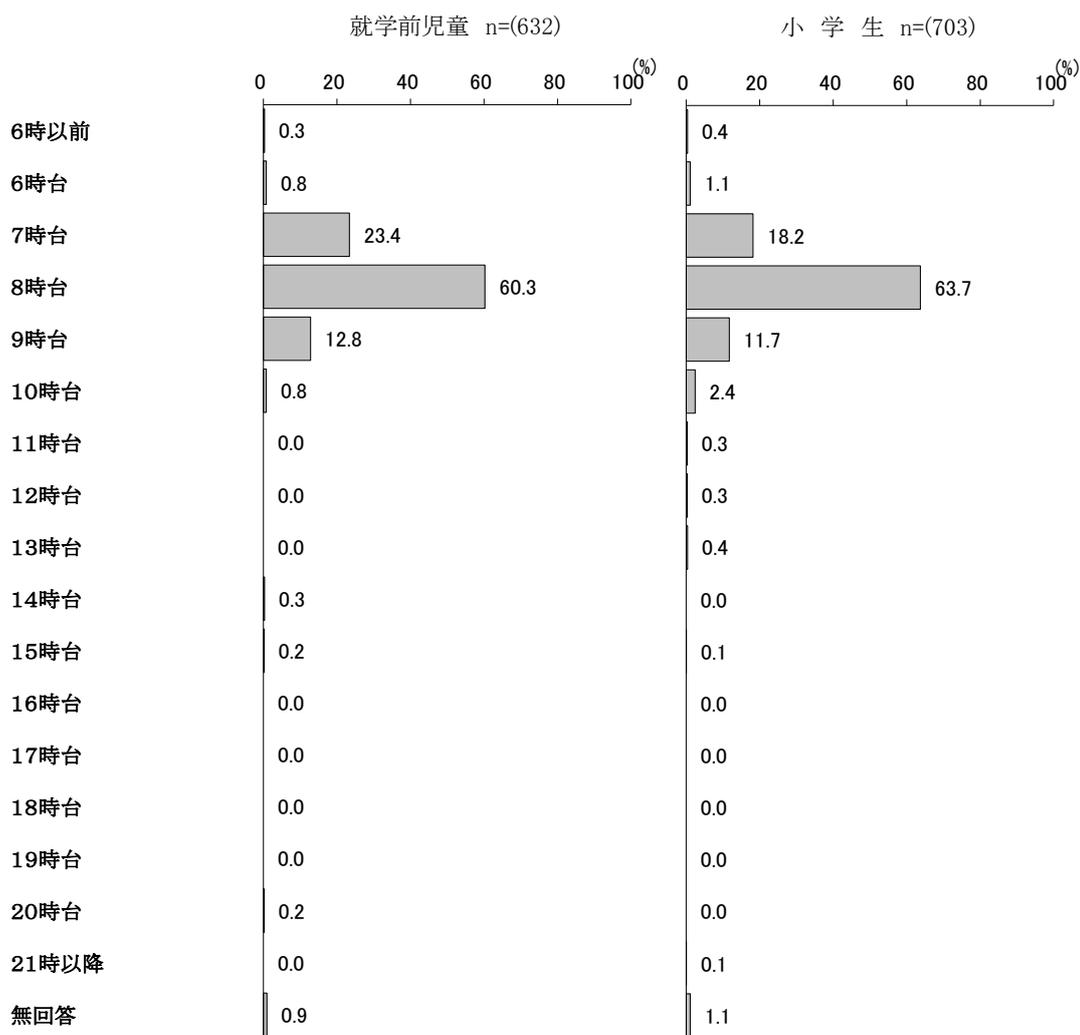
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。( [ ] 内に数字でご記入ください。)

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

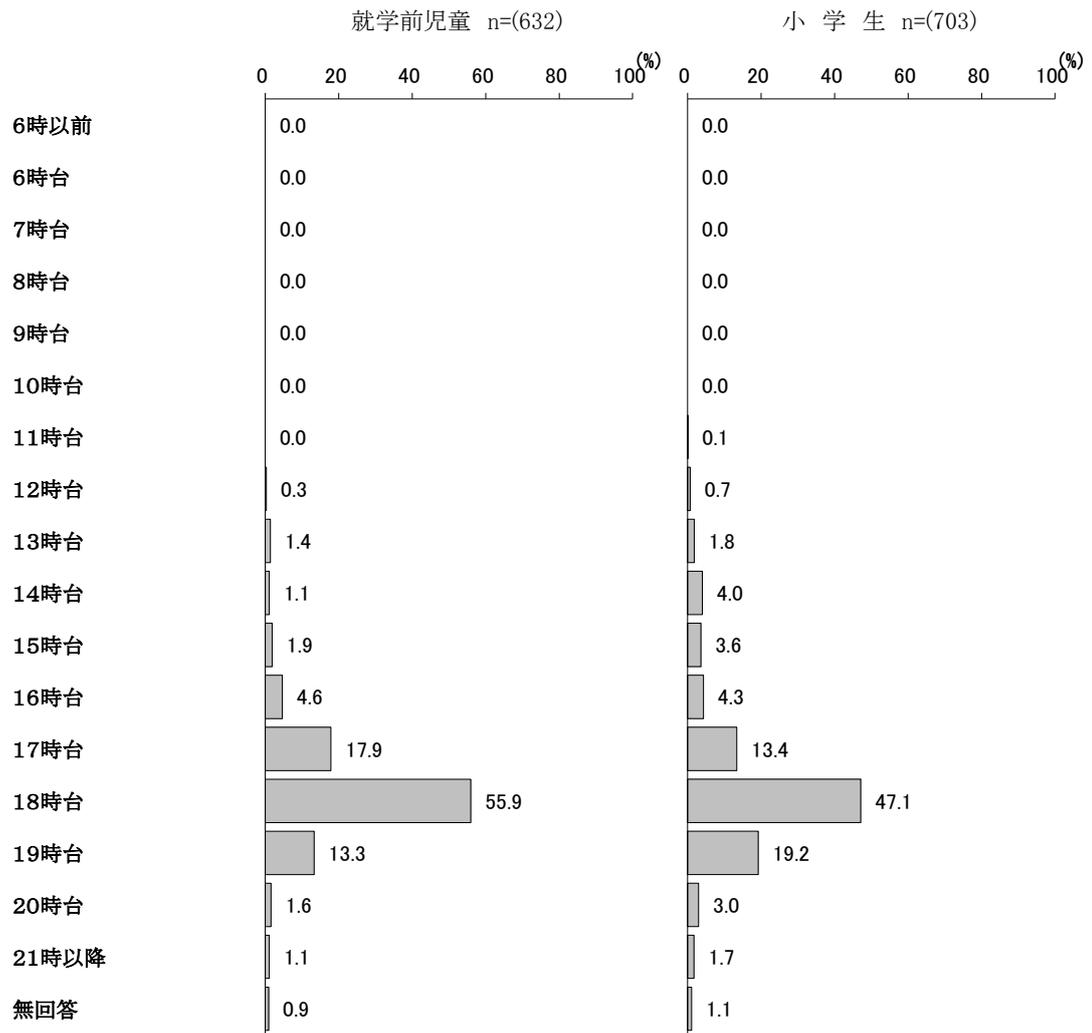
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

※時間は、必ず24時間制(例：8時～18時)でご記入下さい。

母親の出発時刻



### 母親の帰宅時刻



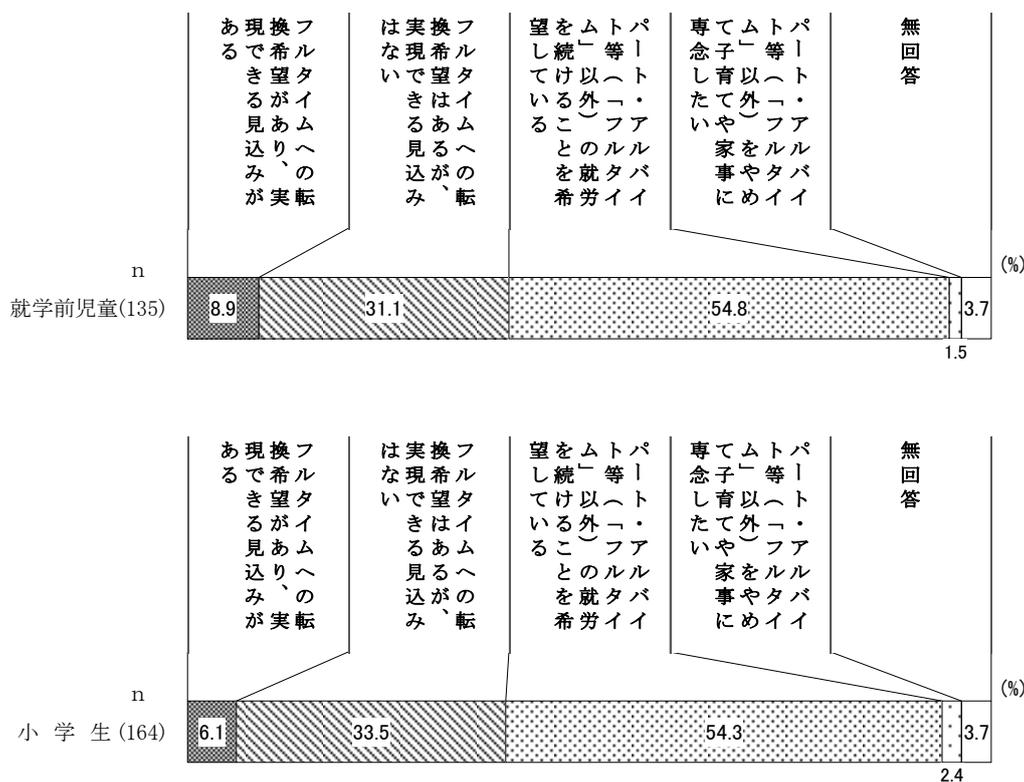
(4) 母親のフルタイムへの転換希望

・パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望をみると、両者ともに「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望している」（就学前児童 54.8%・小学生 54.3%）が最も多くなっている。また、就学前児童ではフルタイム勤務を希望する方は 40.0%となっているが、実現できる見込みのある方は 8.9%にとどまっている。小学生でもフルタイム勤務を希望する方は 39.6%となっているが、実現できる見込みのある方は 6.1%と前者と同様に希望者のごく一部にとどまっている。

\* 問 10 で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。  
【就学前児童 問 11】【小学生 問 11】

フルタイムへの転換希望はありますか。（1つに○）

母親のフルタイムへの転換希望



(5) 母親の今後の就労希望

- ・現在は就労していない、またはこれまで就労したことがない母親の今後の就労希望をみると、就学前児童では「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(40.6%)が最も多く、以下「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(31.9%)となっている。小学生では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(39.3%)が最も多く、以下「子育てや家事などに専念したい(就労予定はない)」(33.9%)となっている。
- ・1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい母親の就労希望時の末子の年齢をみると、就学前児童では「0～3歳」(46.4%)、「4～5歳」(28.6%)「6～8歳」(21.4%)、「9～11歳」(3.6%)の順となっている。小学生では「9～11歳」(38.5%)、「12～14歳」(30.8%)、「0～3歳」「4～5歳」「6～8歳」(ともに7.7%)の順となっている。

\*問10で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

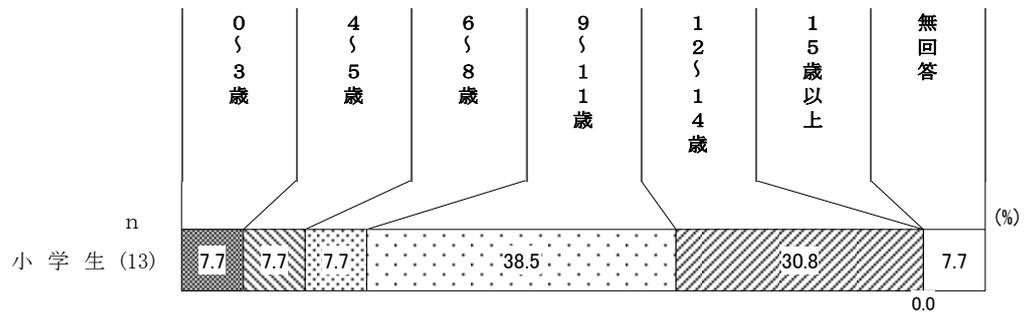
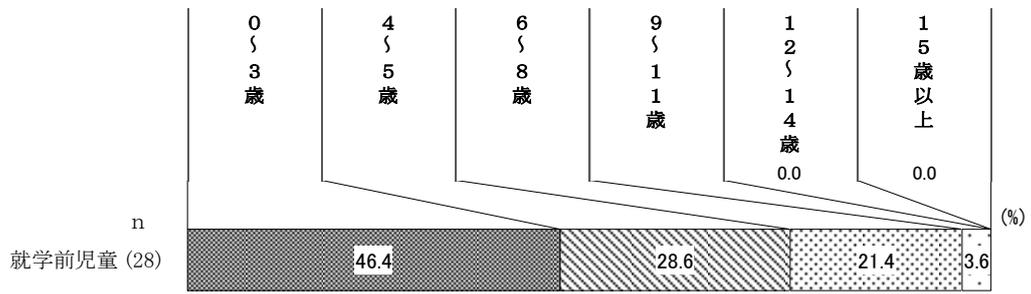
【就学前児童 問12】【小学生 問12】

就労したいという希望はありますか。(1つに○)

母親の今後の就労希望



母親の就労希望時の末子の年齢



(6) 母親が希望する就労形態

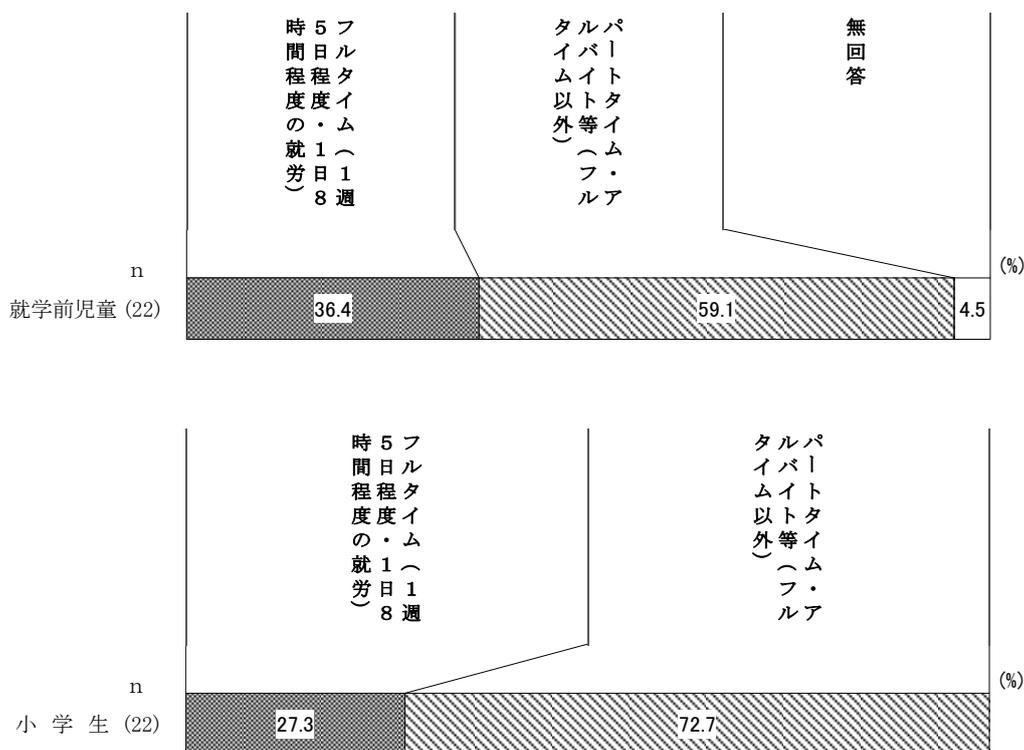
- ・ 就労希望のある母親が希望する就労形態をみると、両者ともに「パートタイム、アルバイト等（フルタイム以外）」（就学前児童 59.1%・小学生 72.7%）、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」（就学前児童 36.4%・小学生 27.3%）の順となっている。
- ・ パートタイム、アルバイト等での希望就労日数・時間をみると、希望就労日数は1週当たり「5日」（就学前児童 69.2%・小学生 43.8%）が最も多く、希望就労時間は1日当たり両者ともに4時間～6時間の時間帯が多くなっている。

\* 問12で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。

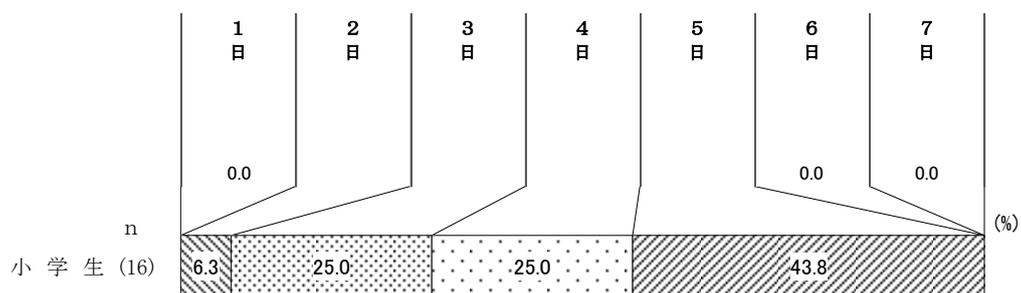
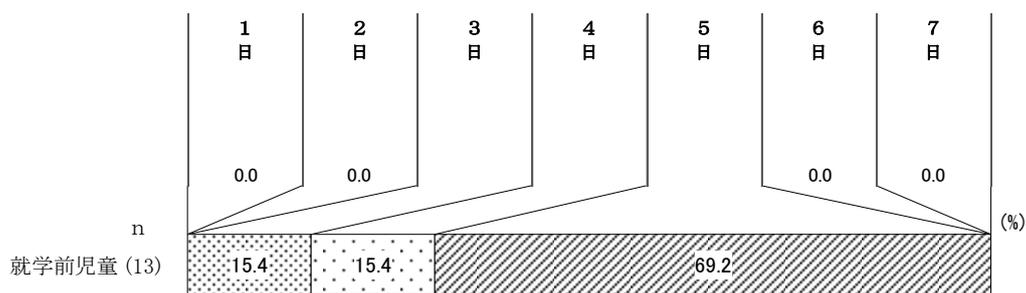
【就学前児童 問12-1】【小学生 問12-1】

希望する就労形態をお答えください。（1つに○）

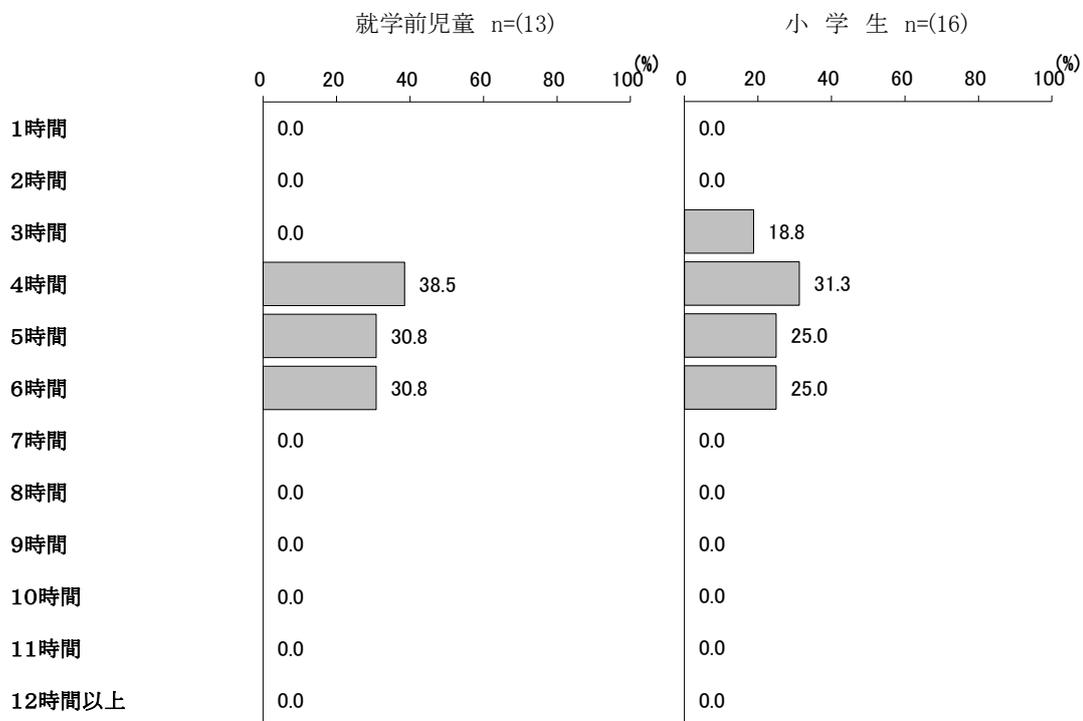
母親が希望する就労形態



パートタイム、アルバイト等での母親の希望就労日数（1週当たり）



パートタイム、アルバイト等での母親の希望就労時間（1日当たり）



## 2. 父親の就労状況

### (1) 父親の現在の就労状況

・父親の現在の就労状況をみると、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」（就学前児童 87.8%・小学生 82.4%）が多くなっている。

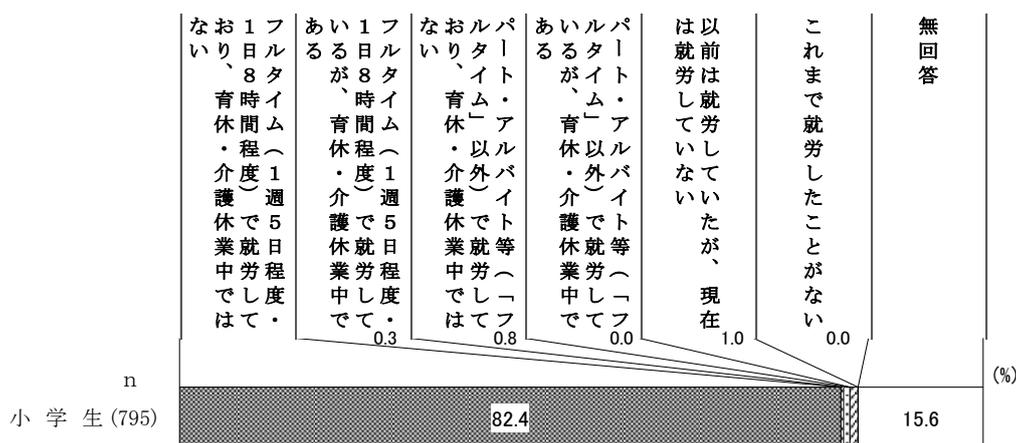
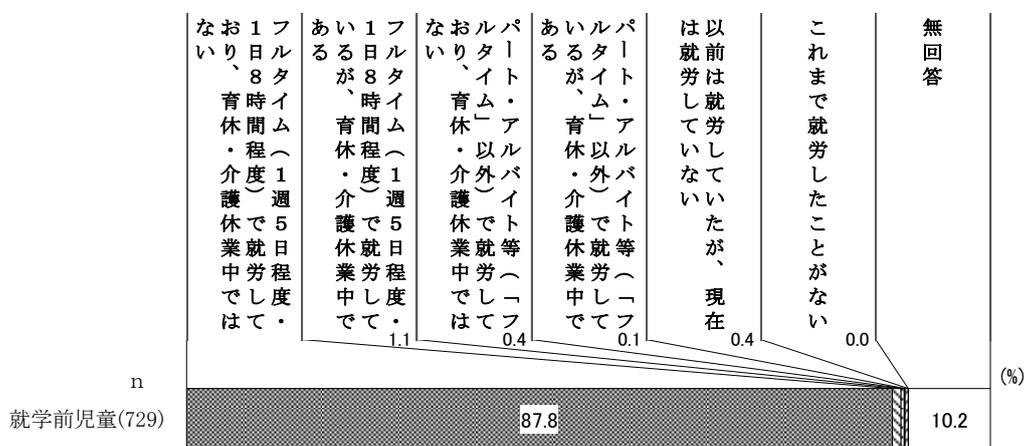
#### 【就学前児童 問10】【小学生 問10】

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。

※ひとり親の方は、ご自身に関する設問にのみお答えください。

※現在の就労状況についてお答えください。（母親、父親のそれぞれについて1つに○）

#### 父親の現在の就労状況



(2) 父親の就労日数・時間

・父親の就労日数・時間をみると、就労日数は1週当たり「5日」(就学前児童 70.7%・小学生 67.9%)と「6日」(就学前児童 24.2%・小学生 27.0%)に二分され、就労時間は1日当たり「8時間」(就学前児童 53.4%・小学生 51.9%)が最も多くなっている。また、10時間以上の就労者も就学前児童が 27.3%、小学生が 25.3%となっており、就学前児童と小学生の父親で大きな違いはみられない。

\* 問 10 で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

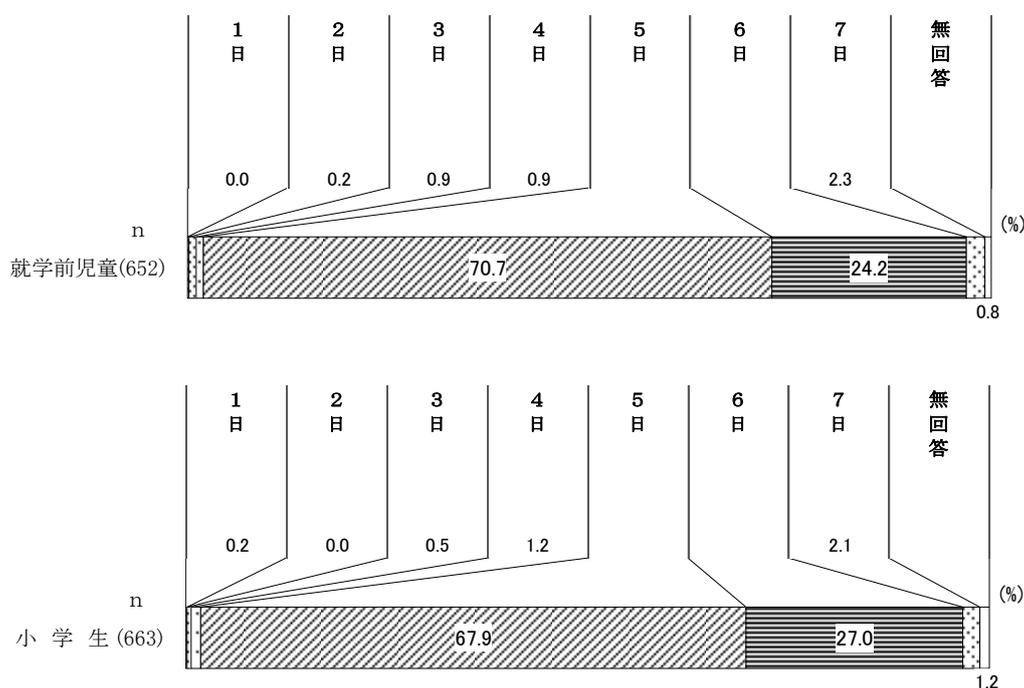
【就学前児童 問10-1】【小学生 問10-1】

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(休憩時間、残業時間を含む)」をお答えください。( [ ] 内に数字でご記入ください。)

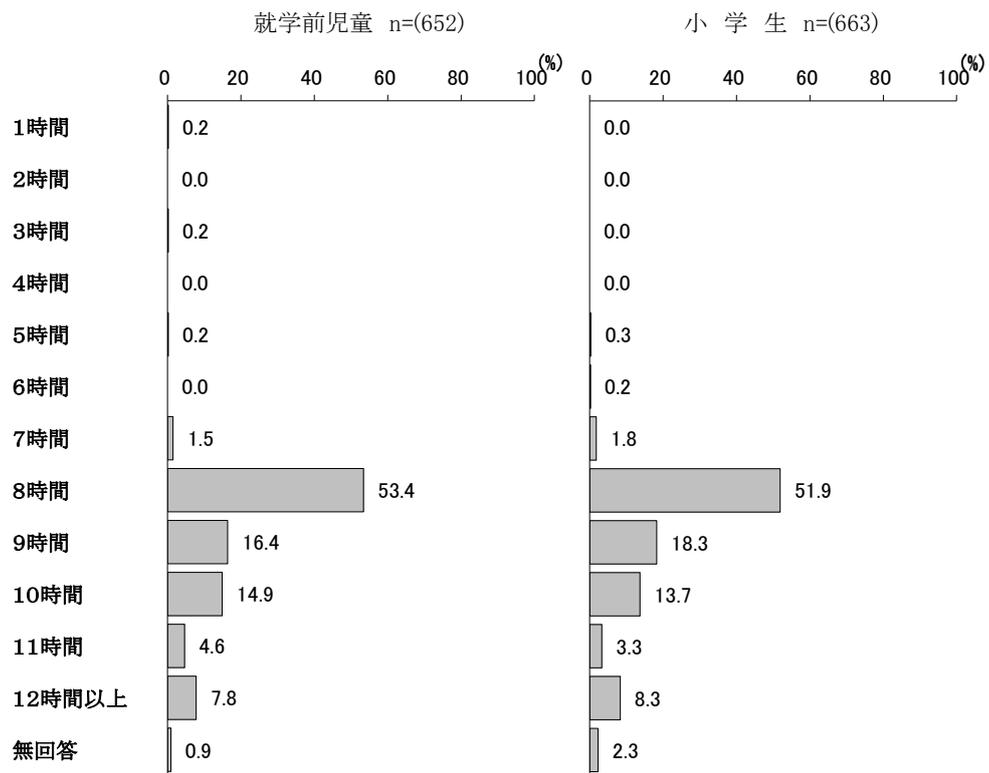
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

父親の就労日数(1週当たり)



### 父親の就労時間（1日当たり）



### (3) 父親の出発時刻・帰宅時刻

・父親の出発時刻・帰宅時刻をみると、出発時刻は「7時台」(就学前児童 43.6%・小学生 40.9%)、「8時台」(就学前児童 36.8%・小学生 38.8%)の順に多く、帰宅時刻は18時～21時以降が多くなっている。なお、帰宅時刻が20時以降になる父親は就学前児童では23.8%、小学生では25.8%となっており、母親に比べて帰宅時間が遅い方が多い。

\* 問10で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問10-2】【小学生 問10-2】

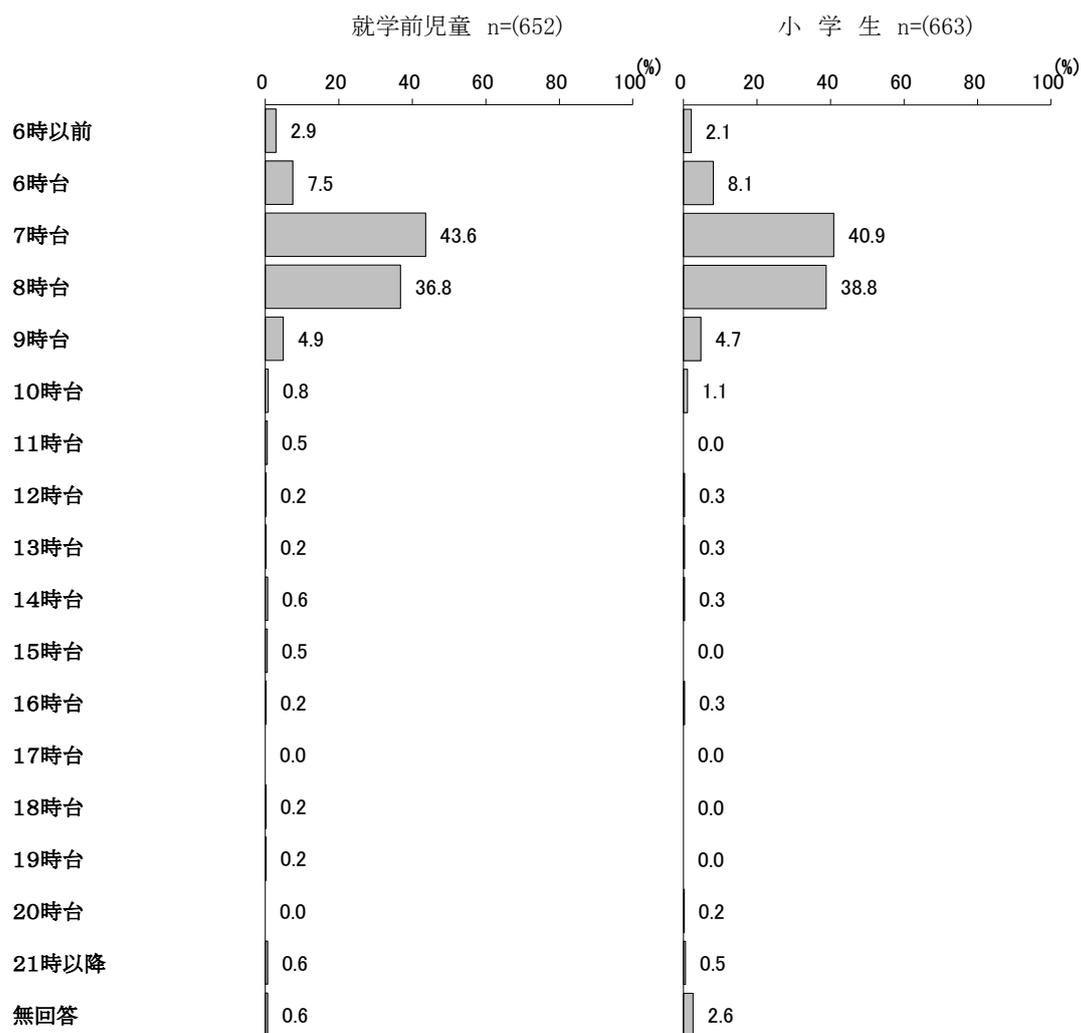
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。( [ ] 内に数字でご記入ください。)

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

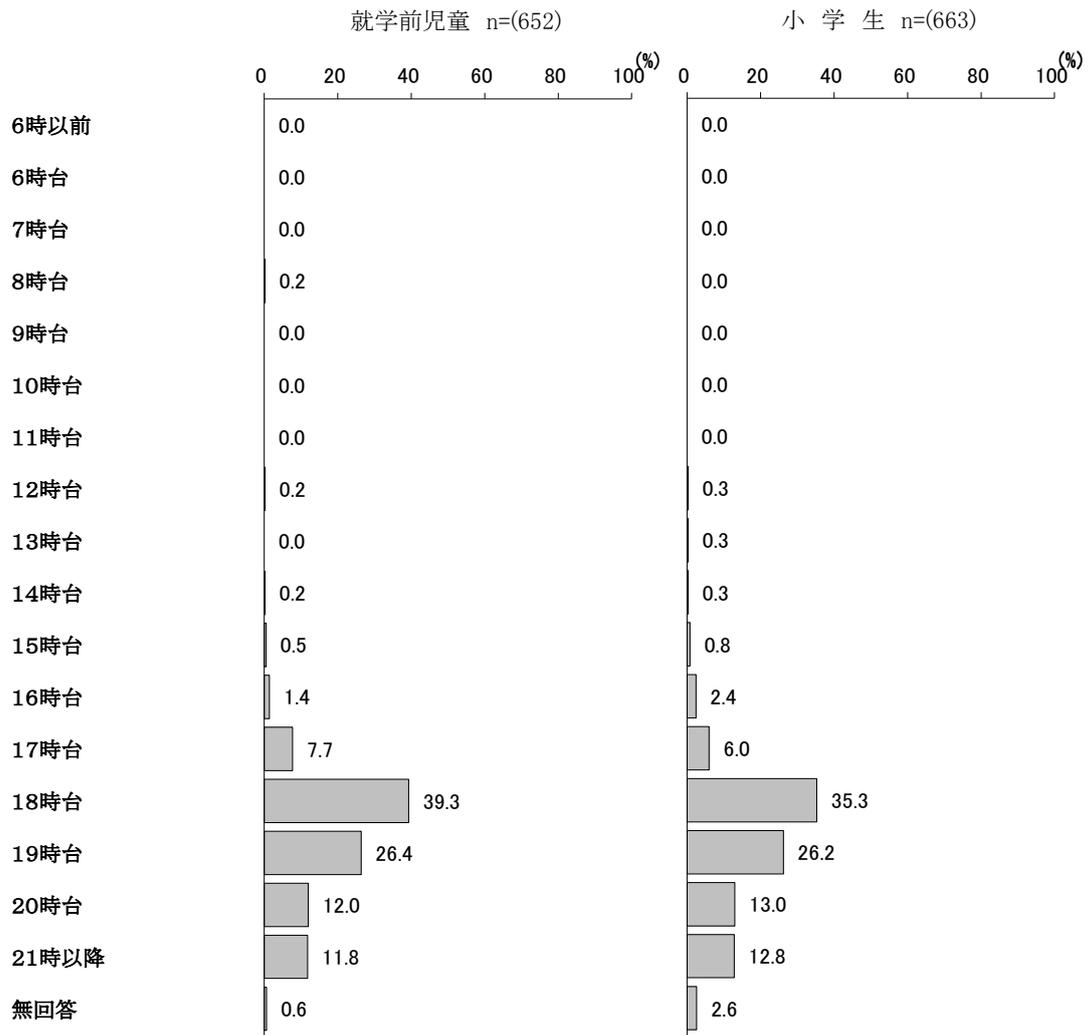
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

※時間は、必ず24時間制(例：8時～18時)でご記入下さい。

父親の出発時刻



### 父親の帰宅時刻

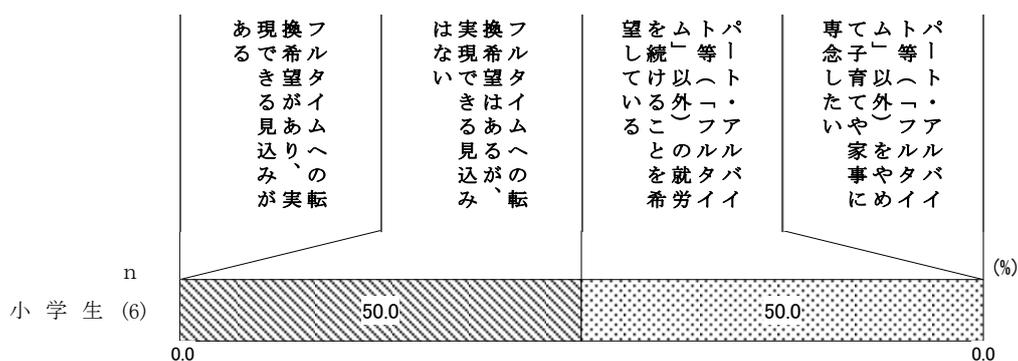
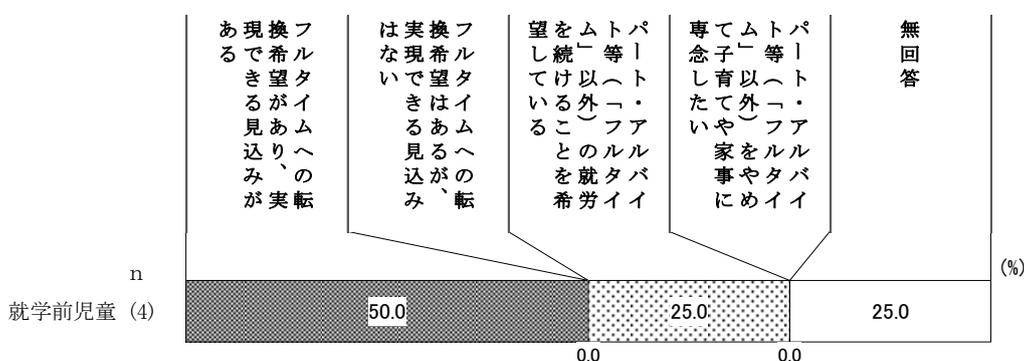


(4) 父親のフルタイムへの転換希望

・パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望をみると、就学前児童では該当者である4名のうち2名が「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、1名が「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望している」と回答している。小学生では該当者である6名のうちそれぞれ3名ずつが「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望している」と回答している。

\* 問10で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。  
【就学前児童 問11】【小学生 問11】

フルタイムへの転換希望はありますか。（1つに○）



(5) 父親の今後の就労希望

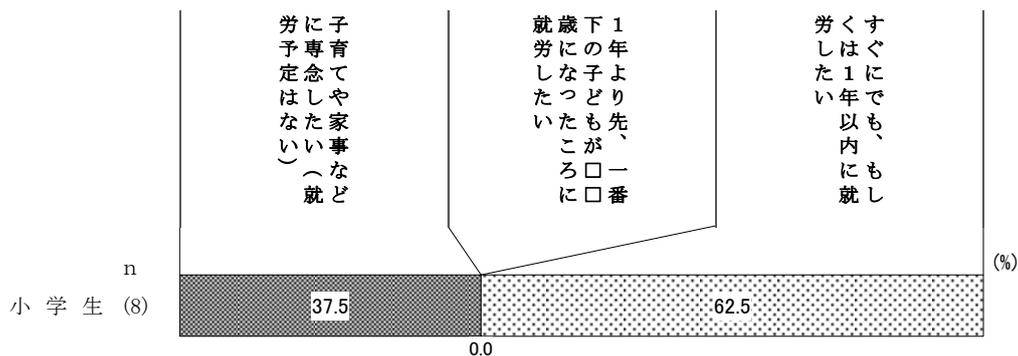
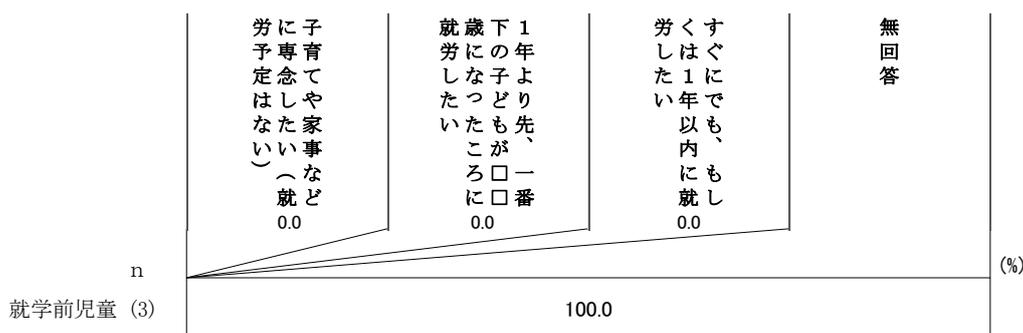
- ・現在は就労していない、またはこれまで就労したことがない父親の今後の就労希望をみると、就学前児童では該当者である3名全員が無回答となっており、小学生では該当者である8名のうち5名が「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」、3名が「子育てや家事などに専念したい（就労予定はない）」と回答している。
- ・1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい父親の就労希望時の末子の年齢については該当者はいなかった。

\* 問10で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問12】【小学生 問12】

就労したいという希望はありますか。(1つに○)

父親の今後の就労希望



父親の就労希望時の末子の年齢

就学前児童、小学生ともに該当者なし

(6) 父親が希望する就労形態

- ・就労希望のある父親が希望する就労形態をみると、該当者のうち回答している方は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」と回答している。
- ・パートタイム・アルバイト等での希望就労日数・時間については該当者はいなかった。

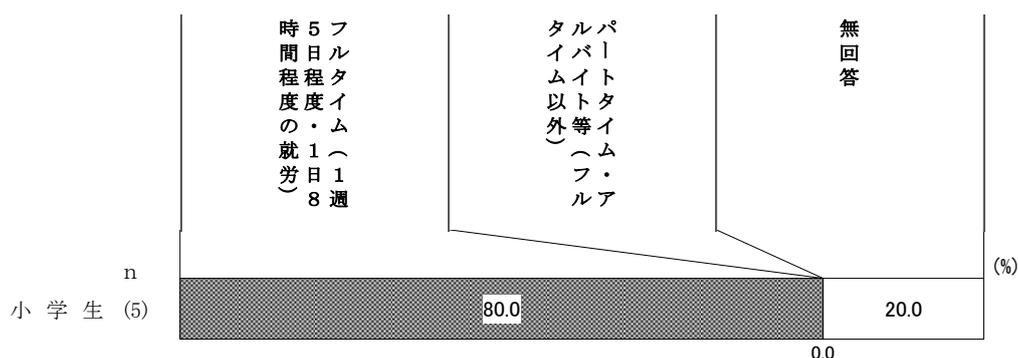
\*問12で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問12-1】【小学生 問12-1】

希望する就労形態をお答えください。（1つに○）

父親が希望する就労形態

就学前児童は該当者なし



パートタイム、アルバイト等での父親の希望就労日数（1週当たり）

就学前児童、小学生ともに該当者なし

パートタイム、アルバイト等での父親の希望就労時間（1日当たり）

就学前児童、小学生ともに該当者なし

### Ⅲ. 育児休業の取得について

#### 1. 育児休業の取得について

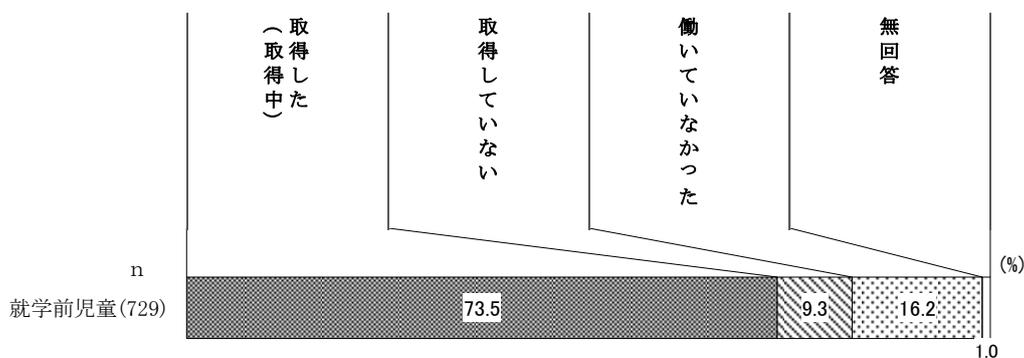
##### (1) 育児休業取得の有無

・育児休業取得の有無をみると、母親は「取得した（取得中）」が73.5%と、父親（15.6%）を大きく上回っている。一方、父親は「取得していない」が77.4%と母親に比べて多くなっている。

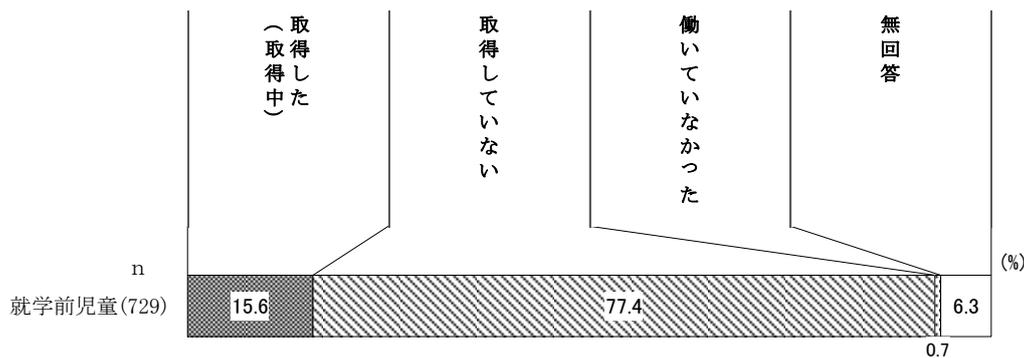
#### 【就学前児童 問13】

宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。（母親、父親のそれぞれについて1つに○）

母親の育児休業取得の有無



父親の育児休業取得の有無



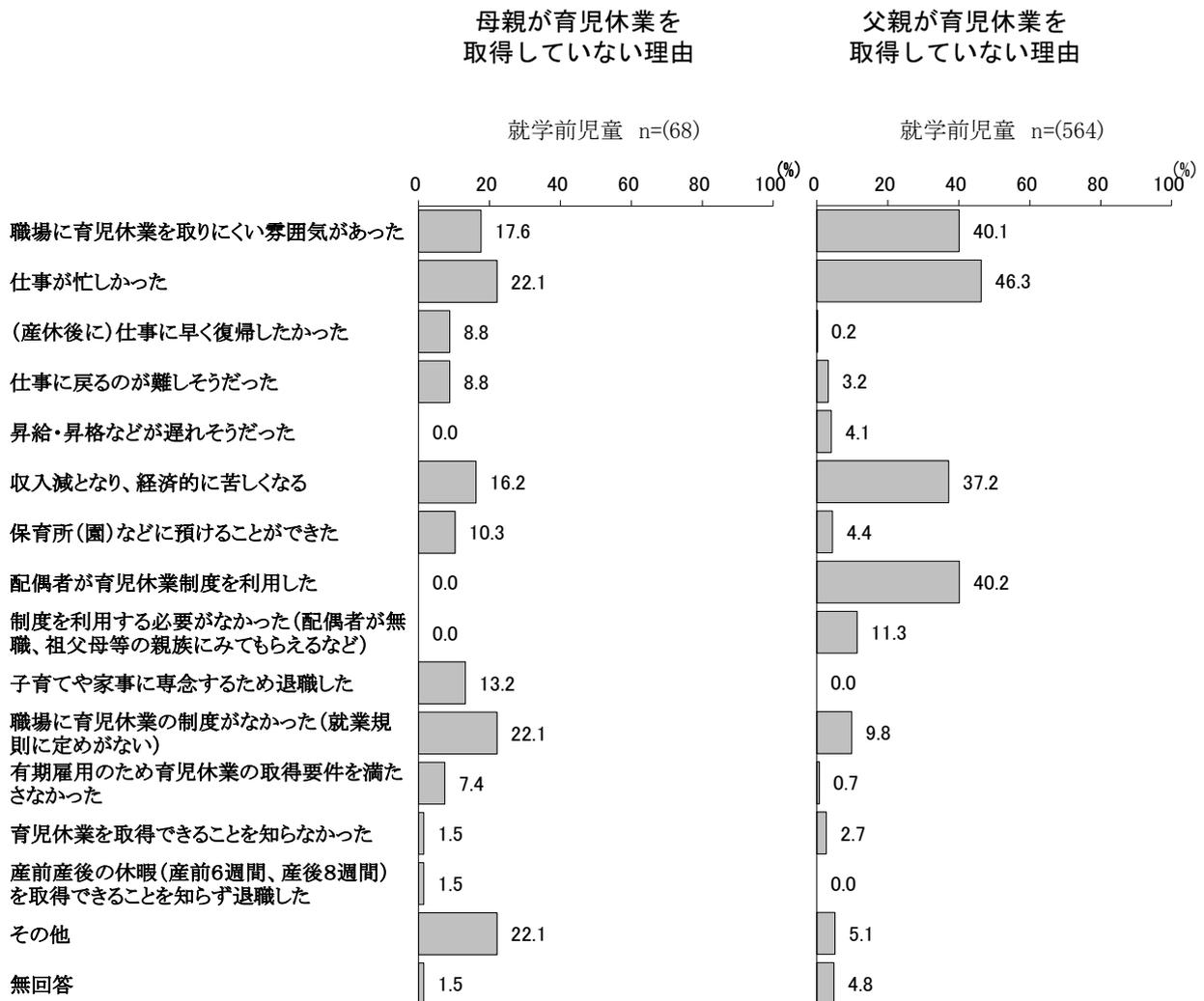
(2) 育児休業を取得していない理由

・育児休業を取得していない理由をみると、母親は「仕事が忙しかった」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがない）」（ともに 22.1%）が最も多く、以下「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（17.6%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（16.2%）の順となっている。一方、父親は「仕事が忙しかった」（46.3%）が最も多く、以下「配偶者が育児休業制度を利用した」（40.2%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（40.1%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（37.2%）の順となっている。両者ともに「仕事が忙しかった」が最も多くなっているが、以下の順位は両者で違いがみられる。

\* 問 13 で「2. 取得していない」と答えた方にうかがいます。

【就学前児童 問 13-1】

育児休業を取得していない理由は何ですか。（母親、父親の該当する方それぞれについて、次の中からあてはまる番号すべてに○）



## IV. 平日の定期的な教育・保育事業の利用について

### 1. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

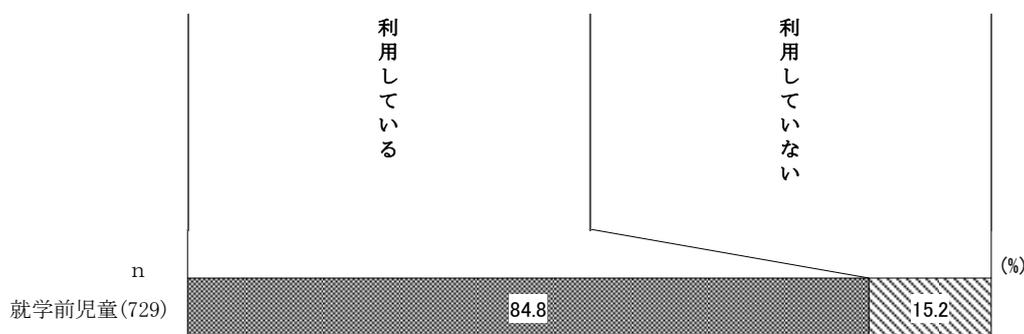
#### (1) 定期的な教育・保育事業利用の有無

- ・ 定期的な教育・保育事業利用の有無をみると、「利用している」は84.8%となっている。
- ・ 年齢別（3区分）にみると、「利用している」は0歳でも43.3%、1～2歳では85.7%、3～5歳では99.4%となっている。

#### 【就学前児童 問14】

宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（1つに○）

定期的な教育・保育事業利用の有無



#### [年齢別]

	調査数	利用の有無	
		利用している	利用していない
全体	729	618	111
	100.0	84.8	15.2

#### 問4 年齢

年齢	調査数	利用している	利用していない
0歳	134	58	76
	100.0	43.3	56.7
1歳	117	95	22
	100.0	81.2	18.8
2歳	106	96	10
	100.0	90.6	9.4
3歳	110	109	1
	100.0	99.1	0.9
4歳	115	115	-
	100.0	100.0	-
5歳	122	121	1
	100.0	99.2	0.8

#### 問4 年齢（3区分）

年齢区分	調査数	利用している	利用していない
0歳	134	58	76
	100.0	43.3	56.7
1～2歳	223	191	32
	100.0	85.7	14.3
3～5歳	347	345	2
	100.0	99.4	0.6

※年齢が無回答の場合があるため、全体の調査数と年齢別の調査数の合計は合わないことがある

## (2) 利用している教育・保育事業

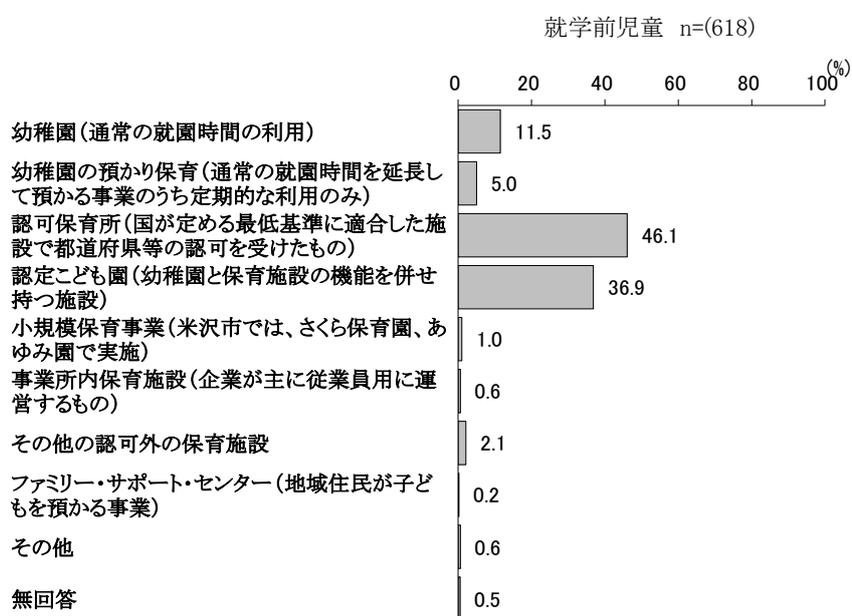
・利用している教育・保育事業をみると、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」(46.1%) が最も多く、以下「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」(36.9%)、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」(11.5%) の順となっている。

\* 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

### 【就学前児童 問 14-1】

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

### 利用している教育・保育事業



(3) 1週当たりの利用日数・1日当たりの利用時間

①【現在】

- ・ 1週当たりの利用日数・1日当たりの利用時間をみると、1週当たりの利用日数は「5日」(96.3%)が最も多く、1日当たりの利用時間は「10時間」(26.4%)、「8時間」(23.3%)、「9時間」(21.5%)の順となっており、8時間以上が76.9%となっている。
- ・ 利用開始時間は「8時台」(56.8%)、「9時台」(29.0%)に集中しており、利用終了時間は「18時台」(42.4%)、「17時台」(29.0%)、「16時台」(14.2%)の順となっており、18時以降は44.3%となっている。

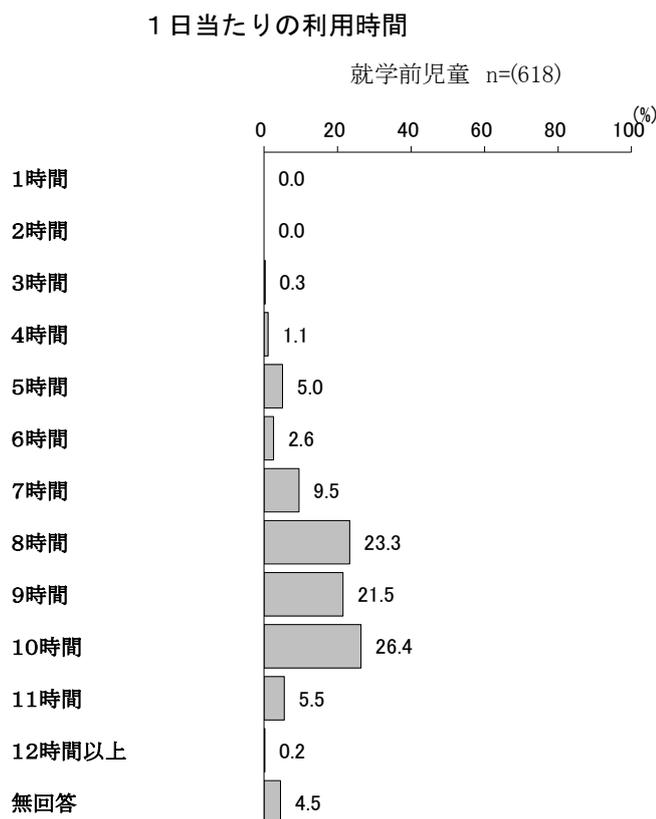
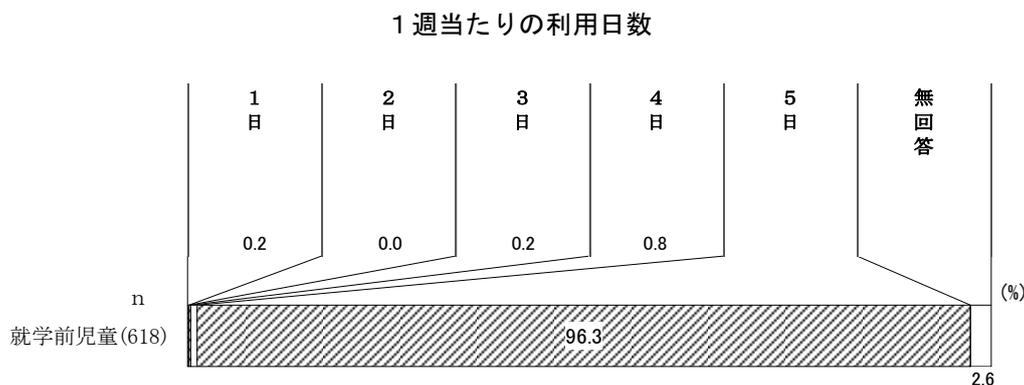
\* 問14で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問14-2】

平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。

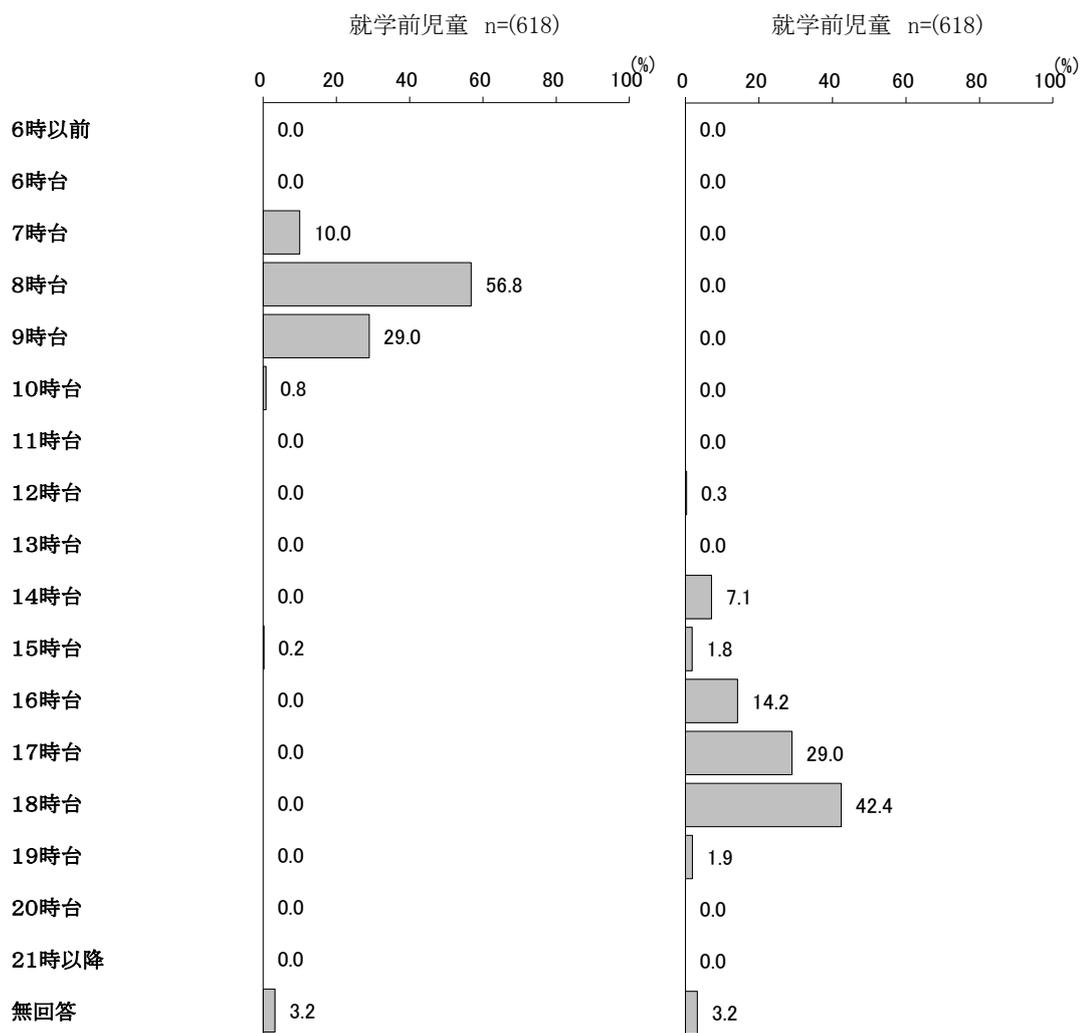
( [ ] 内に数字を記入)

※時間は必ず(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。



利用開始時間

利用終了時間



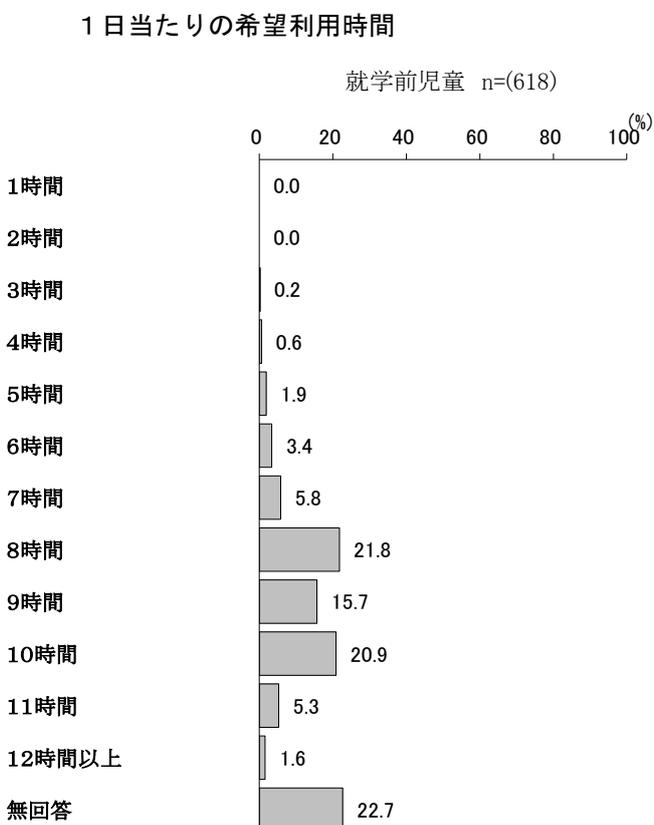
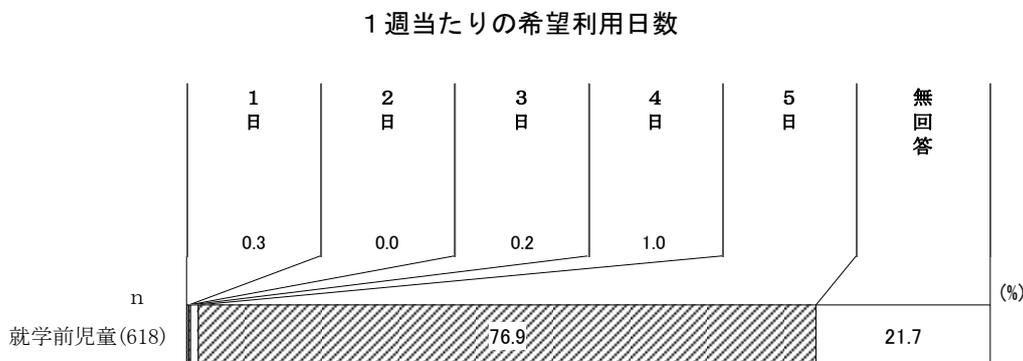
②【希望】

- ・ 1週当たりの希望利用日数・1日当たりの希望利用時間をみると、1週当たりの希望利用日数では「5日」(76.9%)が最も多く、1日当たりの希望利用時間は「8時間」(21.8%)、「10時間」(20.9%)、「9時間」(15.7%)と8時間以上が65.3%となっている。
- ・ 希望開始時間は「8時台」(42.4%)、「9時台」(23.0%)に集中しており、希望終了時間は「18時台」(30.6%)、「17時台」(23.3%)の順となっており、18時以降は37.5%となっている。

\* 問14で「1」～「12」(利用したい)に○をつけた方にうかがいます。

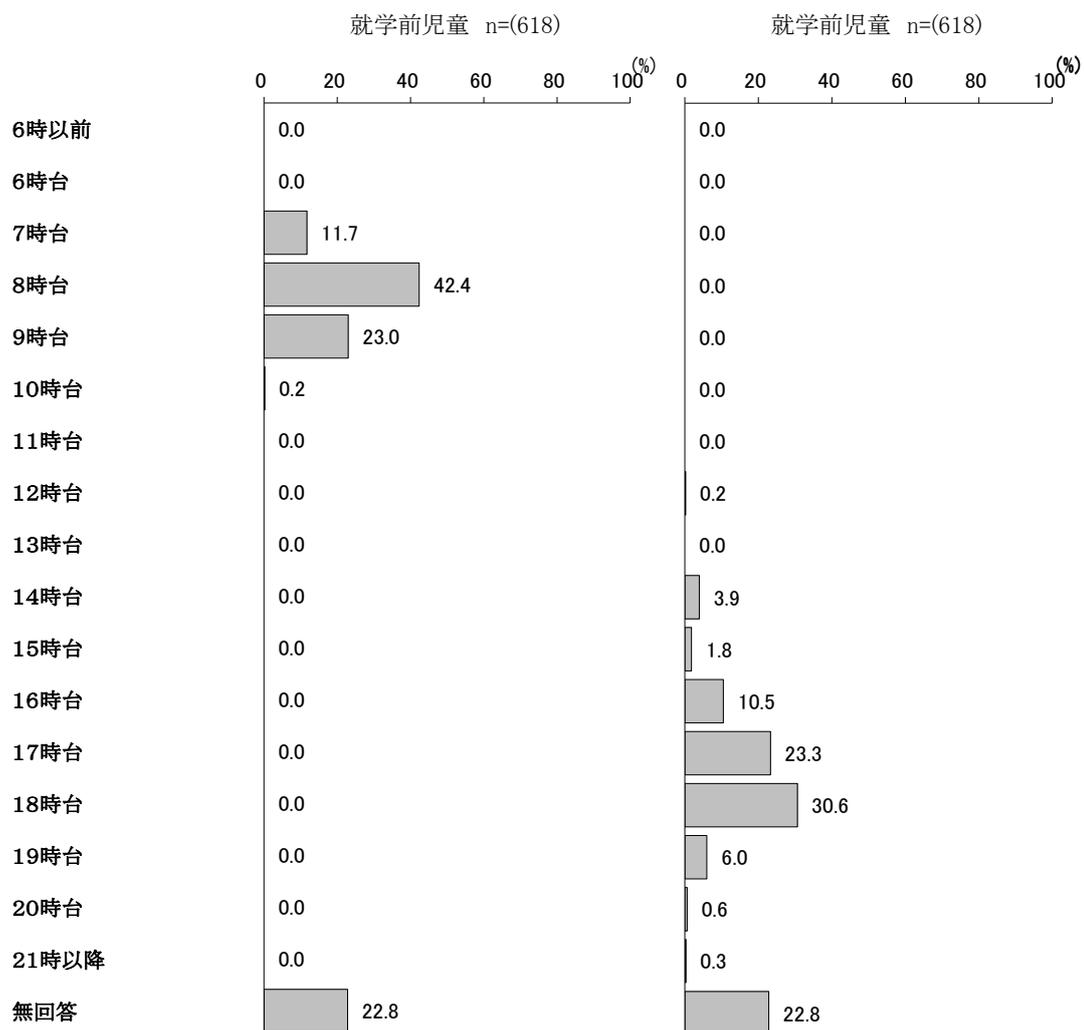
【就学前児童 問14-2】

平日に定期的な教育・保育の事業について、どのくらい利用したいですか。( [ ]内に数字を記入)  
 ※時間は必ず(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。



希望開始時間

希望終了時間



(4) 利用している教育・保育事業の実施場所

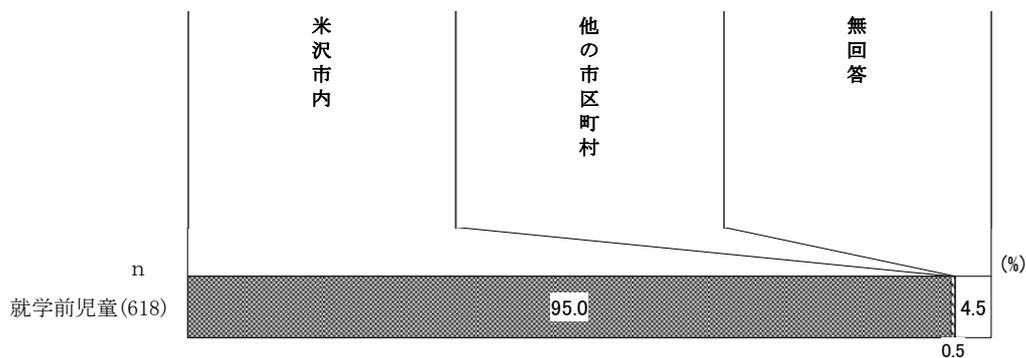
・利用している教育・保育事業の実施場所をみると、「米沢市内」が95.0%となっている。

\* 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 14-3】

現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(1つに○)

利用している教育・保育事業の実施場所



(5) 利用している教育・保育事業についてよいと感じていること

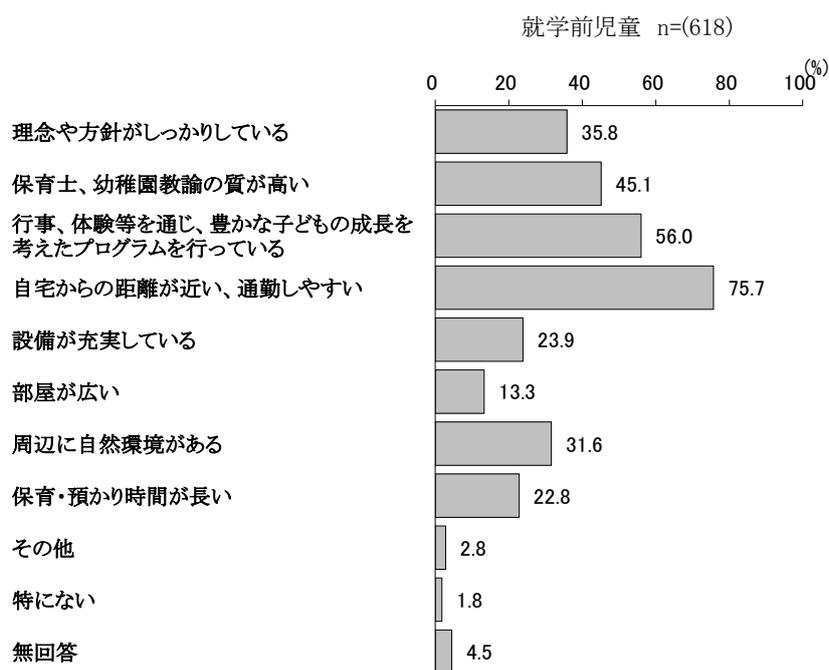
- ・利用している教育・保育事業についてよいと感じていることをみると、「自宅からの距離が近い、通勤しやすい」(75.7%)、「行事、体験等を通じ、豊かな子どもの成長を考えたプログラムを行っている」(56.0%)、「保育士、幼稚園教諭の質が高い」(45.1%)、「理念や方針がしっかりしている」(35.8%)の順となっている。
- ・年齢別(3区分)にみると、「自宅からの距離が近い、通勤しやすい」「保育士、幼稚園教諭の質が高い」「設備が充実している」「保育・預かり時間が長い」「部屋が広い」は年齢が下がるほどほど多くなっている。一方、「行事、体験等を通じ、豊かな子どもの成長を考えたプログラムを行っている」「理念や方針がしっかりしている」は年齢が上がるほど多くなっている。

\* 問 14 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 14-4】

現在、利用している教育・保育事業について、よいと感じていることをお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

利用している教育・保育事業についてよいと感じていること



[年齢別]

	調査数	理念や方針がしっかりしている	保育士、幼稚園教諭の質が高い	行事、体験等を通じ、子どもたちの成長を考えたプログラムを行っている	自宅からの距離が近い、通勤しやすい	設備が充実している	部屋が広い	周辺に自然環境がある	保育・預かり時間が長い	その他	特にない	無回答
上段：実数 下段：%												
全 体	618 100.0	221 35.8	279 45.1	346 56.0	468 75.7	148 23.9	82 13.3	195 31.6	141 22.8	17 2.8	11 1.8	28 4.5

問4 年齢

0歳	58 100.0	20 34.5	29 50.0	28 48.3	50 86.2	24 41.4	11 19.0	20 34.5	20 34.5	3 5.2	1 1.7	2 3.4
1歳	95 100.0	34 35.8	43 45.3	47 49.5	72 75.8	16 16.8	14 14.7	32 33.7	21 22.1	3 3.2	2 2.1	4 4.2
2歳	96 100.0	35 36.5	51 53.1	58 60.4	75 78.1	26 27.1	15 15.6	34 35.4	21 21.9	2 2.1	-	3 3.1
3歳	109 100.0	44 40.4	45 41.3	61 56.0	87 79.8	26 23.9	10 9.2	30 27.5	22 20.2	-	1 0.9	4 3.7
4歳	115 100.0	41 35.7	51 44.3	70 60.9	80 69.6	26 22.6	18 15.7	38 33.0	28 24.3	5 4.3	4 3.5	5 4.3
5歳	121 100.0	45 37.2	53 43.8	71 58.7	87 71.9	24 19.8	12 9.9	34 28.1	25 20.7	4 3.3	2 1.7	8 6.6

問4 年齢（3区分）

0歳	58 100.0	20 34.5	29 50.0	28 48.3	50 86.2	24 41.4	11 19.0	20 34.5	20 34.5	3 5.2	1 1.7	2 3.4
1～2歳	191 100.0	69 36.1	94 49.2	105 55.0	147 77.0	42 22.0	29 15.2	66 34.6	42 22.0	5 2.6	2 1.0	7 3.7
3～5歳	345 100.0	130 37.7	149 43.2	202 58.6	254 73.6	76 22.0	40 11.6	102 29.6	75 21.7	9 2.6	7 2.0	17 4.9

※年齢が無回答の場合があるため、全体の調査数と年齢別の調査数の合計は合わないことがある

(6) 教育・保育事業を利用していない理由

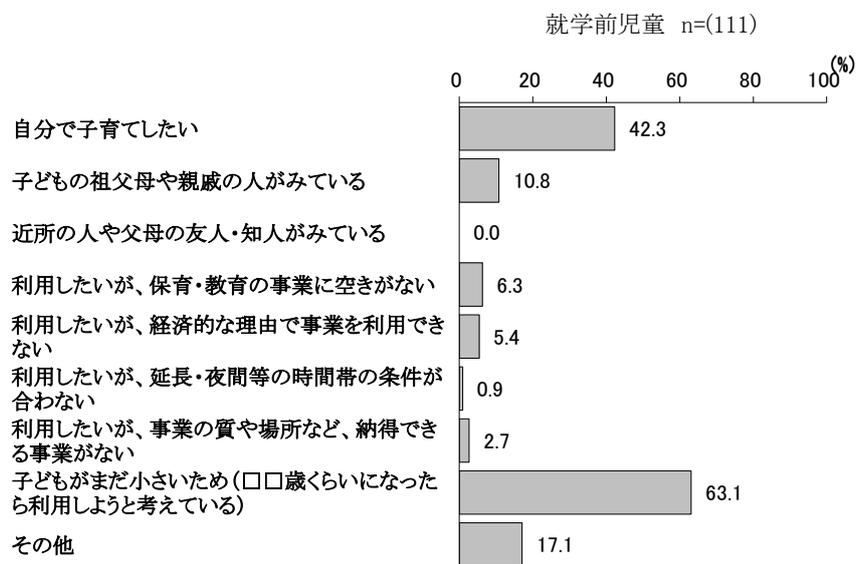
- ・教育・保育事業を利用していない理由をみると、「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」(63.1%) が最も多く、以下「自分で子育てしたい」(42.3%)、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(10.8%) の順となっている。
- ・年齢別（3区分）にみると、0歳～2歳児が大半を占めており、「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」（0歳 65.8%・1～2歳 59.4%）、「自分で子育てしたい」（0歳児 48.7%・1～2歳児 25.0%）がともに多くなっている。

\* 問 14 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 14-5】

教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

教育・保育事業を利用していない理由



[年齢別]

	調査数	自分で子育てしたい	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場	いなど、納得できない事業がな	利用したいが、事業の質や場	子どもがまだ小さいため(□)	その他
全体	111 100.0	47 42.3	12 10.8	- -	7 6.3	6 5.4	1 0.9	3 2.7	70 63.1	19 17.1		

問4 年齢

0歳	76 100.0	37 48.7	10 13.2	- -	6 7.9	4 5.3	- -	2 2.6	50 65.8	9 11.8		
1歳	22 100.0	7 31.8	1 4.5	- -	1 4.5	2 9.1	1 4.5	1 4.5	13 59.1	7 31.8		
2歳	10 100.0	1 10.0	1 10.0	- -	- -	- -	- -	- -	6 60.0	2 20.0		
3歳	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0		
4歳	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -		
5歳	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -		

問4 年齢(3区分)

0歳	76 100.0	37 48.7	10 13.2	- -	6 7.9	4 5.3	- -	2 2.6	50 65.8	9 11.8		
1～2歳	32 100.0	8 25.0	2 6.3	- -	1 3.1	2 6.3	1 3.1	1 3.1	19 59.4	9 28.1		
3～5歳	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0		

※年齢が無回答の場合があるため、全体の調査数と年齢別の調査数の合計は合わないことがある

## 2. 定期的に利用したい教育・保育事業について

### (1) こども誰でも通園制度（仮称）が実施された場合の保育施設等の利用希望

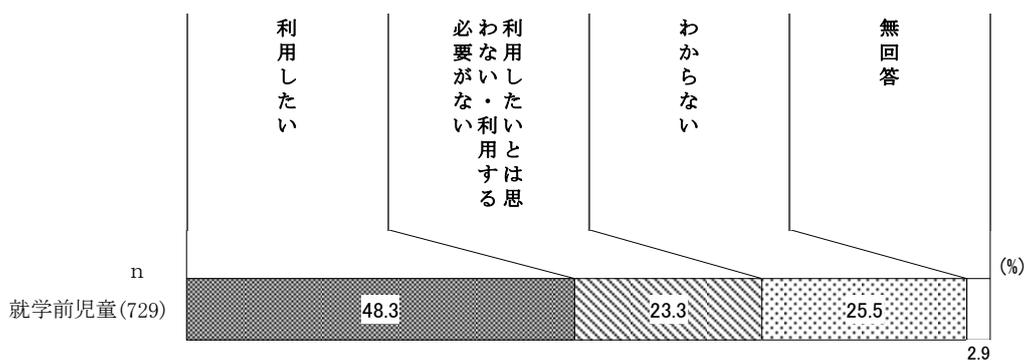
・こども誰でも通園制度（仮称）が実施された場合の保育施設等の利用希望をみると、「利用したい」（48.3%）が最も多く、「利用したいとは思わない・利用する必要がない」は23.3%となっている。また、「わからない」が25.5%と全体の1/4を占めていることから、制度の周知が必要と考えられる。

#### 【就学前児童 問15】

現在、国では、保護者の就労にかかわらず、月の一定時間までこども（0歳6ヵ月～2歳）を保育施設等に時間単位で預けられる「こども誰でも通園制度（仮称）」の検討を進めています。この制度が実施された場合、保育施設等を利用しようと思いませんか。（1つに○）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

こども誰でも通園制度（仮称）が実施された場合の保育施設等の利用希望



## (2) 定期的に利用したい教育・保育事業

・定期的にご利用したい教育・保育事業をみると、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が 49.0%と最も多く、以下「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」(43.5%)、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」(27.0%)、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」(16.6%)の順となっている。

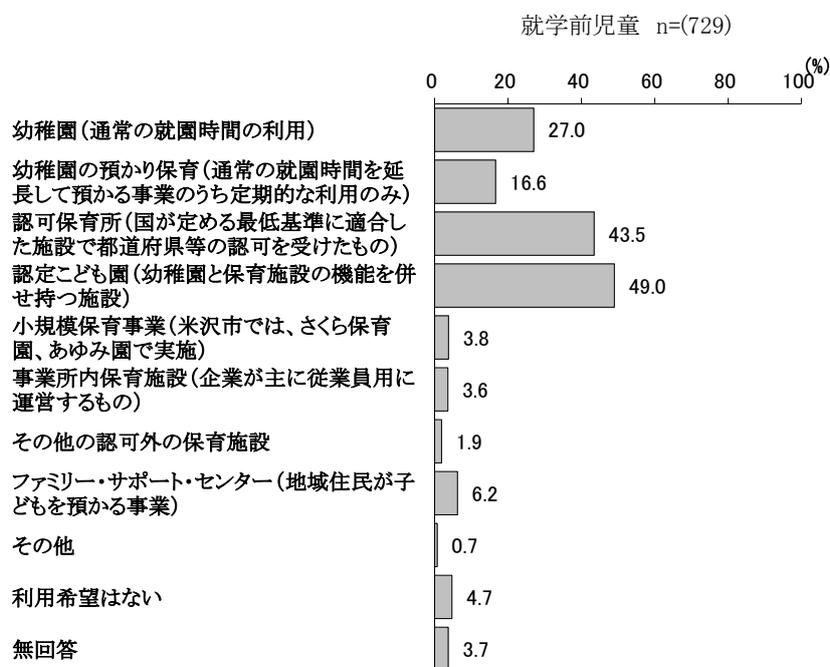
### 【就学前児童 問 16】

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「10. 利用希望はない」に○をつけた方は、問 17 へお進みください。

### 定期的にご利用したい教育・保育事業



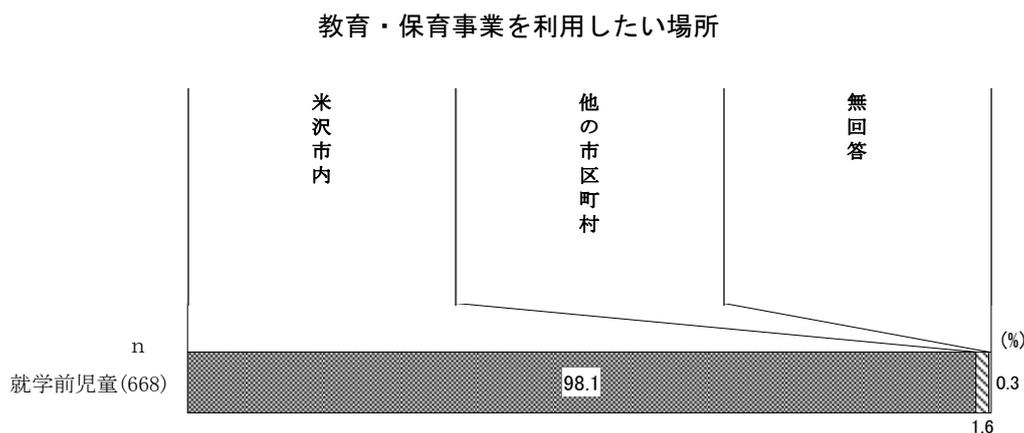
### (3) 教育・保育事業を利用したい場所

・教育・保育事業を利用したい場所をみると、「米沢市内」が98.1%となっている。

\* 問16で「1」～「9」（利用したい）に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問16-1】

問16で○をつけた教育・保育事業について、主に利用したい場所はどこですか。（1つに○）



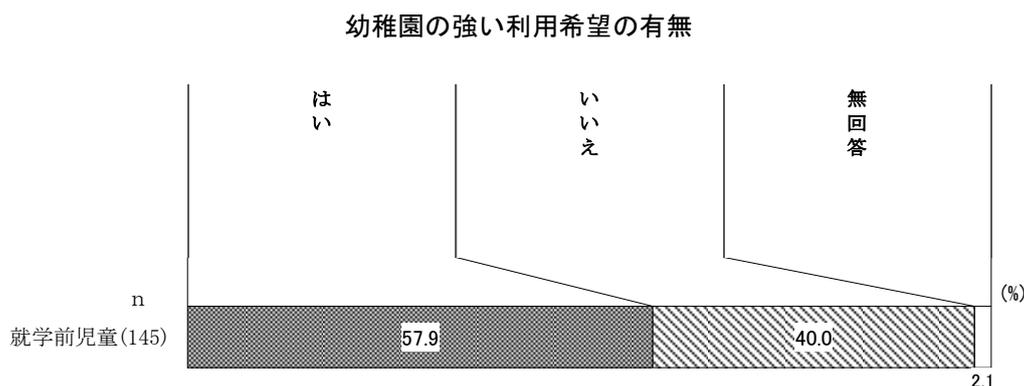
### (4) 幼稚園の強い利用希望の有無

・定期的に利用したい教育・保育事業で、「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ他の教育・保育事業も選択した方の幼稚園の強い利用希望の有無をみると、「はい」が57.9%となっている。

\* 問16で「1」または「2」（幼稚園・幼稚園の預かり保育）に○をつけ、かつ「3」～「9」にも○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問16-2】

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つに○）



## V. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

### 1. 土曜日・日曜日・祝日の定期的な事業の利用希望

#### (1) 土曜日・日曜日・祝日の定期的な事業の利用希望

- ・土曜日の定期的な事業の利用希望をみると、「ほぼ毎週利用したい」(9.2%)、「月に1～2回は利用したい」(40.6%)を合わせると、利用希望は49.8%となっている。一方、「利用する必要はない」は50.1%となっている。
- ・土曜日の希望開始時間は「8時台」(50.1%)が最も多く、以下「9時台」(33.6%)、「7時台」(10.7%)の順となっており、希望終了時間は「18時台」(35.3%)が最も多く、以下「17時台」(31.4%)、「16時台」(14.0%)となっている。

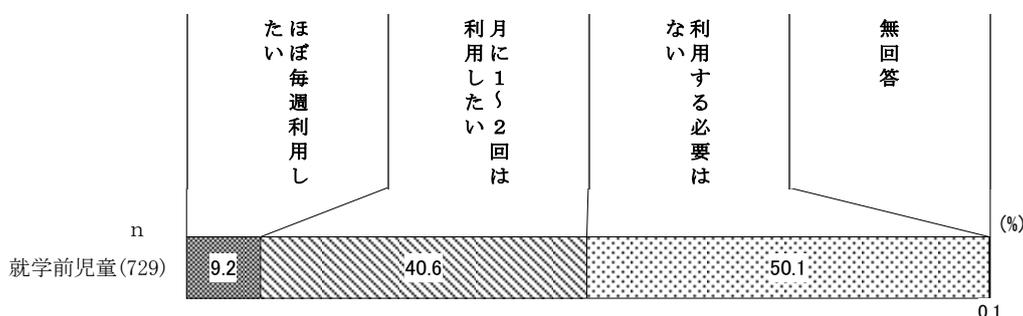
#### 【就学前児童 問17】

宛名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時利用は除く）。（1）（2）それぞれについて、利用希望の有無と利用したい時間帯についてお答えください。（1つに○）

※時間は必ず（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

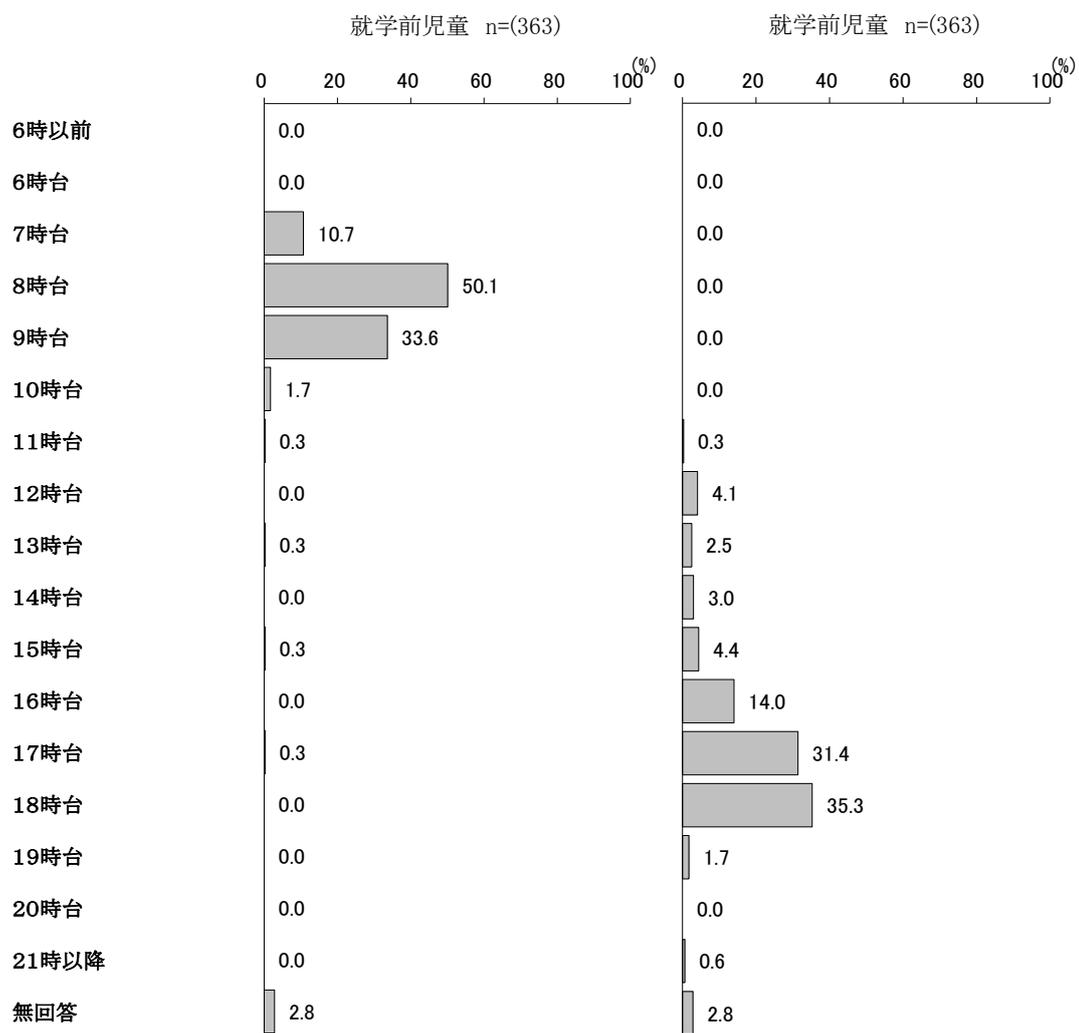
#### (1) 土曜日

土曜日の定期的な事業の利用希望



土曜日の希望開始時間

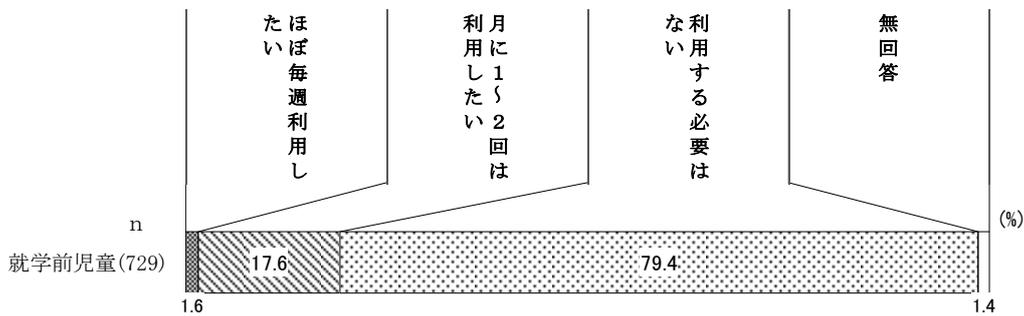
土曜日の希望終了時間



- ・日曜日・祝日の定期的な事業の利用希望をみると、「ほぼ毎週利用したい」(1.6%)、「月に1～2回は利用したい」(17.6%)を合わせると、利用希望は19.2%と土曜日に比べ大きく減少している。
- ・日曜日・祝日の希望開始時間は「8時台」(55.0%)が最も多く、以下「9時台」(33.6%)、「7時台」(9.3%)の順となっており、希望終了時間は「18時台」(42.9%)が最も多く、以下「17時台」(28.6%)、「16時台」(14.3%)の順となっている。

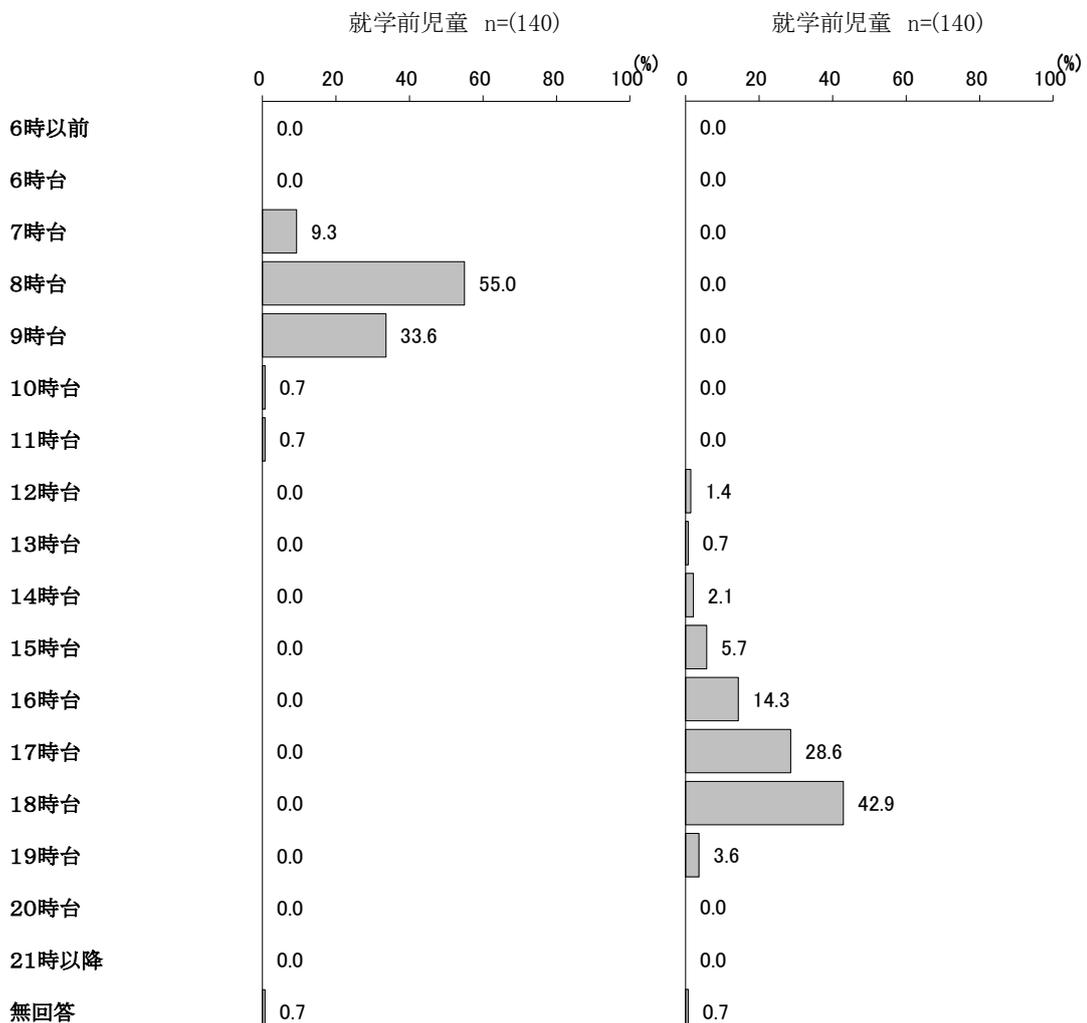
(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日の定期的な事業の利用希望



日曜日・祝日の希望開始時間

日曜日・祝日の希望終了時間



(2) 土曜日・日曜日・祝日にたまに利用したい理由

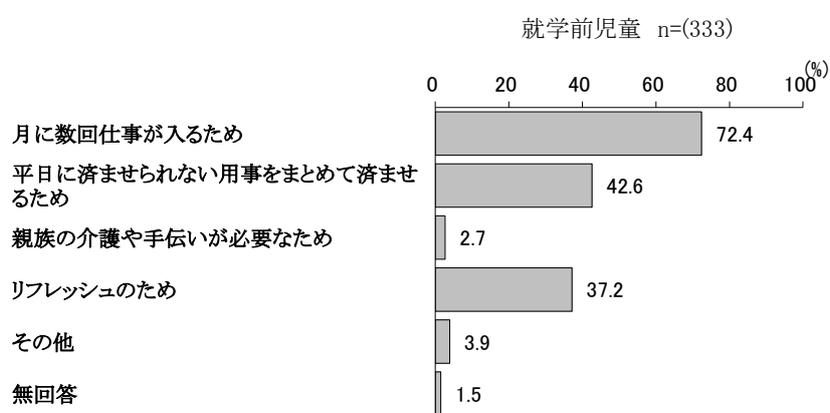
・土曜日・日曜日・祝日にたまに利用したい理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(72.4%)が最も多く、以下「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(42.6%)、「リフレッシュのため」(37.2%)の順となっている。

\*問17の(1)もしくは(2)で「月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問17-1】

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

土曜日・日曜日・祝日にたまに利用したい理由



## 2. 幼稚園長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

### (1) 幼稚園長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

- ・幼稚園長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(47.1%)、「休みの期間中、週に数日は利用したい」(29.4%)を合わせると、利用希望は76.5%となっている。
- ・長期休暇中の希望開始時間は「8時台」(49.2%)が最も多く、以下「9時台」(38.5%)、「7時台」(7.7%)の順となっており、希望終了時間は「18時台」(41.5%)が最も多く、以下「17時台」(26.2%)、「16時台」(12.3%)、「14時台」(7.7%)となっている。

\* 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

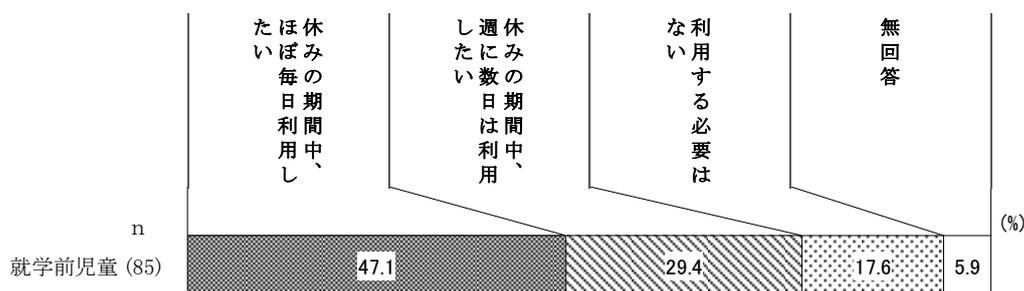
#### 【就学前児童 問18】

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。利用希望の有無と利用したい時間帯についてお答えください。(1つに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

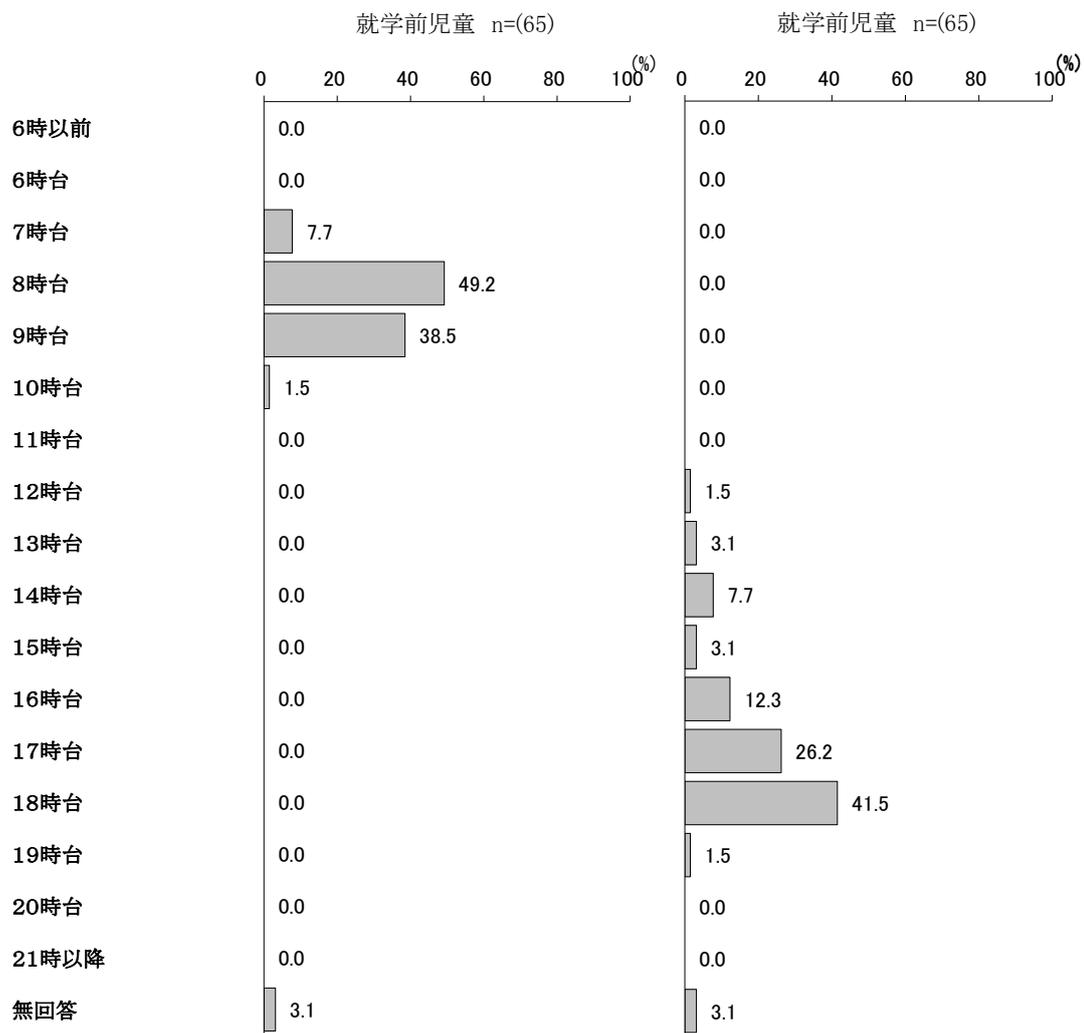
※時間は必ず(例9時～18時のように24時間制でご記入ください)。

幼稚園長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望



長期休暇中の希望開始時間

長期休暇中の希望終了時間



(2) 長期休暇期間中にたまに利用したい理由

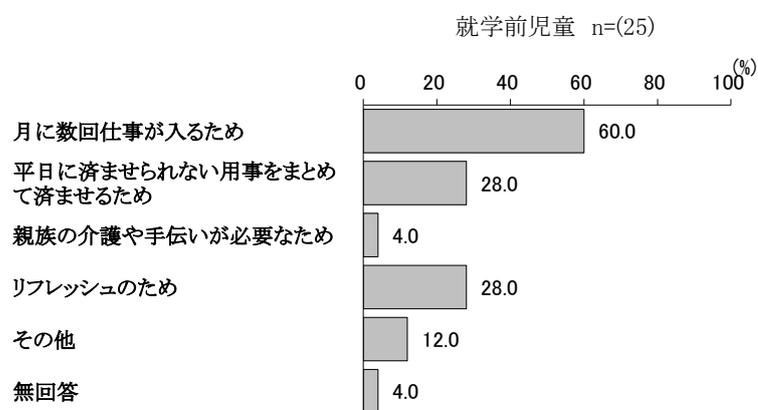
- ・長期休暇期間中にたまに利用したい理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(60.0%)が最も多く、以下「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」「リフレッシュのため」(ともに28.0%)の順となっている。

\* 問 18 で「2. 週に数日は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 18-1】

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

長期休暇期間中にたまに利用したい理由



## VI. 放課後の過ごし方について

### 1. 就学前児童の小学校就学後の放課後の過ごし方の希望

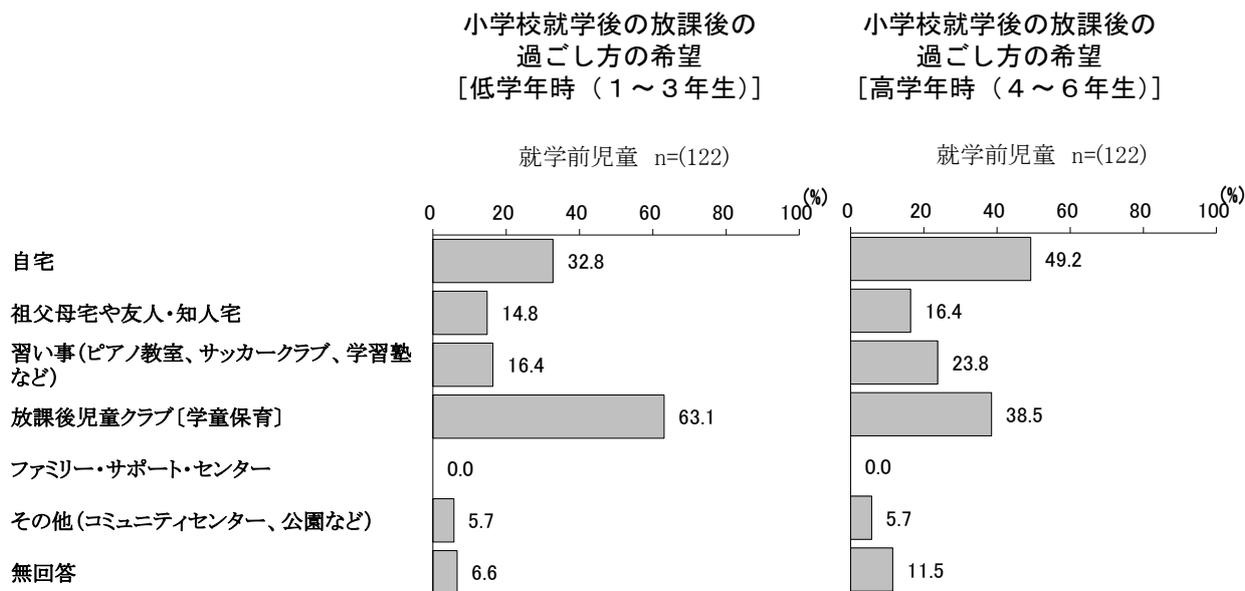
- ・5歳以上の就学前児童の小学校入学後の放課後の過ごし方の希望をみると、低学年時・高学年時ともに「放課後児童クラブ〔学童保育〕」（低学年時 63.1%・高学年時 38.5%）、「自宅」（低学年時 32.8%・高学年時 49.2%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（低学年時 16.4%・高学年時 23.8%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（低学年時 14.8%・高学年時 16.4%）が多くなっている。なお、高学年時になると、「自宅」と「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が多くなり、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が少なくなっている。
- ・放課後の過ごし方の希望日数（1週当たり）をみると、放課後児童クラブ〔学童保育〕では「5日」（低学年時 89.6%・高学年時 78.7%）が最も多くなっている。一方、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）や祖父母宅や友人・知人宅は「1日」や「2日」が多くなっている。
- ・放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の希望終了時間をみると、「18時台」（低学年時 55.8%・高学年時 51.1%）が多くなっている。

\*宛名のお子さんが5歳以上である方にうかがいます。

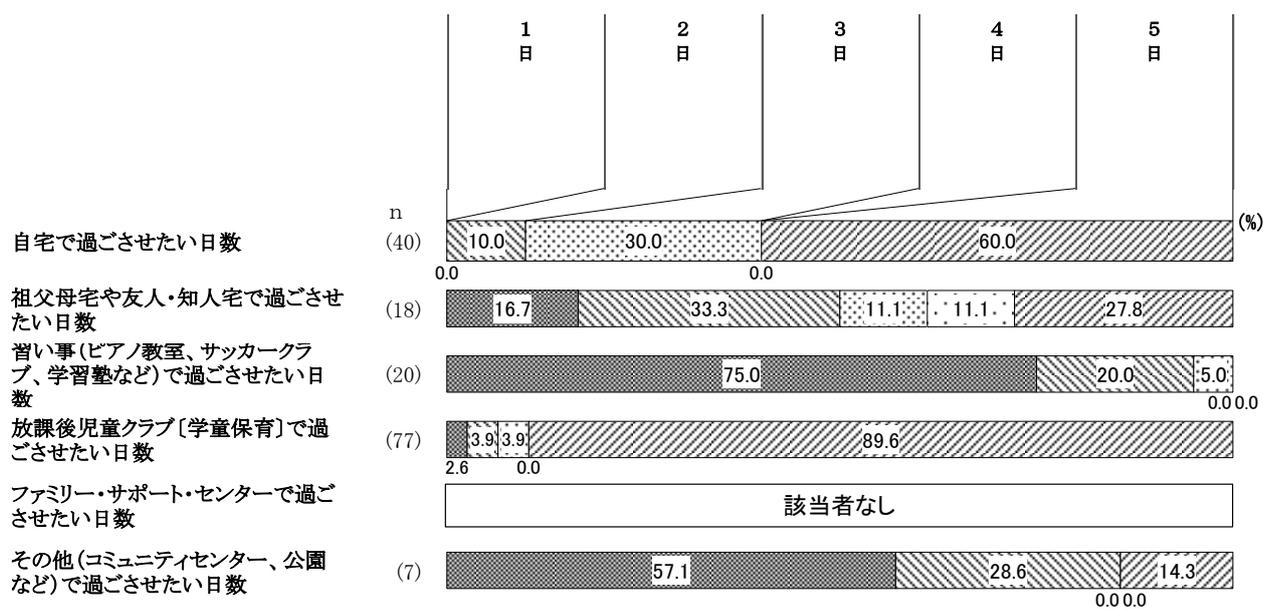
#### 【就学前児童 問25】

宛名のお子さんが小学校に就学後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）の場合で、それぞれ希望する場所と週当たりの日数をお答えください。また、放課後児童クラブ〔学童保育〕の場合は、利用を希望する時間も数字でご記入下さい。

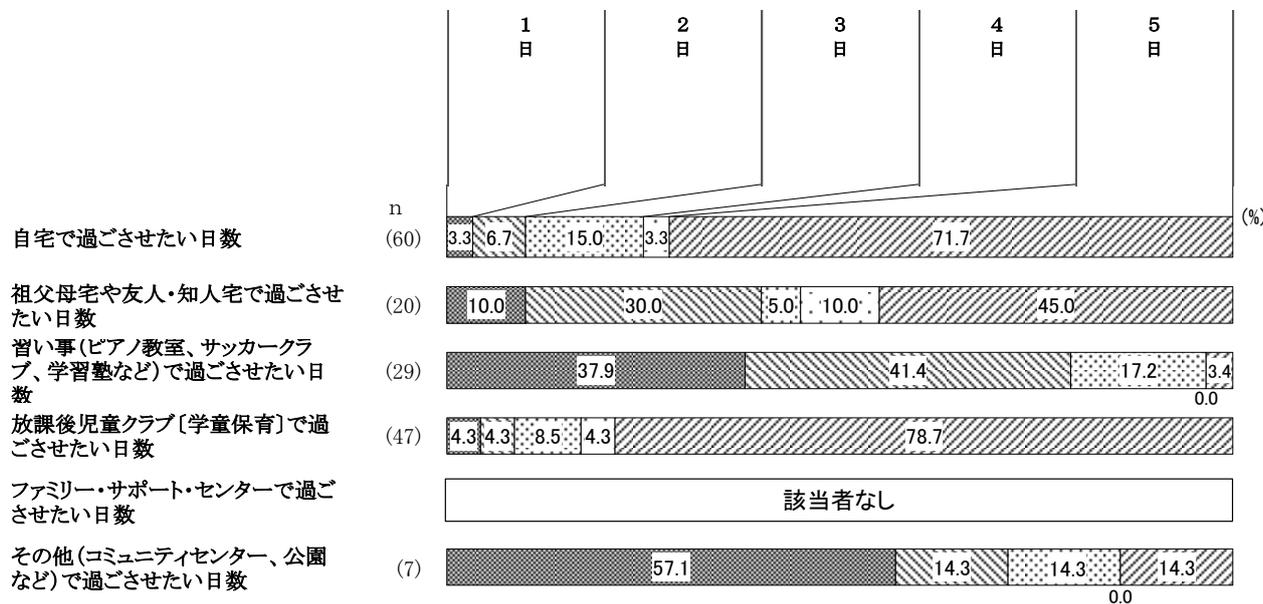
※時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。



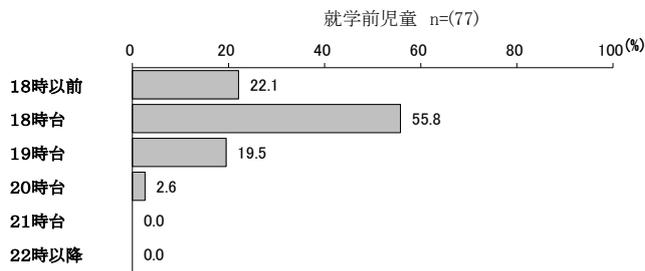
放課後の過ごし方の希望日数（1週当たり）[低学年時（1～3年生）]



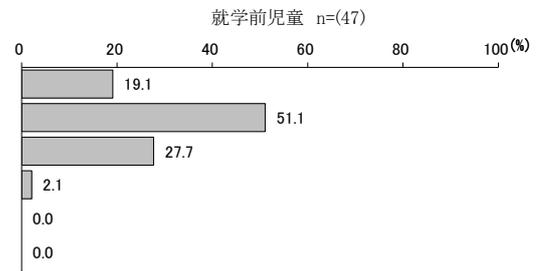
放課後の過ごし方の希望日数（1週当たり）[高学年時（4～6年生）]



放課後児童クラブ  
〔学童保育〕の希望終了時間  
〔低学年時（1～3年生）〕



放課後児童クラブ  
〔学童保育〕の希望終了時間  
〔高学年時（4～6年生）〕



## 2. 小学生の放課後の過ごし方

### (1) 現在の放課後の過ごし方

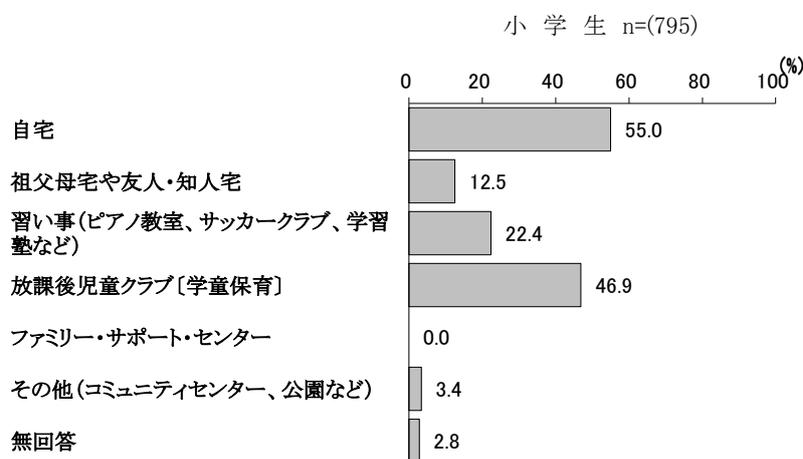
- ・小学生の現在の放課後の過ごし方をみると、「自宅」(55.0%)が最も多く、以下「放課後児童クラブ〔学童保育〕」(46.9%)、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(22.4%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(12.5%)となっている。
- ・学年別にみると、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」は概ね低学年であるほど需要が高く、1年生では64.7%となっている。一方、3年生になると54.3%と徐々に減少していき、かわって「自宅」が多くなっている。
- ・放課後の過ごし方の利用日数(1週当たり)をみると、「5日」は放課後児童クラブ〔学童保育〕(76.1%)、自宅(67.3%)が多くなっている。
- ・放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の利用終了時間をみると、「18時台」(55.0%)が最も多く、以下「17時台」(24.9%)、「19時台」(14.5%)の順となっている。

#### 【小学生問13】

お子さんについて、放課後(平日の小学校下校後)の時間をどこで過ごしていますか。また、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。現在の状況と、自分の現在の学年以降の今後の希望について、それぞれ週当たりの日数をお答えください。また「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

※時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

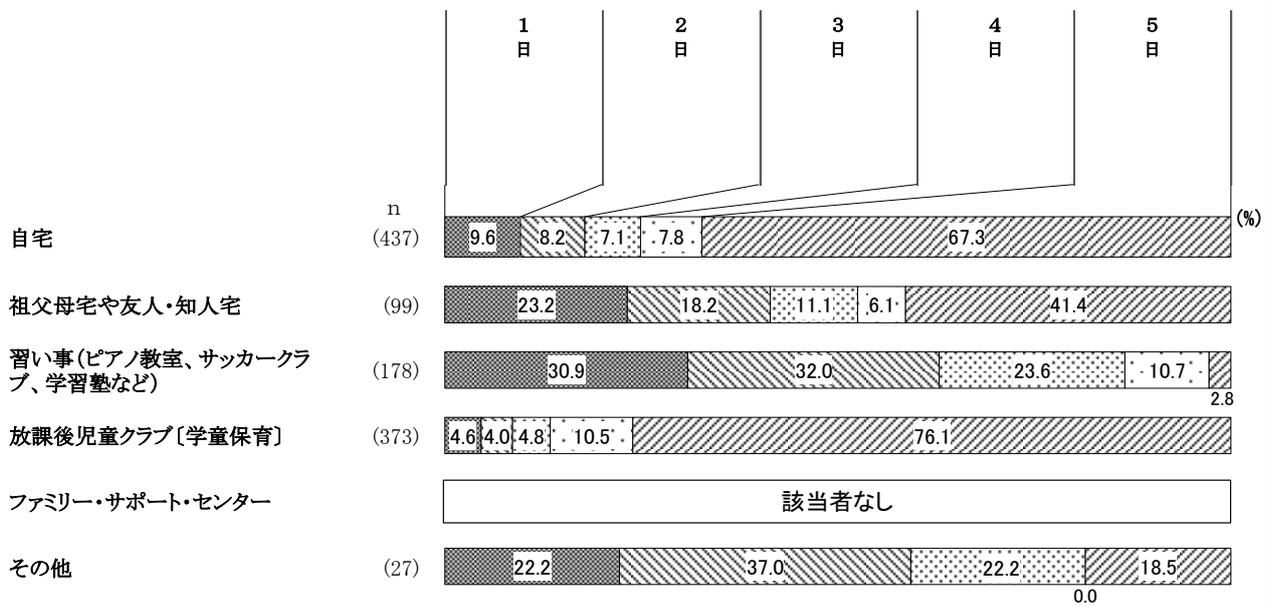
現在の放課後の過ごし方



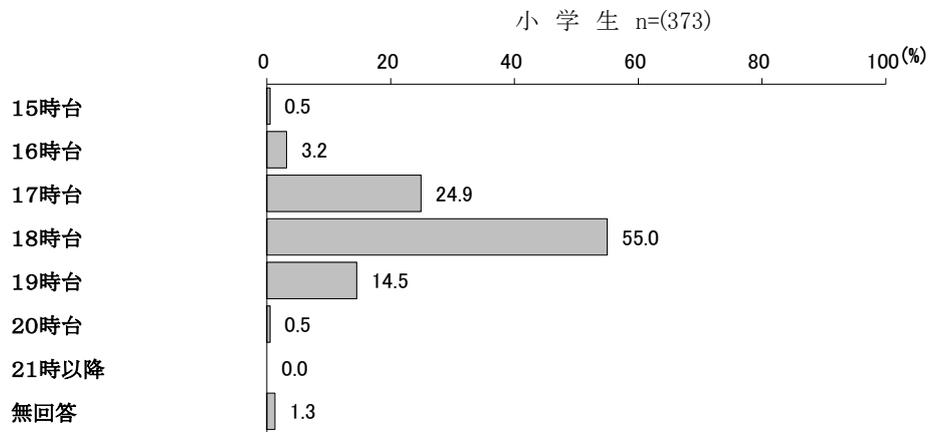
[学年別]

上段：実数 下段：%	調査数	自宅	知人 祖父母 宅や友人	習い事 (ピアノ教 室、サツ カークラ ブ、学習 塾など)	放課後 児童クラ ブ 〔学童保 育〕	ファミリ ー・セン ター	その他 (コミュニ ティセン ター、公 園など)	無回答
全 体	795 100.0	437 55.0	99 12.5	178 22.4	373 46.9	- -	27 3.4	22 2.8
問4 子どもの学年								
小学1年生	136 100.0	51 37.5	14 10.3	21 15.4	88 64.7	- -	5 3.7	2 1.5
小学2年生	125 100.0	44 35.2	12 9.6	25 20.0	81 64.8	- -	8 6.4	4 3.2
小学3年生	127 100.0	72 56.7	17 13.4	39 30.7	69 54.3	- -	1 0.8	2 1.6
小学4年生	125 100.0	67 53.6	22 17.6	25 20.0	56 44.8	- -	3 2.4	5 4.0
小学5年生	139 100.0	96 69.1	18 12.9	32 23.0	45 32.4	- -	7 5.0	2 1.4
小学6年生	111 100.0	88 79.3	14 12.6	26 23.4	21 18.9	- -	2 1.8	5 4.5
問4 子どもの学年（2区分）								
低学年（1～3年生）	388 100.0	167 43.0	43 11.1	85 21.9	238 61.3	- -	14 3.6	8 2.1
高学年（4～6年生）	375 100.0	251 66.9	54 14.4	83 22.1	122 32.5	- -	12 3.2	12 3.2

現在の放課後の過ごし方の利用日数（1週当たり）



現在の放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用終了時間

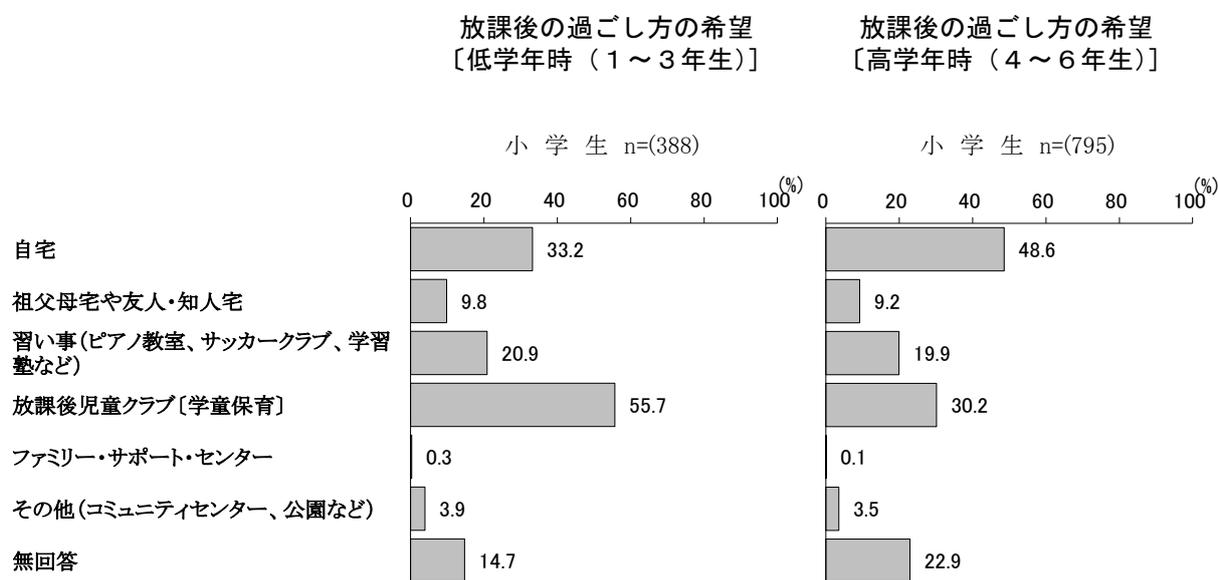


## (2) 今後の放課後の過ごし方の希望

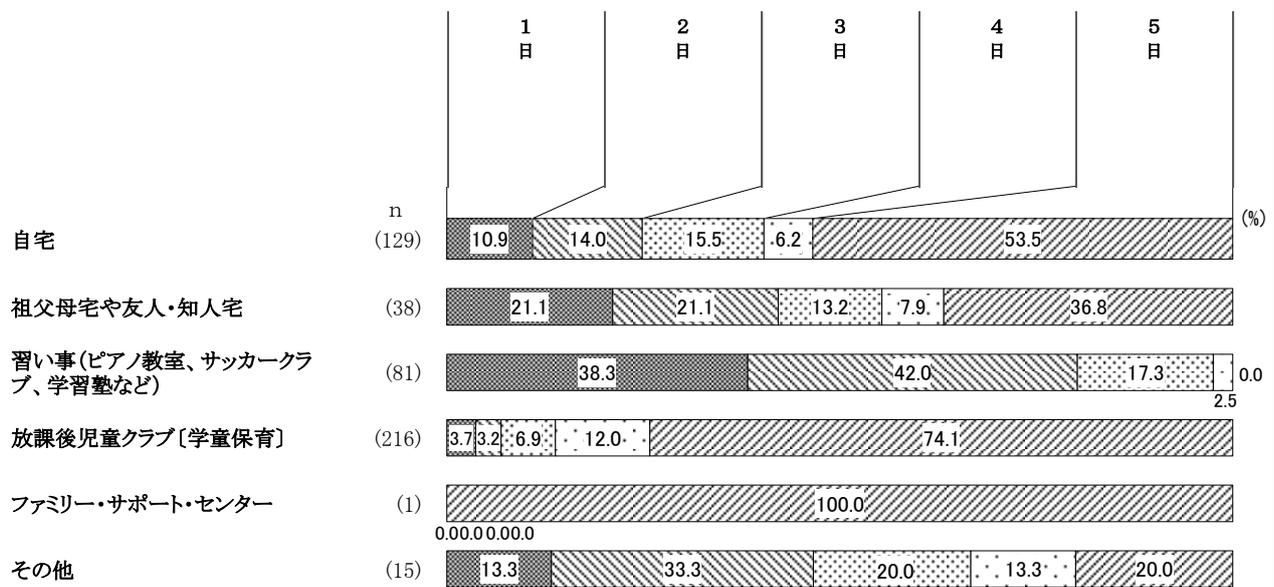
- ・小学生の今後の放課後の過ごし方の希望をみると、順位は異なるものの、低学年時・高学年時ともに「自宅」（低学年時 33.2%・高学年時 48.6%）、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」（低学年時 55.7%・高学年時 30.2%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（低学年時 20.9%・高学年時 19.9%）が多くなっている。なお、高学年時になると、「自宅」が多くなり、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が大幅に少なくなっている。
- ・放課後の過ごし方の希望日数（1週当たり）をみると、「5日」が多いのは放課後児童クラブ〔学童保育〕（低学年時 74.1%・高学年時 71.3%）、自宅（低学年時 53.5%・高学年時 67.6%）となっている。一方、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）や祖父母宅や友人・知人宅は「1日」や「2日」が多くなっている。
- ・放課後児童クラブ〔学童保育〕を選んだ方の希望終了時間をみると、「18時台」（低学年時 50.5%・高学年時 50.4%）が最も多く、以下「17時台」（低学年時 28.7%・高学年時 23.8%）、「19時台」（低学年時 15.3%・高学年時 21.3%）となっている。

### 【小学生問13】

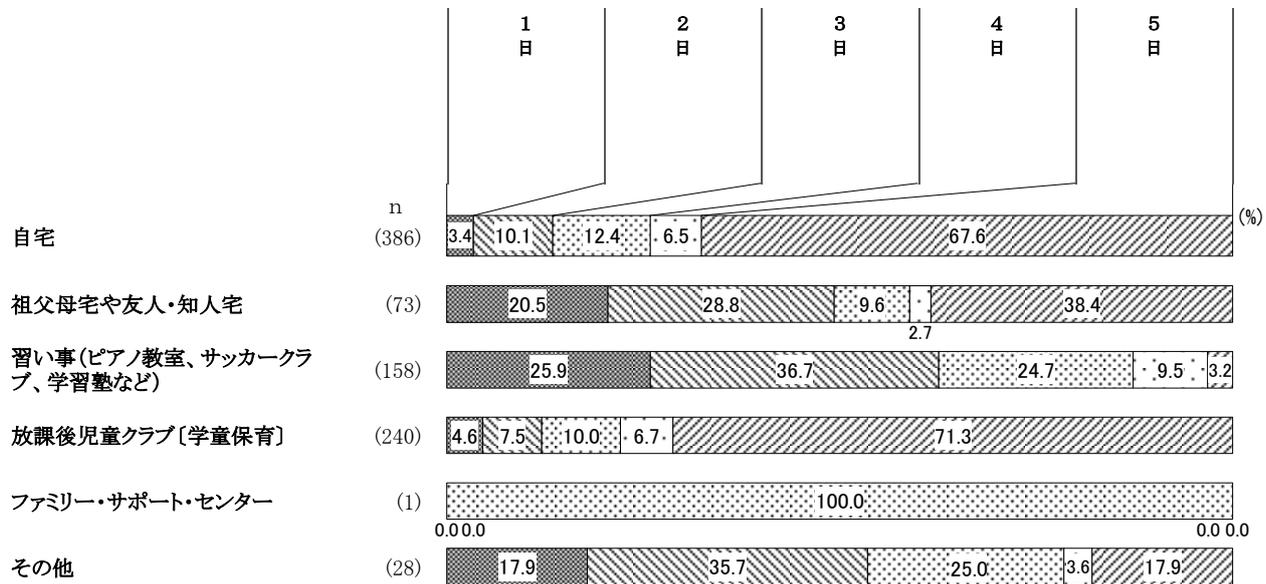
お子さんについて、放課後（平日の小学校下校後）の時間をどこで過ごしていますか。また、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。現在の状況と、自分の現在の学年以降の今後の希望について、それぞれ週当たりの日数をお答えください。また「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。※時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。



放課後の過ごし方の希望日数（1週当たり）〔低学年時（1～3年生）〕

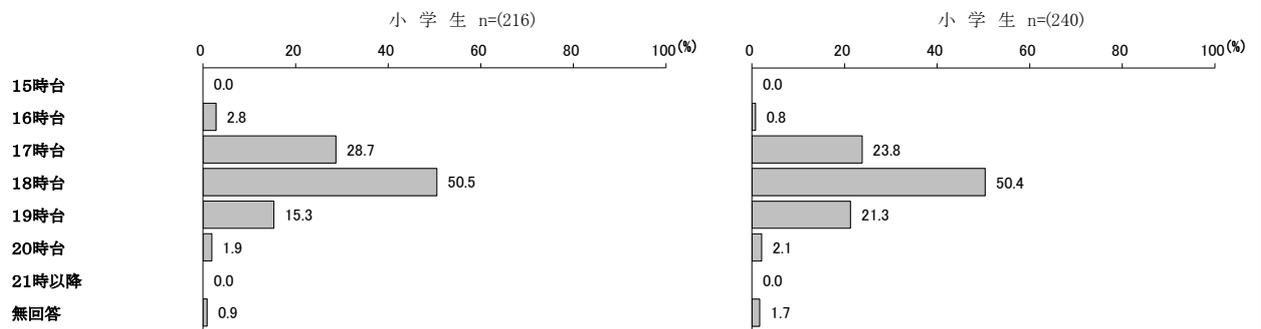


放課後の過ごし方の希望日数（1週当たり）〔高学年時（4～6年生）〕



放課後児童クラブ  
〔学童保育〕の希望終了時間  
〔低学年時（1～3年生）〕

放課後児童クラブ  
〔学童保育〕の希望終了時間  
〔高学年時（4～6年生）〕



### (3) 放課後児童クラブのよいと感じているところ

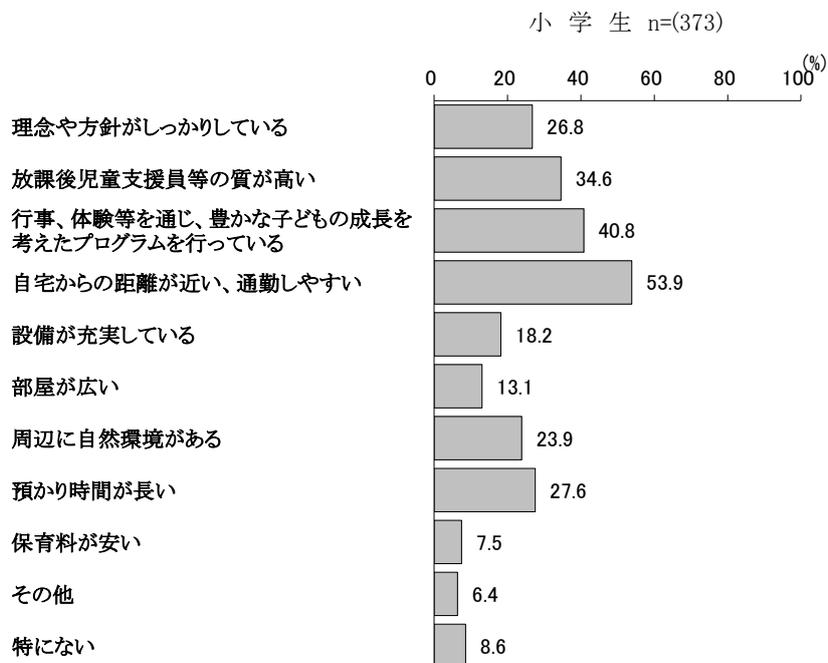
・放課後児童クラブのよいと感じているところをみると、「自宅からの距離が近い、通勤しやすい」(53.9%)が最も多く、以下「行事、体験等を通じ、豊かな子どもの成長を考えたプログラムを行っている」(40.8%)、「放課後児童支援員等の質が高い」(34.6%)、「預かり時間が長い」(27.6%)、「理念や方針がしっかりしている」(26.8%)、「周辺に自然環境がある」(23.9%)の順となっている。

\* 問 13【現在の状況】で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。

#### 【小学生 問13-1】

現在、利用している放課後児童クラブ〔学童保育〕について、よいと感じていることをお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

放課後児童クラブのよいと感じているところ



### 3. 土曜日・長期休暇中の放課後児童クラブの利用状況

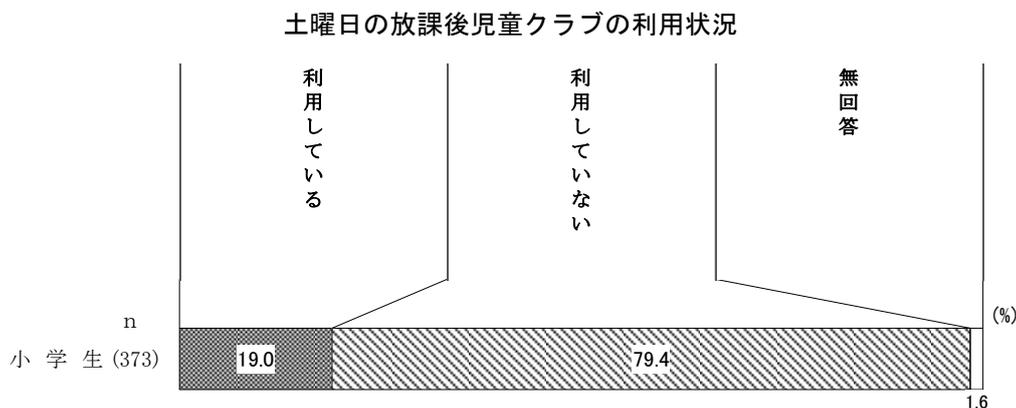
- ・土曜日の放課後児童クラブの利用状況をみると、「利用している」は19.0%となっている。
- ・土曜日の放課後児童クラブの利用開始時間・終了時間をみると、開始時間は「8時台」(76.1%)が最も多く、以下「7時台」「9時台」(ともに11.3%)となっており、終了時間は「18時台」(52.1%)が最も多く、以下「17時台」(26.8%)、「16時台」(8.5%)、「19時台」(7.0%)の順となっている。

\*問13【現在の状況】で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。

#### 【小学生 問13-2】

土曜日、長期休暇中（夏・冬休みなど）に、放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用していますか。それぞれについて、利用有無とその時間帯をお答えください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（（1）、（2）それぞれ1つに○）

#### （1）土曜日

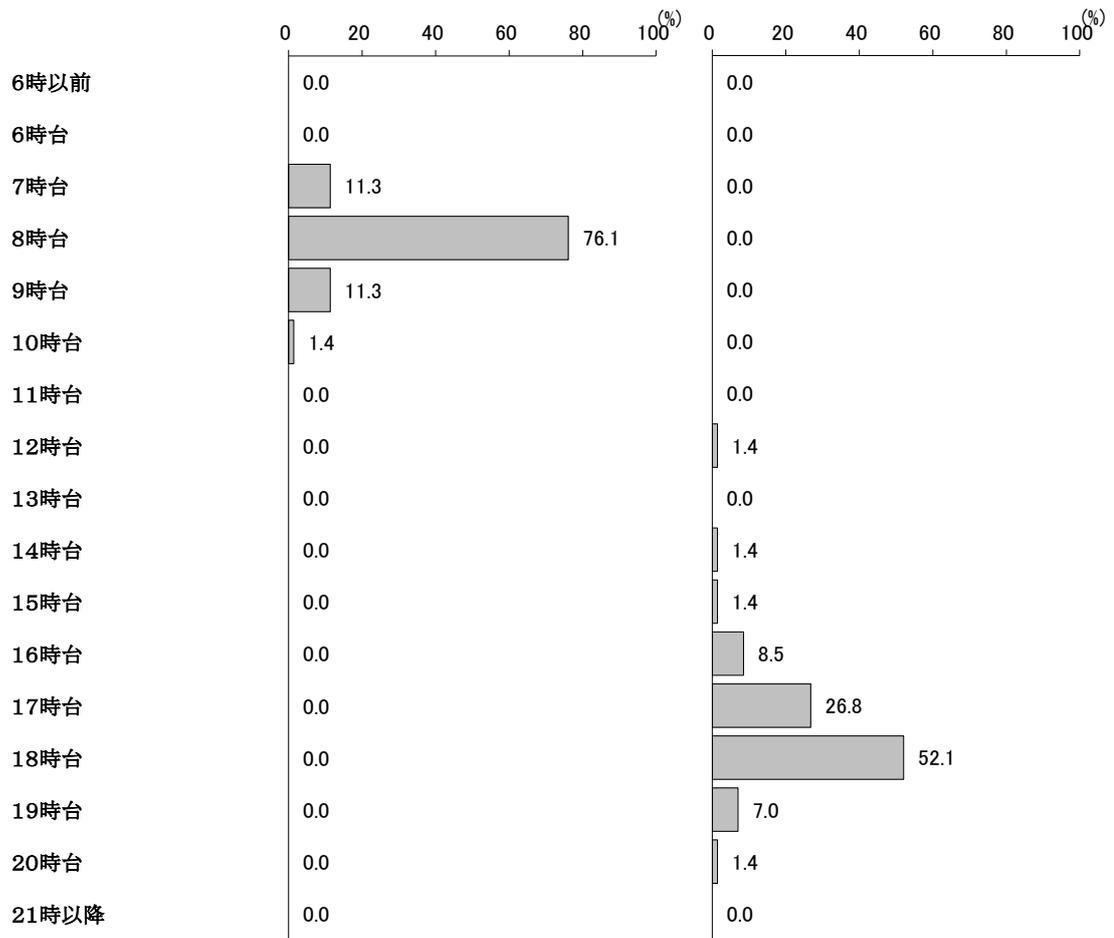


土曜日の利用開始時間

小学生 n=(71)

土曜日の利用終了時間

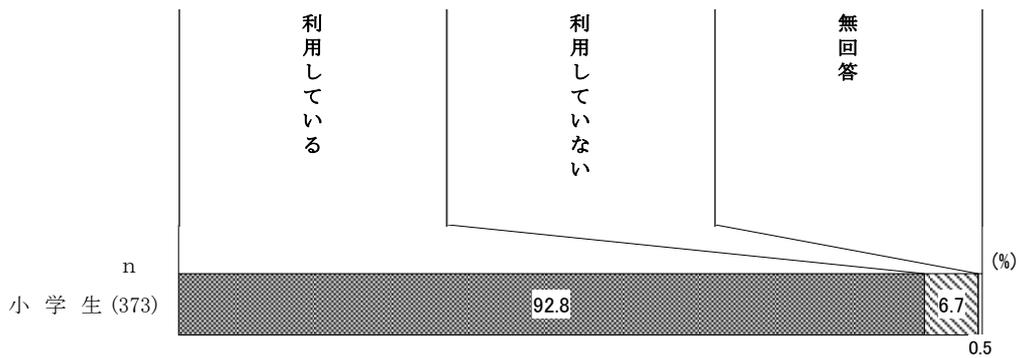
小学生 n=(71)



- ・長期休暇中の放課後児童クラブの利用状況を見ると、「利用している」は92.8%となっている。
- ・長期休暇中の放課後児童クラブの利用開始時間・終了時間を見ると、利用開始時間は「8時台」(76.6%)が最も多く、以下「7時台」(12.4%)、「9時台」(10.4%)となっており、利用終了時間は「18時台」(57.5%)が最も多く、以下「17時台」(26.6%)、「19時台」(11.0%)の順となっている。

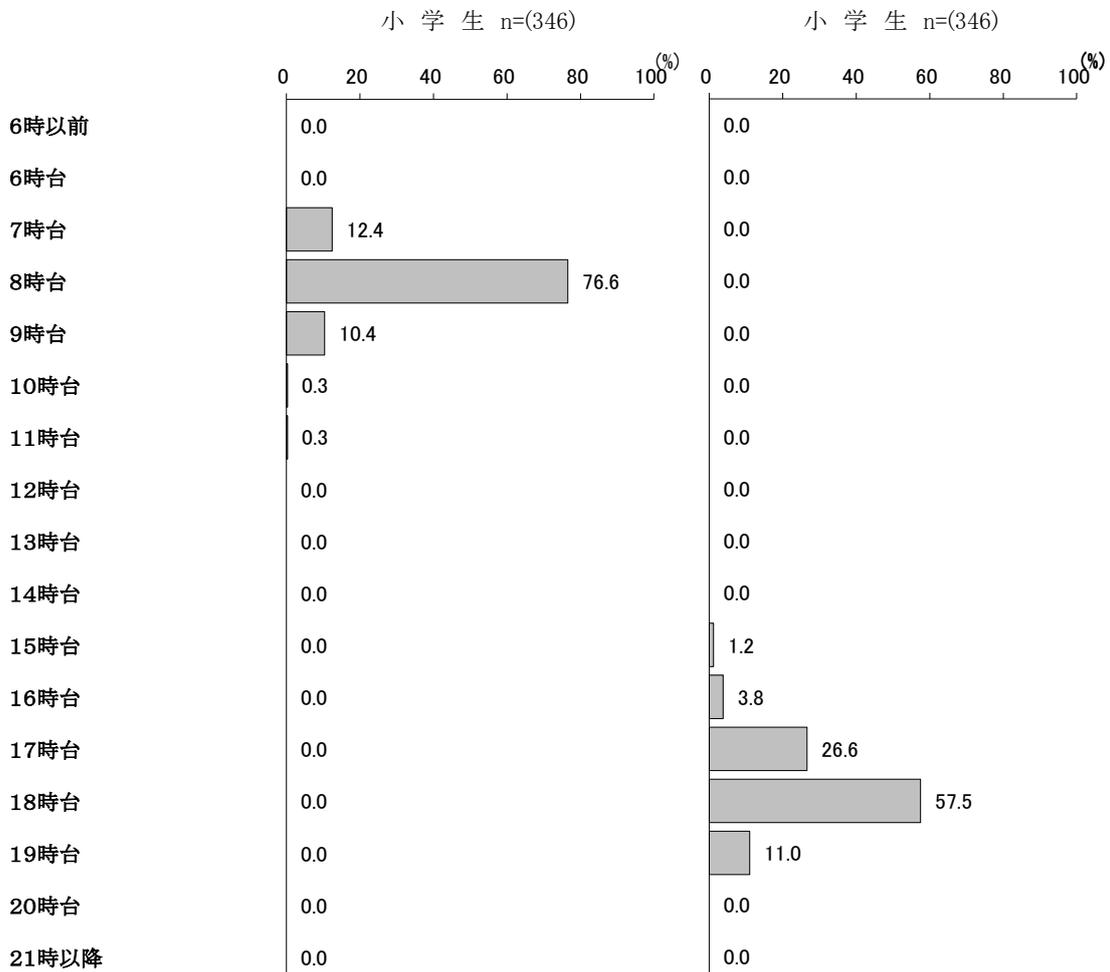
(2) 長期休暇中（夏・冬休みなど）

長期休暇中の放課後児童クラブの利用状況



長期休暇中の利用開始時間

長期休暇中の利用終了時間



#### 4. 土曜日・日曜日・祝日・長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

- ・土曜日の放課後児童クラブの利用希望をみると、両者ともに「利用する必要はない」（就学前児童 48.7%・小学生 64.4%）が最も多く、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（就学前児童 21.8%・小学生 10.7%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（就学前児童 26.9%・小学生 18.4%）を合わせると、就学前児童では 48.7%、小学生では 29.1%となっている。
- ・土曜日の放課後児童クラブの希望開始時間・終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」（就学前児童 52.6%・小学生 62.1%）が最も多く、希望終了時間は「18時台」（就学前児童 50.0%・小学生 48.4%）が最も多くなっている。

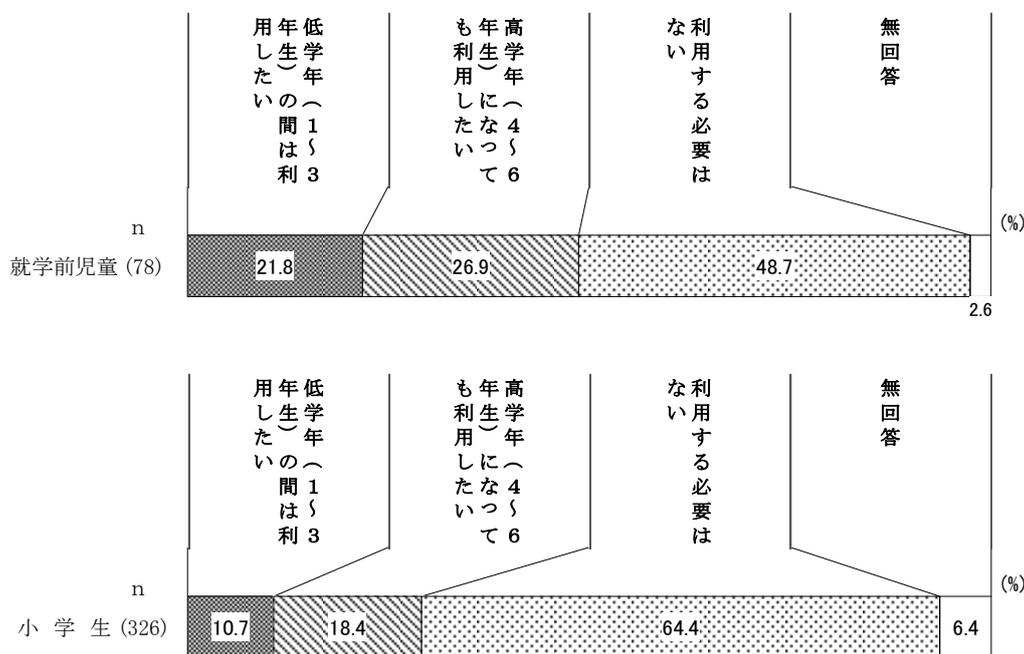
\* 問 25（就学前児童）、問 13（小学生）【今後の希望】で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問26】【小学生 問13-3】

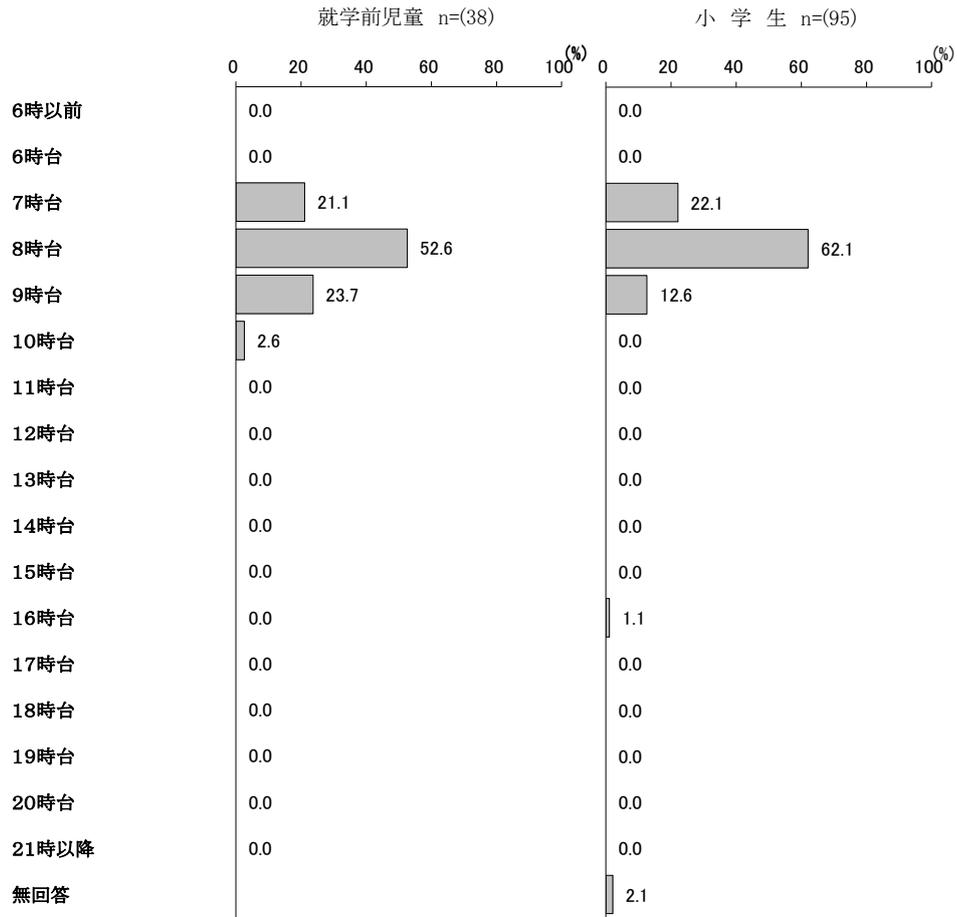
土曜日、日・祝日及び長期休暇中（夏・冬休みなど）に、放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用希望はありますか。それぞれについて、利用希望とその時間帯をお答えください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（（1）、（2）、（3）それぞれ1つに○）

（1）土曜日

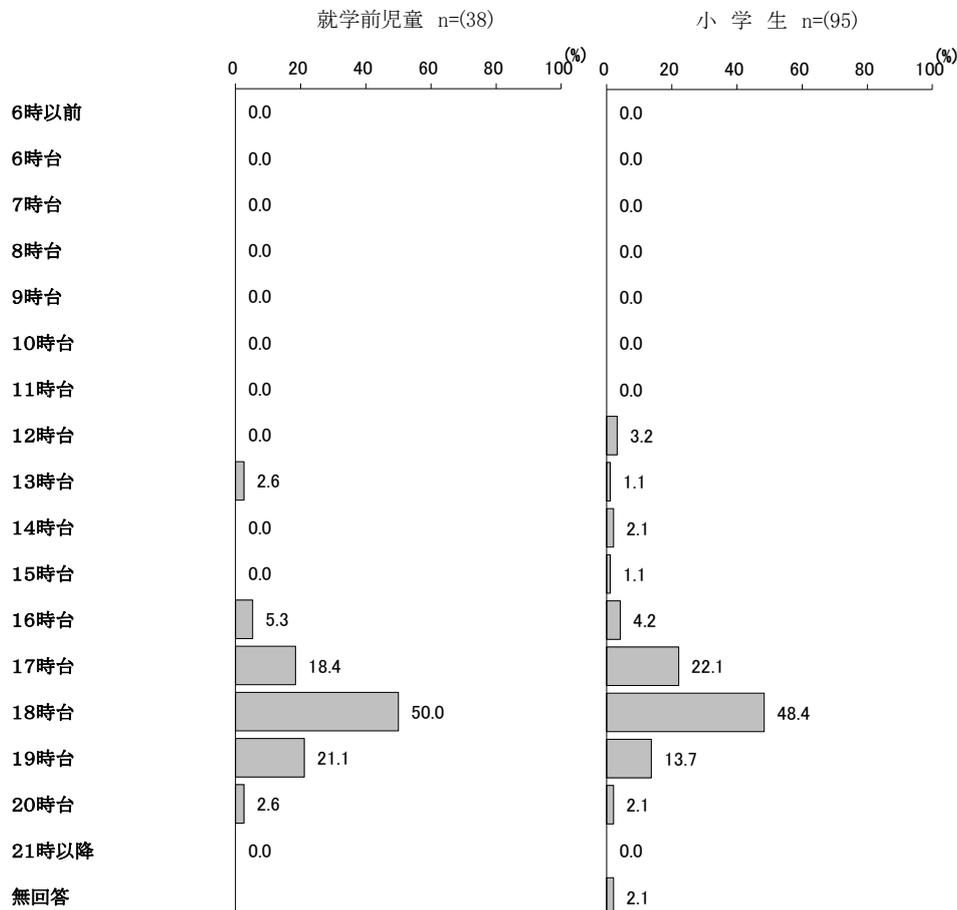
土曜日の放課後児童クラブの利用希望



### 土曜日の希望開始時間



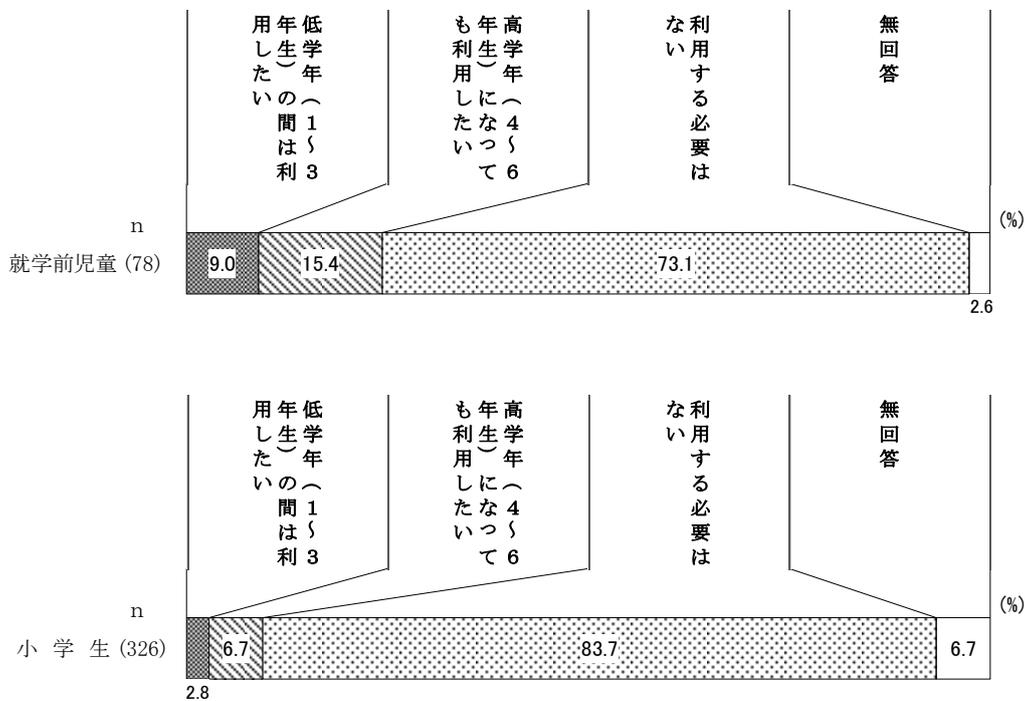
### 土曜日の希望終了時間



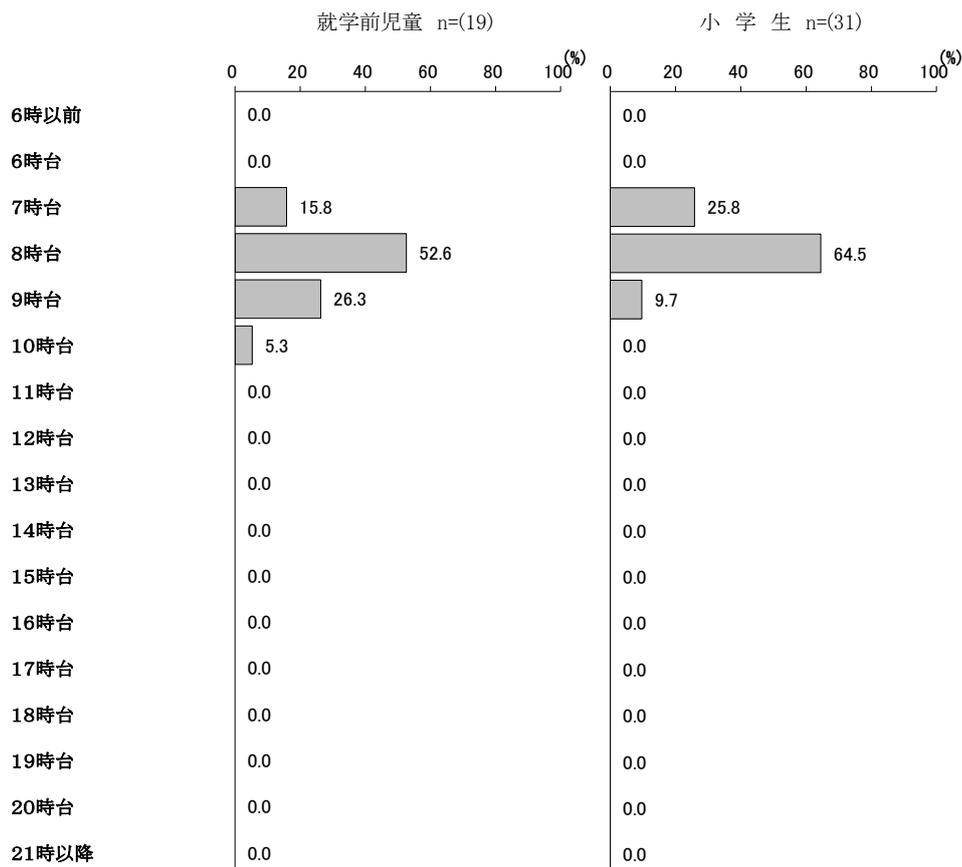
- ・日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望をみると、両者ともに「利用する必要はない」（就学前児童 73.1%・小学生 83.7%）が最も多く、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（就学前児童 9.0%・小学生 2.8%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（就学前児童 15.4%・小学生 6.7%）を合わせると、就学前児童では 24.4%、小学生では 9.5%となっている。
- ・日曜日・祝日の放課後児童クラブの希望開始時間・終了時間をみると、希望開始時間は「8時台」（就学前児童 52.6%・小学生 64.5%）が最も多く、希望終了時間は「18時台」（就学前児童 42.1%・小学生 54.8%）が最も多くなっている。

(2) 日曜日・祝日

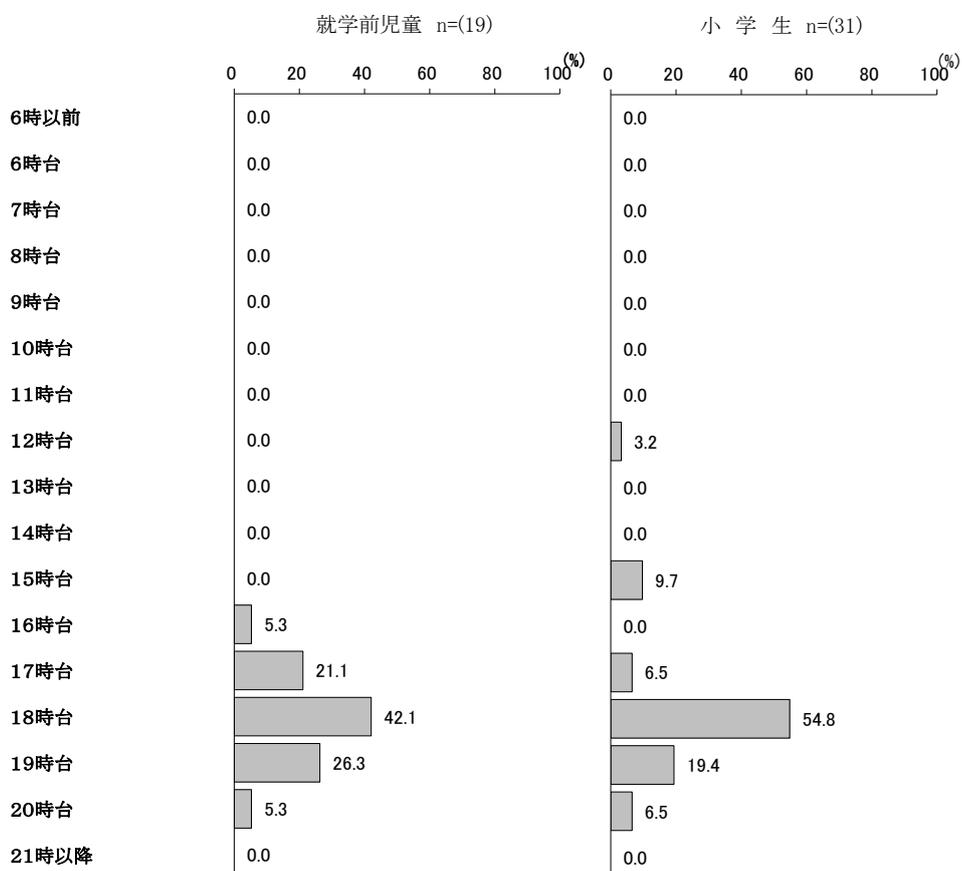
日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望



### 日曜日・祝日の希望開始時間



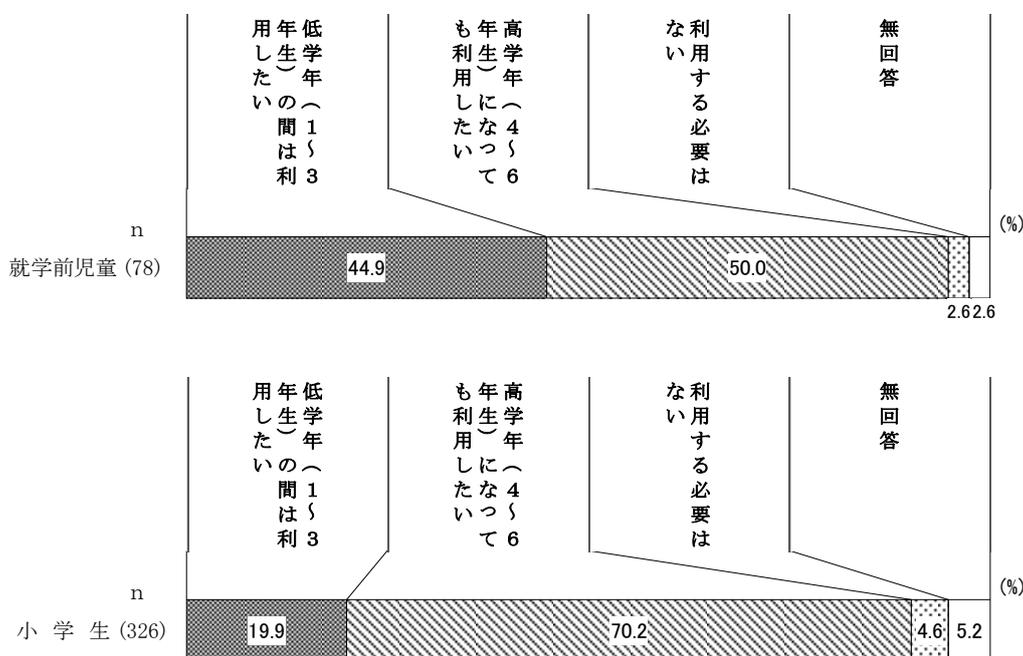
### 日曜日・祝日の希望終了時間



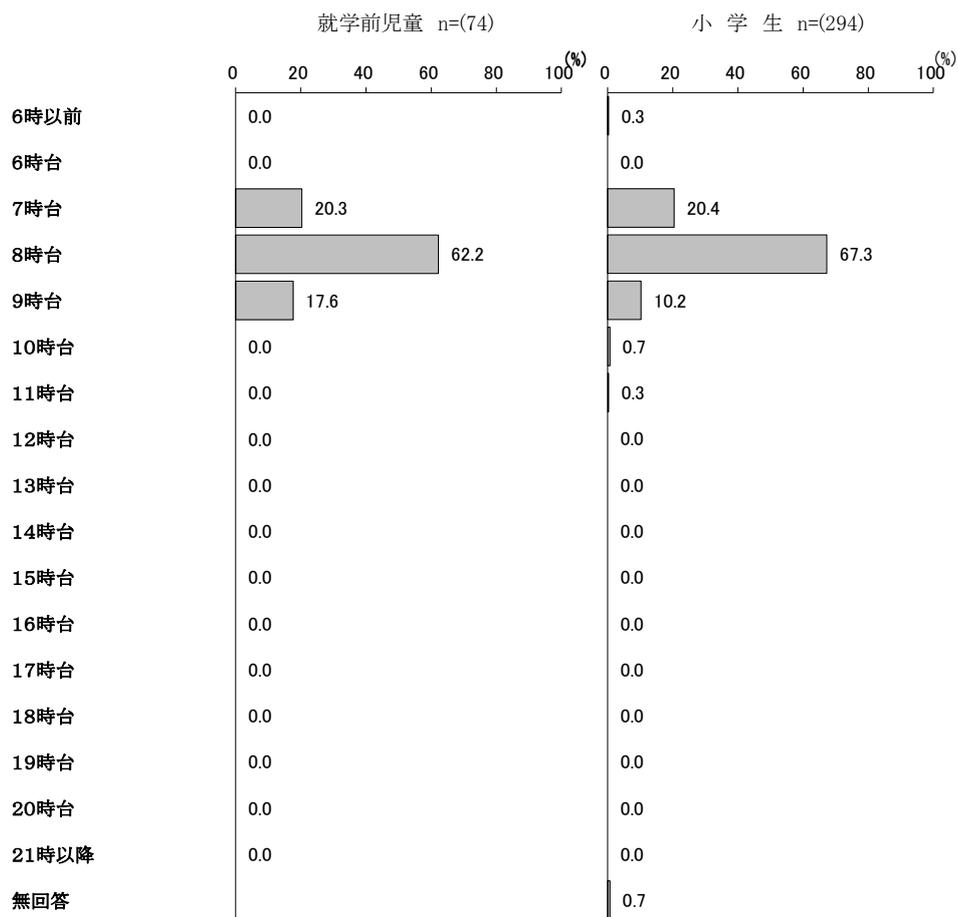
- ・長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（就学前児童 44.9%・小学生 19.9%）、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（就学前児童 50.0%・小学生 70.2%）を合わせると、就学前児童では 94.9%、小学生では 90.1% となっており、土曜日、日曜日・祝日に比べてニーズが高い。
- ・長期休暇中の放課後児童クラブの希望開始時間・終了時間をみると、希望開始時間は「8 時台」（就学前児童 62.2%・小学生 67.3%）が最も多く、希望終了時間は「18 時台」（就学前児童 55.4%・小学生 52.7%）が最も多くなっている。

(3) 長期休暇中（夏・冬休みなど）

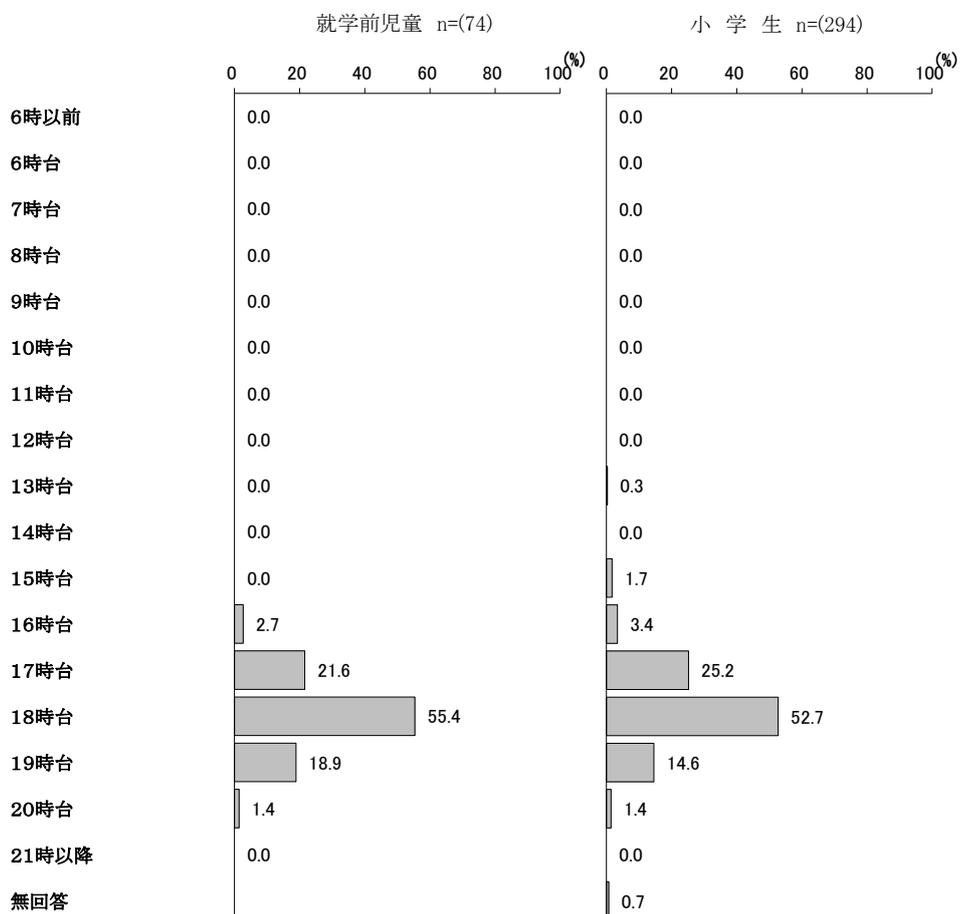
長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望



### 長期休暇中の希望開始時間



### 長期休暇中の希望終了時間

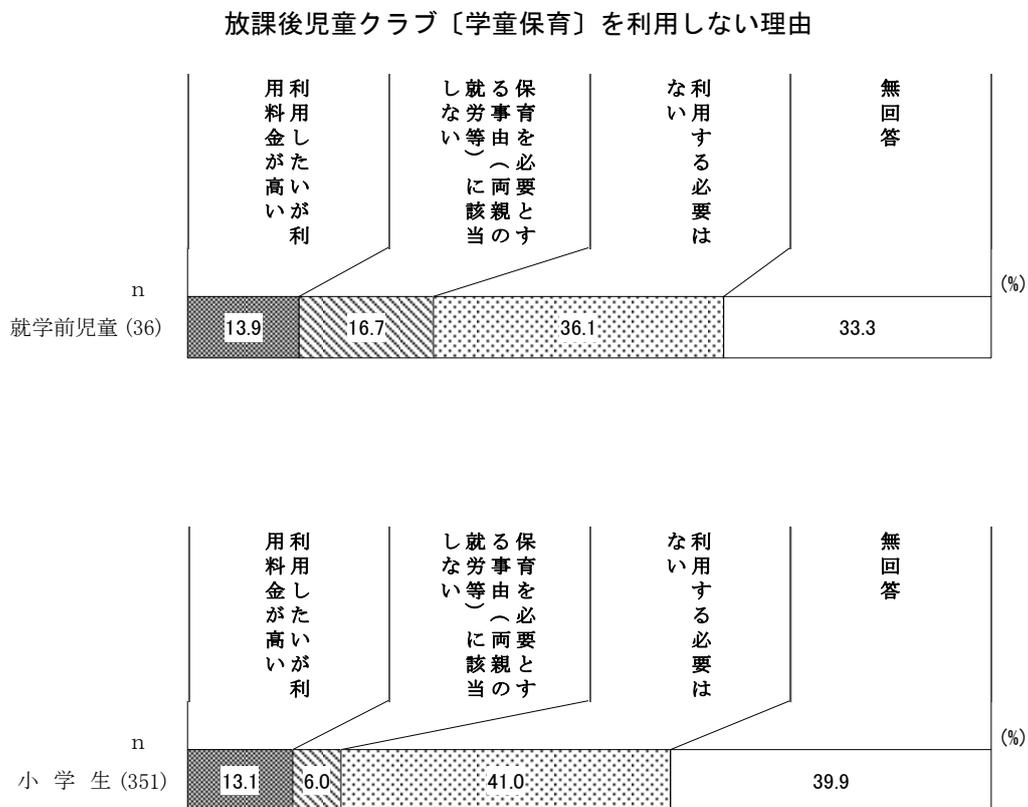


- ・放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用しない理由をみると、両者ともに「利用する必要はない」（就学前児童 36.1%・小学生 41.0%）が最も多く、以下、就学前児童では「保育を必要とする事由（両親の就労等）に該当しない」（16.7%）、「利用したいが利用料金が低い」（13.9%）の順となっており、小学生では「利用したいが利用料金が低い」（13.1%）、「保育を必要とする事由（両親の就労等）に該当しない」（6.0%）の順となっている。

\* 問 25（就学前児童）、問 13（小学生）【今後の希望】で「4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」以外に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問27】【小学生 問13-4】

放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用しない理由は何ですか。（1つに○）



## 5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用できなかった経験

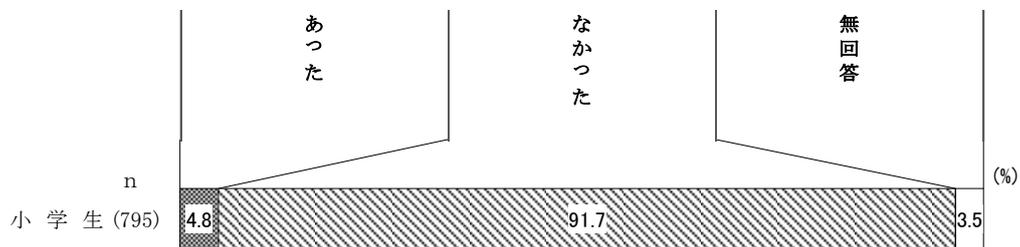
- ・放課後児童クラブを利用できなかった経験をみると、「あった」と回答した方は4.8%、「なかった」と回答した方は91.7%となっている。

\*すべての方にうかがいます。

### 【小学生 問14】

宛名のお子さんについて、希望する放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用できなかったことはありましたか。(1つに○)

希望する放課後児童クラブを利用できなかった経験



・希望する放課後児童クラブを利用できなかった理由をみると、「定員で断られた」(47.4%)が最も多く、以下「支援が必要なお子さんに支援員を配置することができないため断られた」(7.9%)、「支援員が不足しているとの理由で断られた」(2.6%)の順となっている。また「その他」(42.1%)の内容として、『小学4年生になったため』『子どもが友達や支援員と合わなかったため』『障がいがあるため』等の意見がみられた。

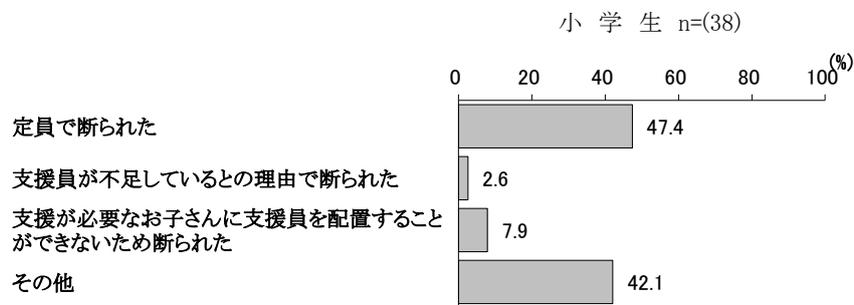
\*問14で「1」(あった)に○をつけた方にうかがいます。

【小学生問14-1】

希望する放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用できなかった理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

希望する放課後児童クラブを利用できなかった理由



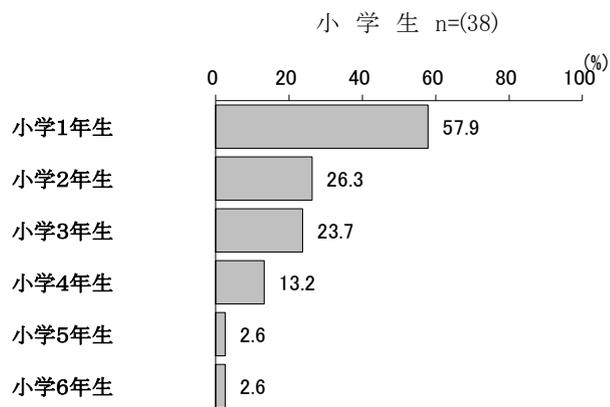
- ・放課後児童クラブを利用できなかった時の子どもの学年をみると、「小学1年生」(57.9%)が最も多く、以下「小学2年生」(26.3%)、「小学3年生」(23.7%)、「小学4年生」(13.2%)、「小学5年生」「小学6年生」(ともに2.6%)の順となっている。

\*問14で「1」(あった)に○をつけた方にうかがいます。

【小学生 問14-2】

利用できなかった時のお子さんの学年は何年生でしたか。(あてはまる番号すべてに○)

放課後児童クラブを利用できなかった時の子どもの学年



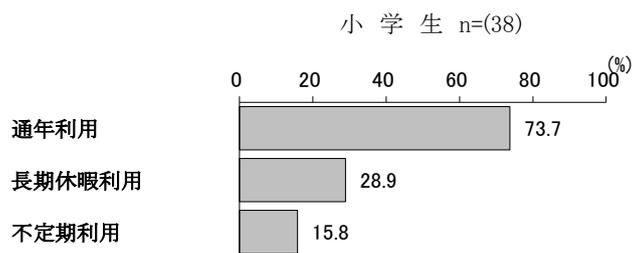
- ・放課後児童クラブの利用を希望していた際の利用形態をみると、「通年利用」(73.7%)が最も多く、以下「長期休暇利用」(28.9%)、「不定期利用」(15.8%)の順となっている。

\*問14で「1」(あった)に○をつけた方にうかがいます。

【小学生 問14-3】

どのような利用形態を希望していましたか。(あてはまる番号すべてに○)

放課後児童クラブの利用を希望していた際の利用形態



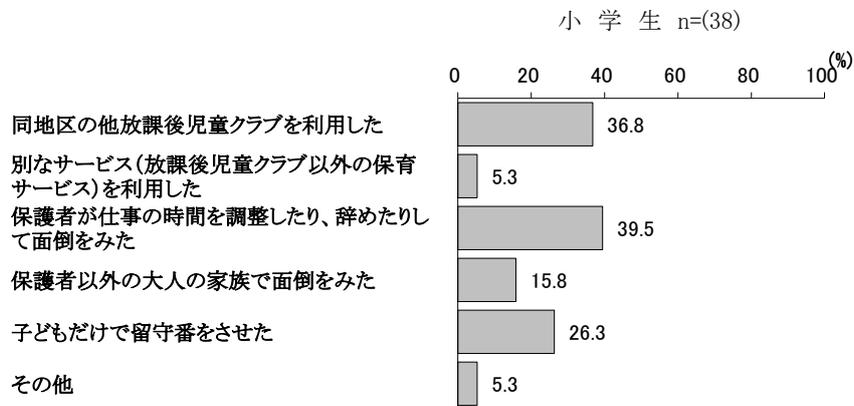
- ・放課後児童クラブが利用できなかった際の対応をみると、「保護者が仕事の時間を調整したり、辞めたりして面倒をみた」(39.5%)が最も多く、以下「同地区の他放課後児童クラブを利用した」(36.8%)、「子どもだけで留守番をさせた」(26.3%)、「保護者以外の大人の家族で面倒をみた」(15.8%)、「別なサービス(放課後児童クラブ以外の保育サービス)を利用した」(5.3%)の順となっている。

\*問14で「1」(あった)に○をつけた方にうかがいます。

【小学生 問14-4】

利用できなかったあとは、どのような対応をしましたか。(あてはまる番号すべてに○)

放課後児童クラブが利用できなかった際の対応



## VII. 病気の際の対応について

### 1. 子どもの病気やけがの際の対応

#### (1) 通常の教育・保育事業の利用や学校に行くことができなかったことの有無

・通常の教育・保育事業の利用や学校に行くことができなかったことの有無をみると、「あった」は就学前児童では 67.5%、小学生では 44.7%となっており、子どもの成長に伴い減少している。

\* 問 14（就学前児童）で平日日中の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた方にうかがいます。  
※利用していない方は、問 20 へお進み下さい。

\* 小学生は全員が対象です。

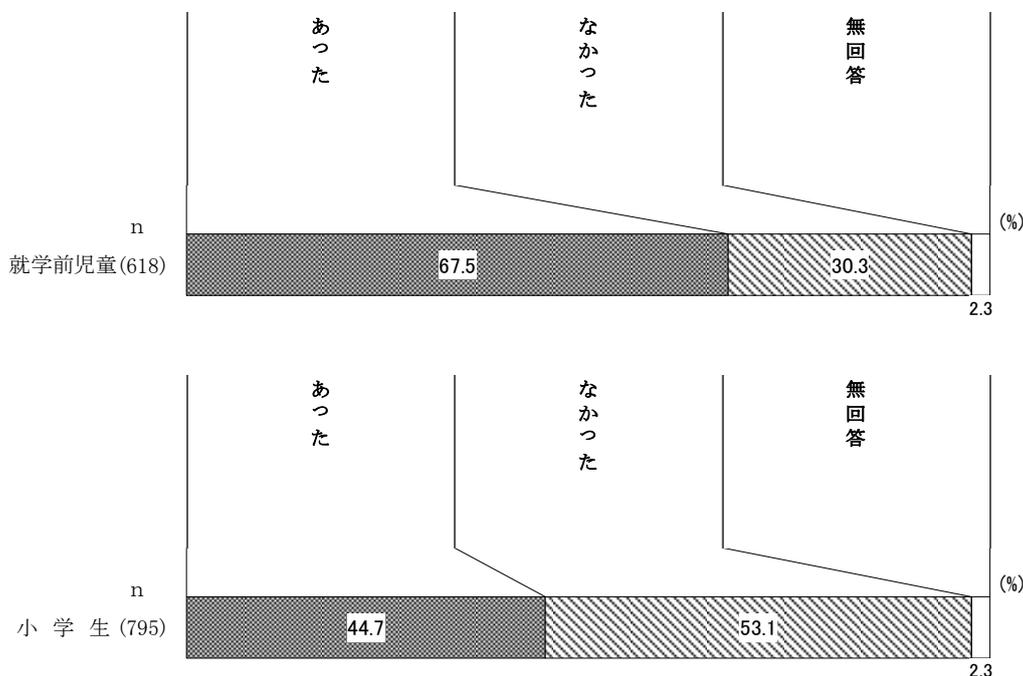
#### 【就学前児童 問 19】

宛名のお子さんについて、この 1 年間に病気やけがのために通常の教育・保育事業を利用出来ず、特別な対応を取る必要がありましたか。（1つに○）

#### 【小学生 問 15】

宛名のお子さんについて、この 1 年間に病気やけがのために学校へ登校出来ず、特別な対応を取る必要がありましたか。（1つに○）

通常の教育・保育事業の利用や学校に行くことができなかったことの有無



(2) 子どもの病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法

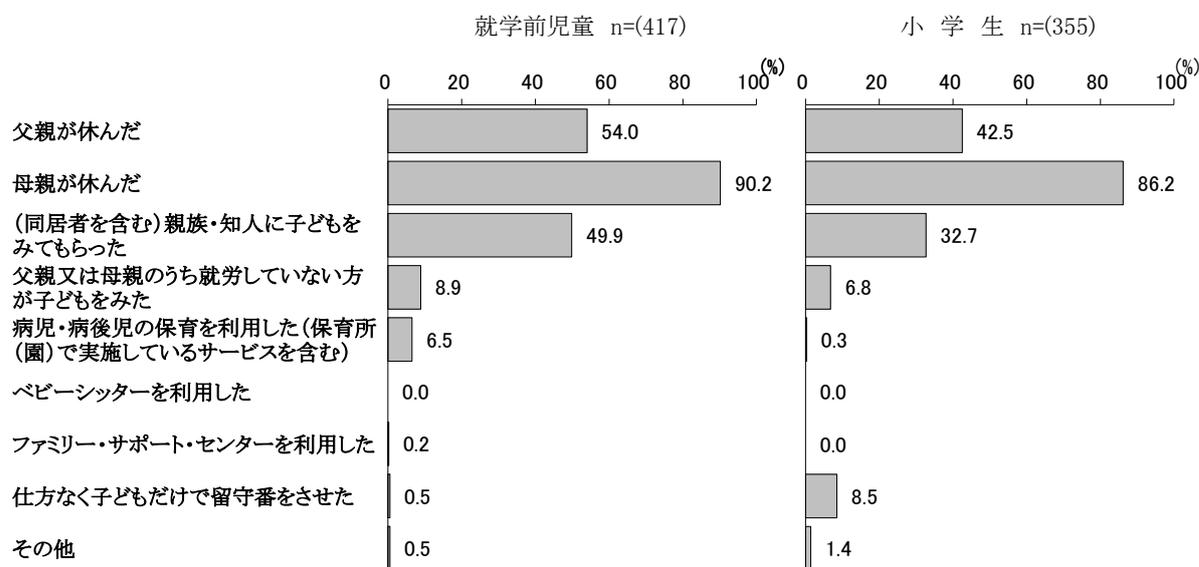
・子どもの病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法をみると、「母親が休んだ」(就学前児童 90.2%・小学生 86.2%) が最も多く、以下「父親が休んだ」(就学前児童 54.0%・小学生 42.5%)、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(就学前児童 49.9%・小学生 32.7%) の順となっている。

\* 問 19 (就学前児童)、問 15 (小学生) で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 19-1】【小学生 問 15-1】

宛名のお子さんが病気やけがで通常の教育・保育事業を利用出来ず、特別な対応を取る必要があった場合は、この1年間に行った対処法を選択し、それぞれの延べ日数をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)(半日は1日としてカウントして下さい。)

子どもの病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法



※病児・病後児保育事業

米沢市では、塩井保育園と興道南部保育園に専用室が併設され、平成 26 年 2 月から、生後 6 か月から小学校 3 年生までを対象とした 1 日の定員 3 人の事業を実施しています。

### (3) 病児・病後児保育事業の利用希望

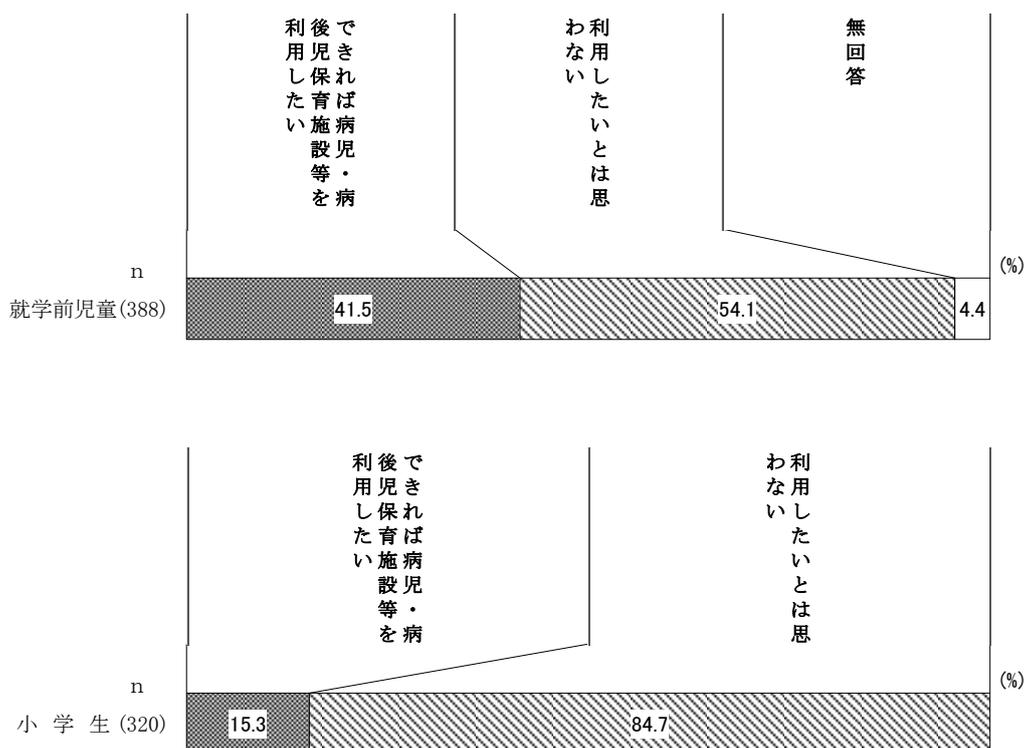
- ・ 父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育事業の利用希望をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は就学前児童では41.5%、小学生では15.3%にとどまっている。
- ・ 年齢別（3区分）にみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は、年齢が下がるほど多くなっている。
- ・ 学年別（2区分）にみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は、低学年では18.4%となっており、高学年（12.0%）に比べてやや多くなっている。

\* 問 19-1 で「1」（父親が休んだ）または「2」（母親が休んだ）に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 19-2】【小学生 問 15-2】

その際、できれば「病児・病後児保育事業」を利用したいと思われましたか。思われた場合は希望延べ日数をお答えください。（1つに○）

病児・病後児保育事業の利用希望



## 〔年齢別〕

	調査数	施 設 で き れ ば 利 用 し た い 病 児 ・ 病 後 児 保 育	利 用 し た い と は 思 わ な い	無 回 答
上段：実数 下段：%				
全 体	388 100.0	161 41.5	210 54.1	17 4.4

## 問4 年齢

0歳	31 100.0	15 48.4	15 48.4	1 3.2
1歳	73 100.0	29 39.7	41 56.2	3 4.1
2歳	55 100.0	28 50.9	26 47.3	1 1.8
3歳	64 100.0	23 35.9	36 56.3	5 7.8
4歳	75 100.0	35 46.7	37 49.3	3 4.0
5歳	73 100.0	28 38.4	43 58.9	2 2.7

## 問4 年齢（3区分）

0歳	31 100.0	15 48.4	15 48.4	1 3.2
1～2歳	128 100.0	57 44.5	67 52.3	4 3.1
3～5歳	212 100.0	86 40.6	116 54.7	10 4.7

## 〔学年別〕

	調査数	施 設 で き れ ば 利 用 し た い 病 児 ・ 病 後 児 保 育	利 用 し た い と は 思 わ な い	無 回 答
上段：実数 下段：%				
全 体	320 100.0	49 15.3	271 84.7	- -

## 問4 子どもの学年

小学1年生	47 100.0	10 21.3	37 78.7	- -
小学2年生	60 100.0	10 16.7	50 83.3	- -
小学3年生	51 100.0	9 17.6	42 82.4	- -
小学4年生	52 100.0	7 13.5	45 86.5	- -
小学5年生	57 100.0	6 10.5	51 89.5	- -
小学6年生	41 100.0	5 12.2	36 87.8	- -

## 問4 子どもの学年（2区分）

低学年（1～3年生）	158 100.0	29 18.4	129 81.6	- -
高学年（4～6年生）	150 100.0	18 12.0	132 88.0	- -

※年齢・学年が無回答の場合があるため、全体の調査数と年齢別・学年別の調査数の合計は合わないことがある

#### (4) 病児・病後児保育事業の希望事業形態

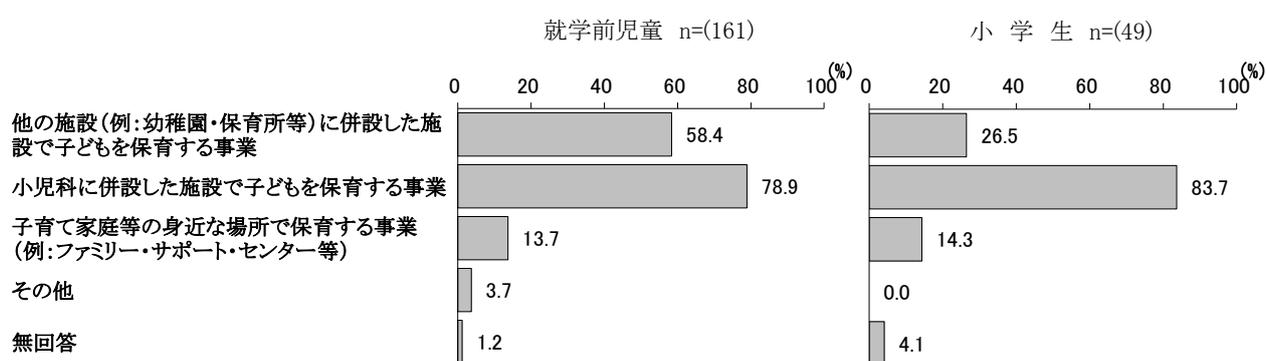
・病児・病後児保育事業の希望事業形態をみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（就学前児童 78.9%・小学生 83.7%）が最も多く、以下「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（就学前児童 58.4%・小学生 26.5%）となっている。

\* 問 19-2（就学前児童）、問 15-2（小学生）で「1」（できれば病児・病後児保育施設等を利用したい）に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 19-3】【小学生 問 15-3】

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまる番号すべてに○）

病児・病後児保育事業の希望事業形態



(5) 病児・病後児保育事業を利用したいと思わない理由

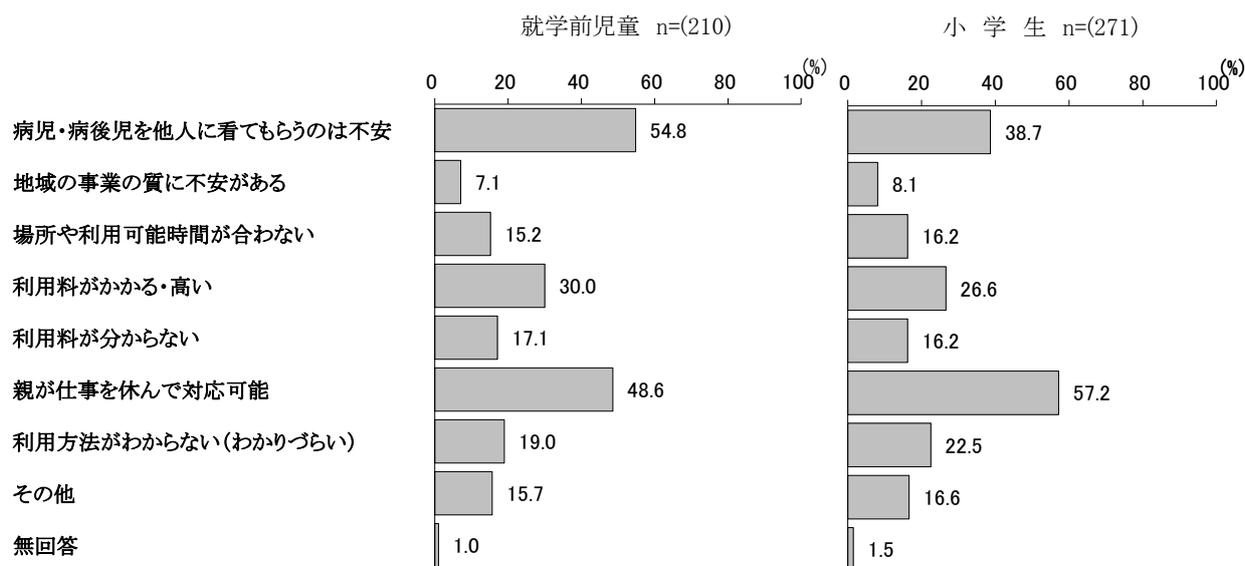
・病児・病後児保育事業を利用したいと思わない理由をみると、就学前児童では「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(54.8%)が最も多く、以下「親が仕事を休んで対応可能」(48.6%)、「利用料がかかる・高い」(30.0%)の順に多くなっている。小学生では「親が仕事を休んで対応可能」(57.2%)が最も多く、以下「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(38.7%)、「利用料がかかる・高い」(26.6%)、「利用方法がわからない(わかりづらい)」(22.5%)の順となっている。

\* 問 19-2 (就学前児童)、問 15-2 (小学生) で「2」(利用したいと思わない) に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 19-4】【小学生 問 15-4】

そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

病児・病後児保育事業を利用したいと思わない理由



(6) 父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか

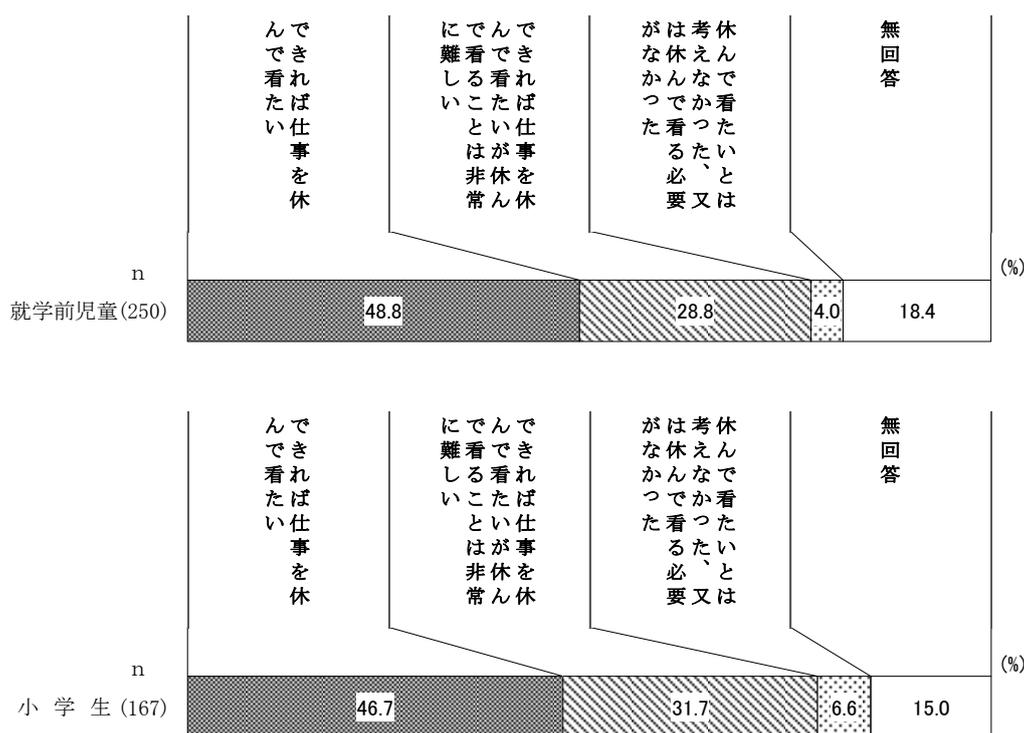
・ 父母や親族・知人にみてもらう以外の対処方法を選んだ方について、父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たいと思ったかをみると、「できれば仕事を休んで看たい」（就学前児童 48.8%・小学生 46.7%）が最も多く、以下「できれば仕事を休んで看たいが休んで看ることは非常に難しい」（就学前児童 28.8%・小学生 31.7%）となっている。

\* 問 19-1（就学前児童）、問 15-1（小学生）で「3」～「9」（親族知人に子どもをみてもらった、父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた、病児・病後児の保育を利用した、ベビーシッターを利用した、ファミリー・サポート・センターを利用した、仕方なく子どもだけで留守番をさせた）に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 19-5】【小学生 問 15-5】

その際、できれば「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。思われた方は、仕事を休んで看たいと思われる日数をお答えください。（1つに○）

父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか



### (7) 仕事を休んで看ることが非常に難しい理由

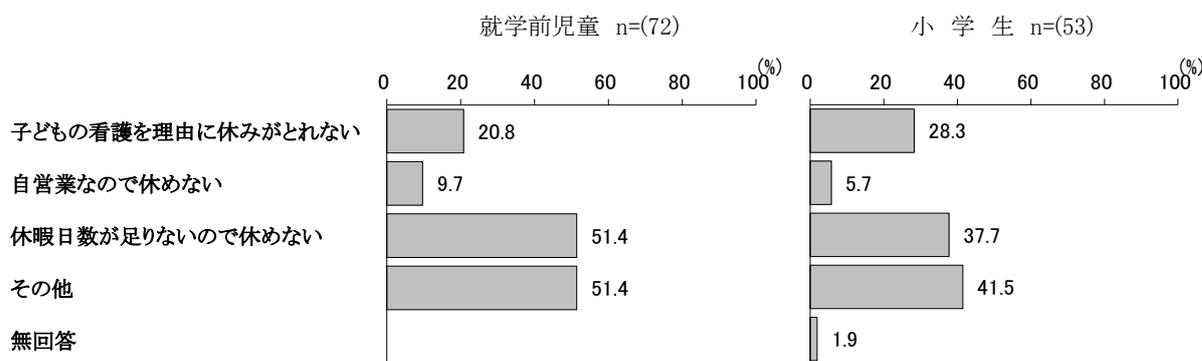
・仕事を休んで看ることが非常に難しい理由をみると、「休暇日数が足りないので休めない」（就学前児童 51.4%・小学生 37.7%）が最も多く、以下「子どもの看護を理由に休みがとれない」（就学前児童 20.8%・小学生 28.3%）となっている。また「その他」（就学前児童 51.4%・小学生 41.5%）の内容として、両者ともに『仕事が忙しく休めない』『仕事を休むと生活費がなくなるため』等の意見がみられた。

\* 問 19-5（就学前児童）、問 15-5（小学生）で「2」（できれば仕事を休んで看たいが休んで看ることは非常に難しい）に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 19-6】【小学生 問 15-6】

そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

仕事を休んで看ることが非常に難しい理由



## Ⅷ. 子育て支援事業の不定期な利用や、宿泊を伴う事業の利用状況について

### 1. 子育て支援事業の不定期な利用について

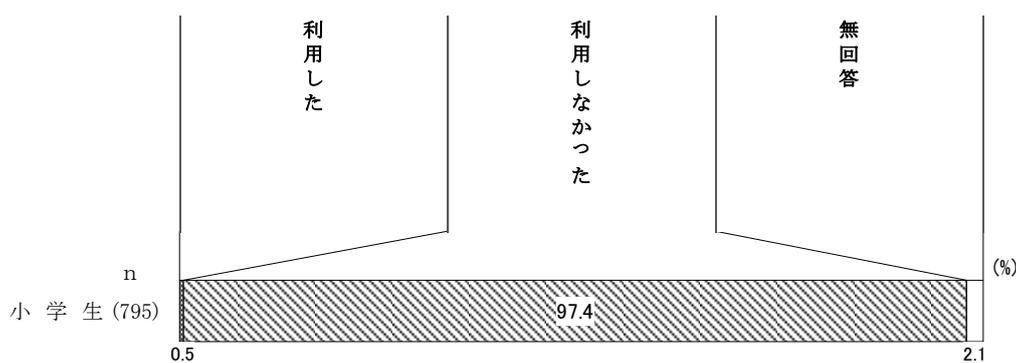
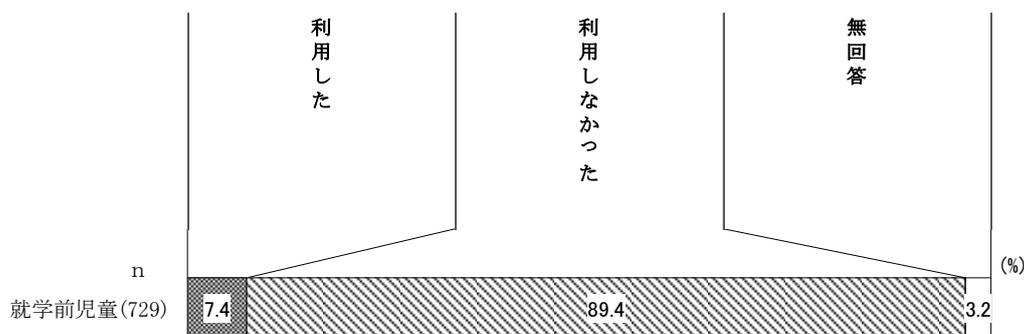
#### (1) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に子育て支援事業を利用したか

・私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に子育て支援事業を利用したかをみると、両者ともに「利用しなかった」（就学前児童 89.4%・小学生 97.4%）が多く、「利用した」（就学前児童 7.4%・小学生 0.5%）は10%未満にとどまっている。

#### 【就学前児童 問20】【小学生 問16】

宛名のお子さんについて、この1年間に日中の定期的な保育・教育事業の利用や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に子育て支援事業を利用しましたか。（1つに○）

#### 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に子育て支援事業を利用したか



(2) 利用した子育て支援事業

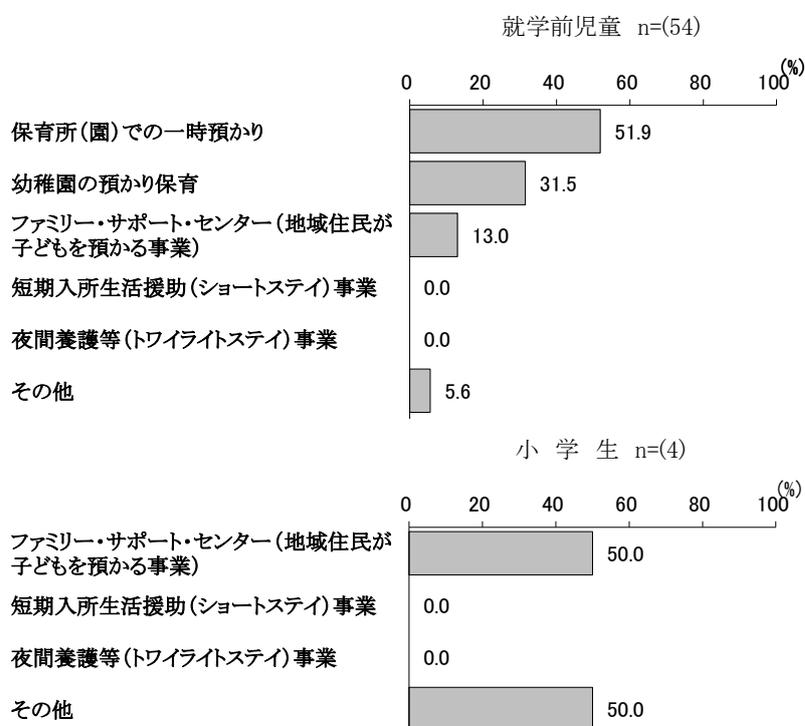
- ・利用した子育て支援事業をみると、就学前児童では「保育所（園）での一時預かり」（51.9%）が最も多く、以下「幼稚園の預かり保育」（31.5%）、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」（13.0%）となっている。小学生では「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」（50.0%）が最も多くなっている。

\* 問 20（就学前児童）、問 16（小学生）で「1」（利用した）に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 20-1】【小学生 問 16-1】

利用した事業及び利用日数についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

利用した子育て支援事業



(3) 不定期に子育て支援事業を利用しなかった理由

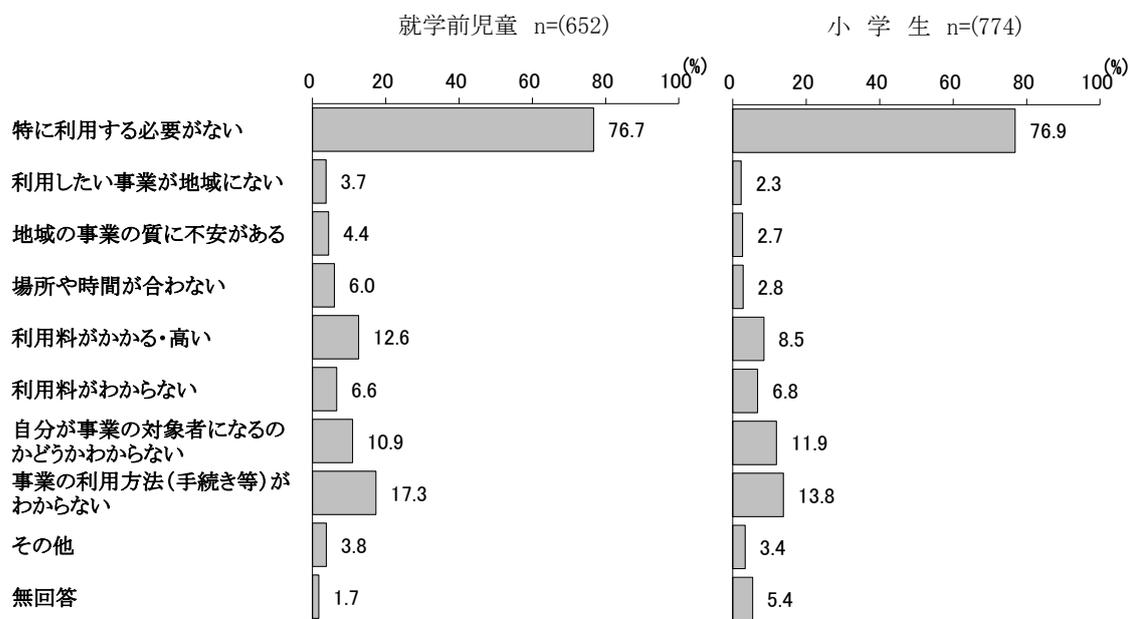
- ・ 不定期に子育て支援事業を利用しなかった理由をみると、両者ともに「特に利用する必要がない」(就学前児童 76.7%・小学生 76.9%) が最も多くなっているが、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(就学前児童 17.3%・小学生 13.8%)、「利用料がかかる・高い」(就学前児童 12.6%・小学生 8.5%)、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」(就学前児童 10.9%・小学生 11.9%)、「利用料がわからない」(就学前児童 6.6%・小学生 6.8%) などとなっており、改めての周知や配慮が必要なケースもみられる。

\* 問 20 (就学前児童)、問 16 (小学生) で「2」(利用しなかった) に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 20-2】【小学生 問 16-2】

利用しなかった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

不定期に子育て支援事業を利用しなかった理由



## 2. 不規則な子育て支援事業の利用希望について

### (1) 私用、親の通院、不規則の就労の際の事業の利用希望の有無

- ・私用、親の通院、不規則の就労の際の事業の利用希望の有無をみると、就学前児童では42.4%、小学生では11.9%が「利用したい」と回答している。
- ・年齢別（3区分）・学年別（2区分）にみると、「利用したい」は0～5歳の間でほぼ同等の割合となっている一方で、低学年（16.0%）では高学年（8.3%）を約7.7ポイント上回っている。

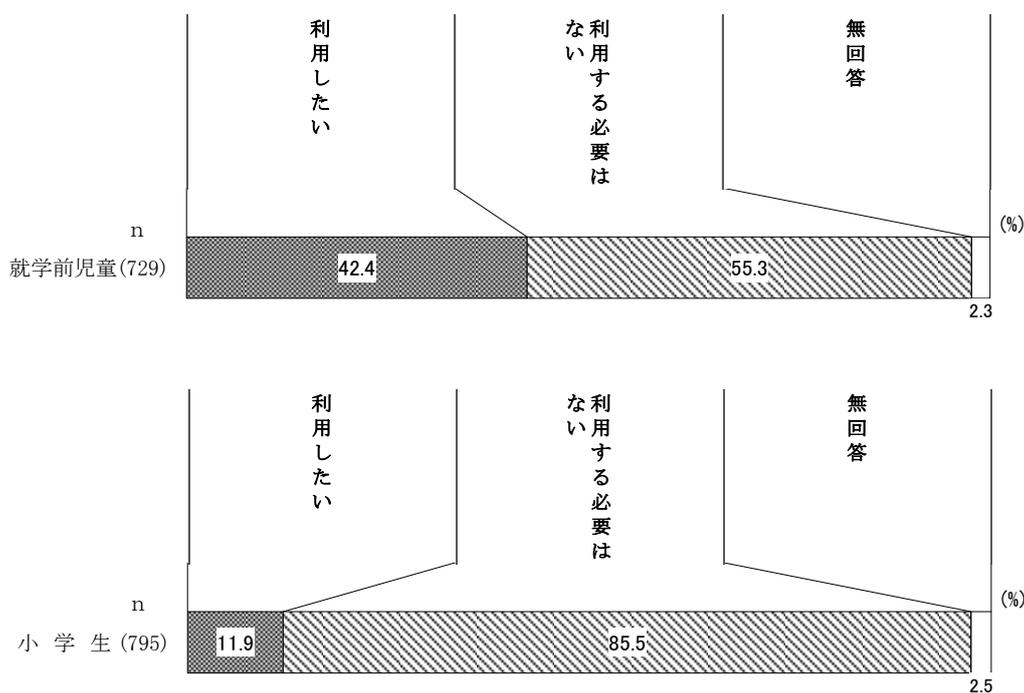
#### 【就学前児童 問21】

宛名のお子さんについて、日中の定期的な教育・保育事業や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、不規則に子育て支援事業を利用したいと思いませんか。（1つに○）

#### 【小学生 問17】

宛名のお子さんについて、病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、不規則に子育て支援事業を利用したいと思いませんか。（1つに○）

私用、親の通院、不規則の就労の際の事業の利用希望の有無



〔年齢別〕

	調査数	利用したい	利用する必要はない	無回答
上段：実数 下段：%				
全 体	729 100.0	309 42.4	403 55.3	17 2.3

問4 年齢

0歳	134 100.0	58 43.3	72 53.7	4 3.0
1歳	117 100.0	52 44.4	60 51.3	5 4.3
2歳	106 100.0	47 44.3	56 52.8	3 2.8
3歳	110 100.0	45 40.9	65 59.1	- -
4歳	115 100.0	48 41.7	66 57.4	1 0.9
5歳	122 100.0	50 41.0	69 56.6	3 2.5

問4 年齢（3区分）

0歳	134 100.0	58 43.3	72 53.7	4 3.0
1～2歳	223 100.0	99 44.4	116 52.0	8 3.6
3～5歳	347 100.0	143 41.2	200 57.6	4 1.2

〔学年別〕

	調査数	利用したい	利用する必要はない	無回答
上段：実数 下段：%				
全 体	795 100.0	95 11.9	680 85.5	20 2.5

問4 子どもの学年

小学1年生	136 100.0	24 17.6	110 80.9	2 1.5
小学2年生	125 100.0	20 16.0	101 80.8	4 3.2
小学3年生	127 100.0	18 14.2	107 84.3	2 1.6
小学4年生	125 100.0	12 9.6	108 86.4	5 4.0
小学5年生	139 100.0	10 7.2	126 90.6	3 2.2
小学6年生	111 100.0	9 8.1	101 91.0	1 0.9

問4 子どもの学年（2区分）

低学年（1～3年生）	388 100.0	62 16.0	318 82.0	8 2.1
高学年（4～6年生）	375 100.0	31 8.3	335 89.3	9 2.4

※年齢・学年が無回答の場合があるため、全体の調査数と年齢別・学年別の調査数の合計は合わないことがある

## （2） 不定期な子育て支援事業の利用目的

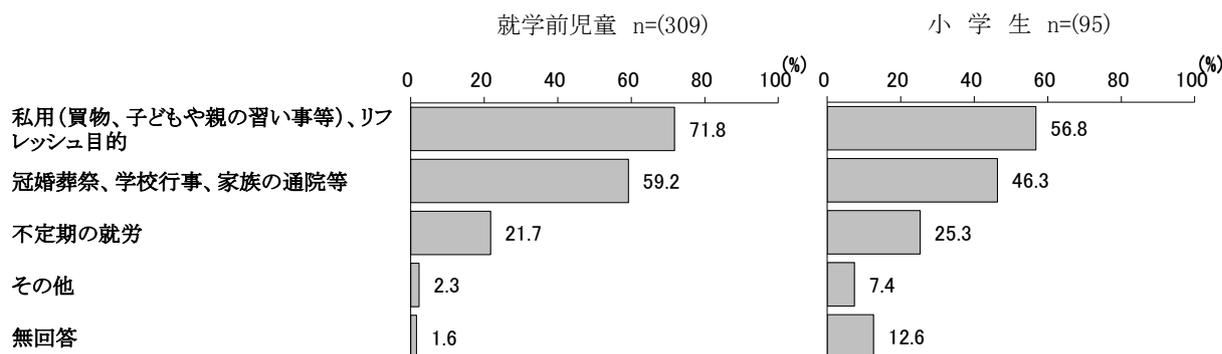
・ 不定期な子育て支援事業の利用目的をみると、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」（就学前児童 71.8%・小学生 56.8%）が最も多く、以下「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」（就学前児童 59.2%・小学生 46.3%）、「不定期の就労」（就学前児童 21.7%・小学生 25.3%）の順となっている。

\* 問21（就学前児童）、問17（小学生）で「1」（利用したい）に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問21-1】【小学生 問17-1】

利用目的及び利用希望日数についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

不定期な子育て支援事業の利用目的



### (3) 不定期な子育て支援事業の希望事業形態

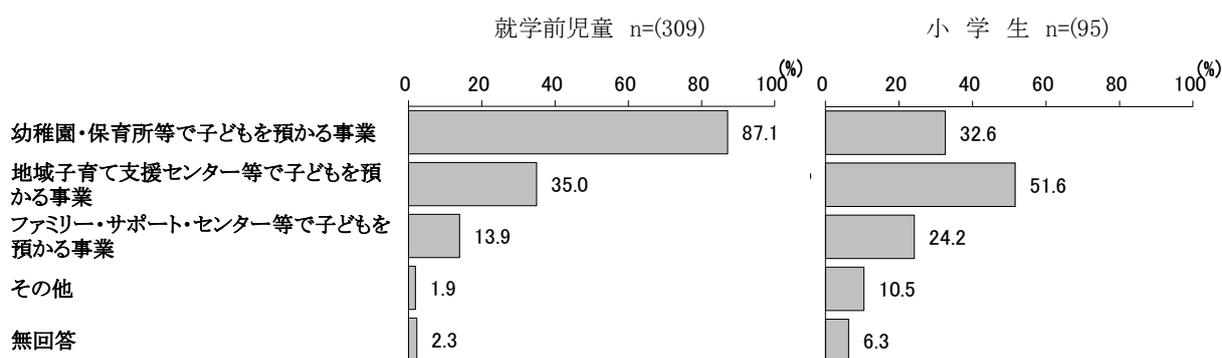
・不定期な子育て支援事業の希望事業形態をみると、就学前児童では「幼稚園・保育所等で子どもを預かる事業」(87.1%)が最も多く、以下「地域子育て支援センター等で子どもを預かる事業」(35.0%)、「ファミリー・サポート・センター等で子どもを預かる事業」(13.9%)の順となっている。小学生では「地域子育て支援センター等で子どもを預かる事業」(51.6%)が最も多く、以下「幼稚園・保育所等で子どもを預かる事業」(32.6%)、「ファミリー・サポート・センター等で子どもを預かる事業」(24.2%)の順となっている。

\* 問 21 (就学前児童)、問 17 (小学生) で「1」(利用したい) に○をつけた方にかがいます。

【就学前児童 問 21-2】【小学生 問 17-2】

問 21-1 (就学前児童)、問 17-1 (小学生) の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

不定期な子育て支援事業の希望事業形態



※地域子育て支援センター

保育所(園)などを活用して育児に関する相談や指導を行う他、子育てサークル養成のための講習会などを企画・運営する事業

### 3. 宿泊を伴う事業の利用状況について

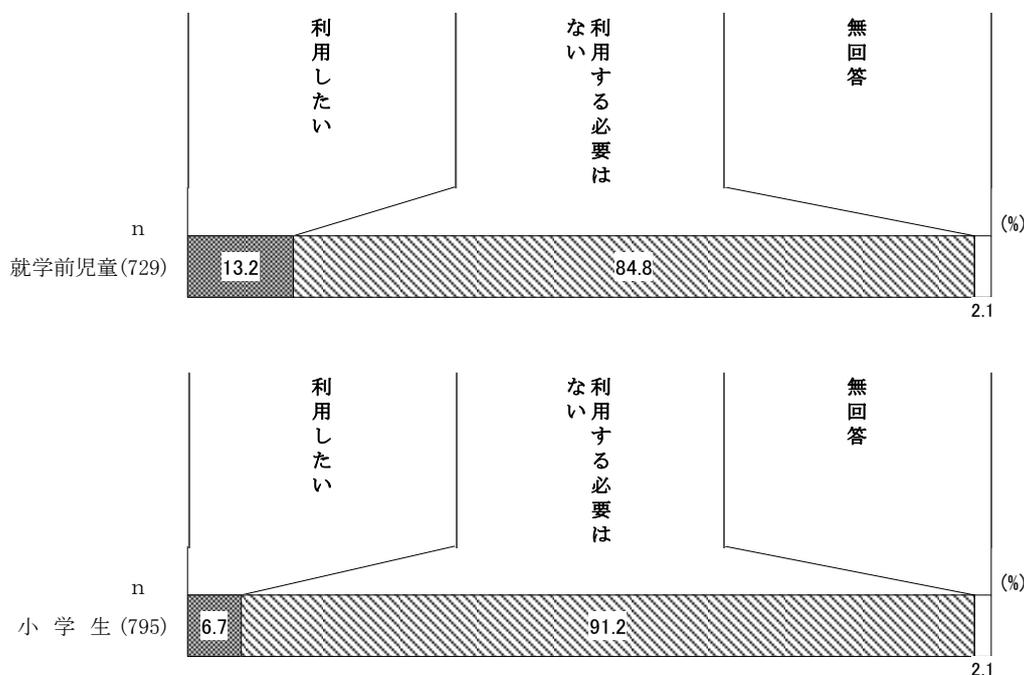
#### (1) 短期入所生活支援事業（ショートステイ）の利用希望

- ・短期入所生活支援事業（ショートステイ）の利用希望をみると、就学前児童では13.2%、小学生では6.7%が「利用したい」と回答している。

【就学前児童 問22】【小学生 問18】

宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合、短期入所生活支援事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）等を利用したいと思いますか。（1つに○）

短期入所生活支援事業（ショートステイ）の利用希望



## (2) 短期入所生活支援事業（ショートステイ）の利用目的

・短期入所生活支援事業（ショートステイ）の利用目的をみると、「保護者や家族の病気」（就学前児童 67.7%・小学生 64.2%）が最も多く、以下「保護者や家族の育児疲れ・不安」（就学前児童 49.0%・小学生 45.3%）、「冠婚葬祭」（就学前児童 41.7%・小学生 37.7%）となっている。

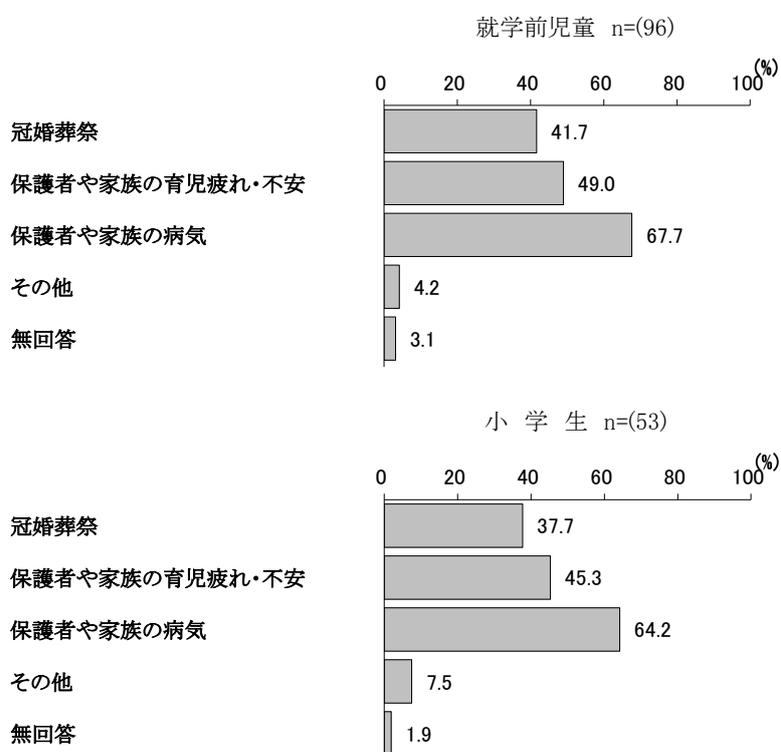
\* 問 22（就学前児童）、問 18（小学生）で「1」（利用したい）に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 22-1】【小学生 問 18-1】

利用目的及び利用希望日数についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

※なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

### 短期入所生活支援事業（ショートステイ）の利用目的



## Ⅸ. 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

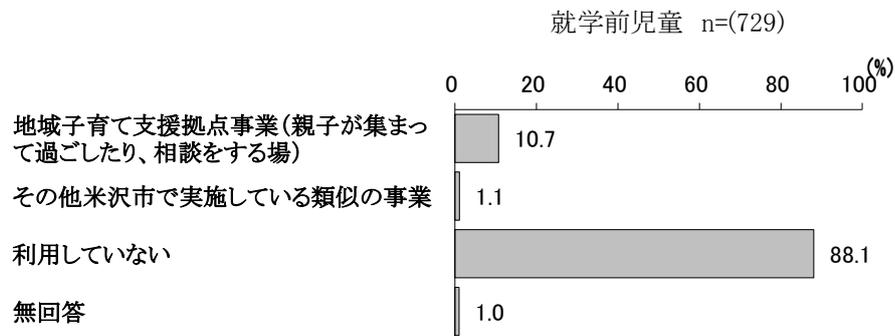
### 1. 地域子育て支援拠点事業の利用状況

- ・地域子育て支援拠点事業の利用状況をみると、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」の利用は 10.7%にとどまり、88.1%が「利用していない」となっている。

#### 【就学前児童 問 23】

宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」、「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。それぞれについて、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

地域子育て支援拠点事業の利用状況



地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

1 週あたり平均 3.89 回 もしくは 1 ヶ月あたり平均 3.83 回

その他米沢市で実施している類似の事業

1 週あたり平均 1.00 回 もしくは 1 ヶ月あたり平均 1.88 回

## 2. 地域子育て支援拠点事業の利用希望

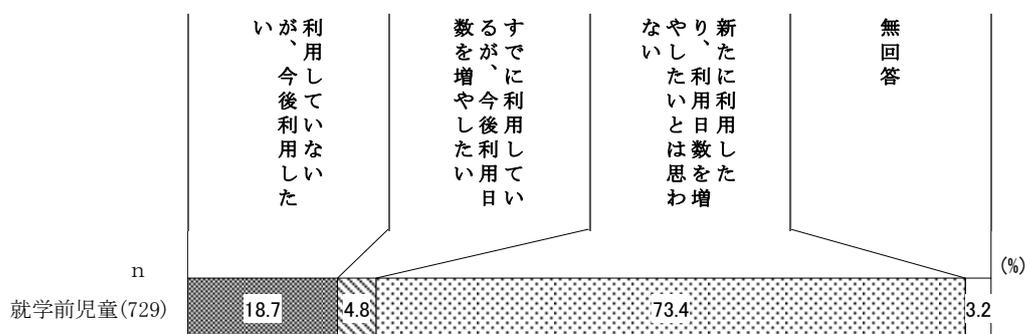
・地域子育て支援拠点事業の利用希望をみると、「利用していないが、今後利用したい」は18.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は4.8%にとどまり、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が73.4%となっている。

### 【就学前児童 問24】

問23のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いますか。おおよその利用回数（頻度）をお答えください。（1つに○）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

地域子育て支援拠点事業の利用希望



利用していないが、今後利用したい

1週あたり平均1.12回 もしくは 1ヶ月あたり平均2.00回

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1週あたり平均2.19回 もしくは 1ヶ月あたり平均6.91回

## X. ファミリー・サポート・センターについて

### 1. ファミリー・サポート・センターの利用について

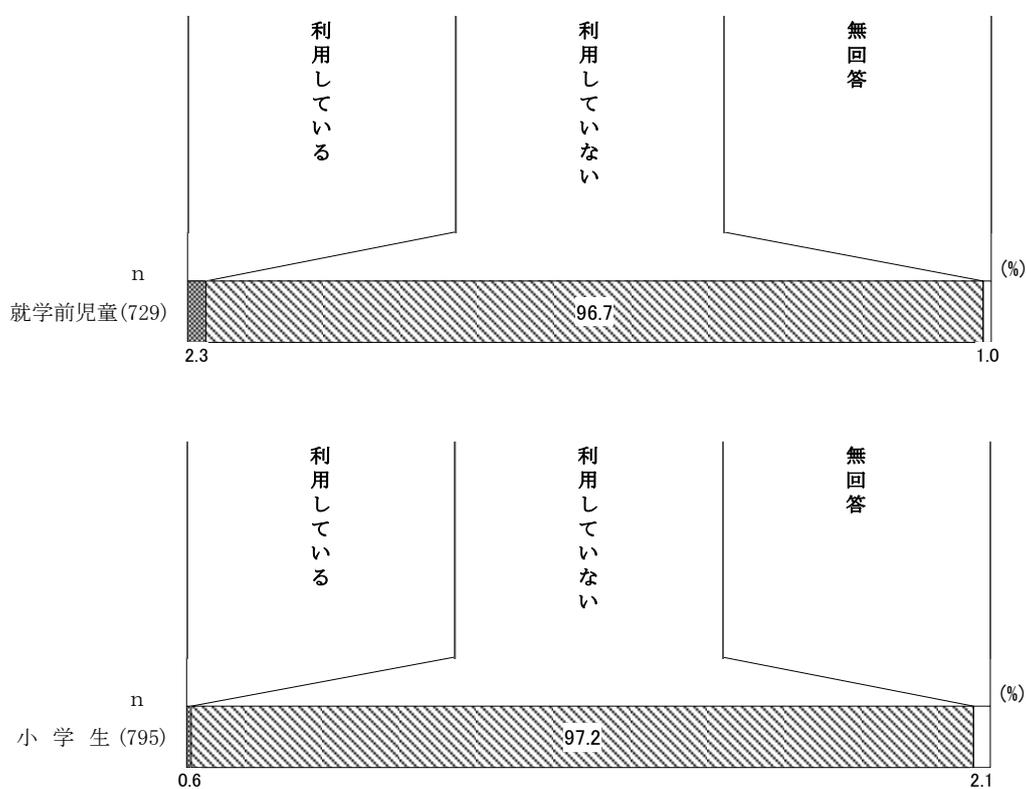
#### (1) 過去1年間のファミリー・サポート・センターの利用の有無

・過去1年間のファミリー・サポート・センターの利用の有無をみると、両者ともに「利用している」（就学前児童 2.3%・小学生 0.6%）は10%未満で、90%以上が未利用となっている。

#### 【就学前児童 問28】【小学生 問19】

過去1年間にファミリー・サポート・センターを利用したことはありますか。その場合、利用件数は何件になりますか。（1つに○）

過去1年間のファミリー・サポート・センターの利用の有無



(2) ファミリー・サポート・センターでもっとも役に立つ活動

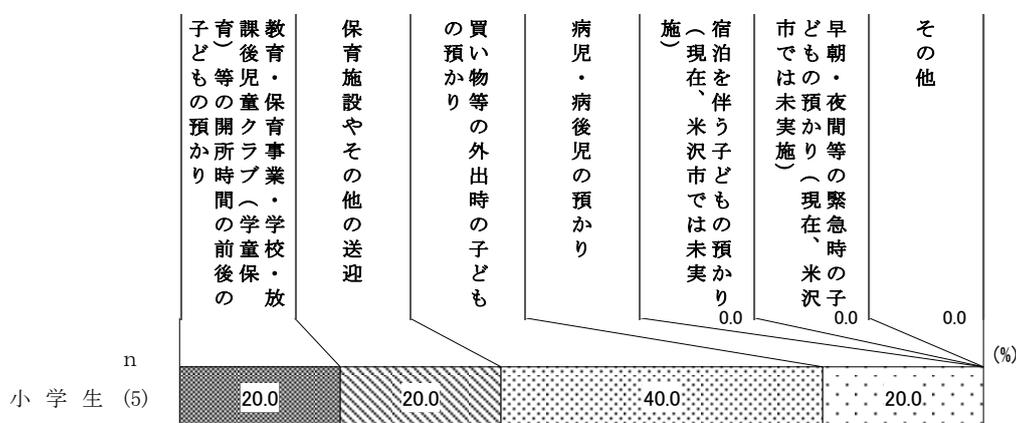
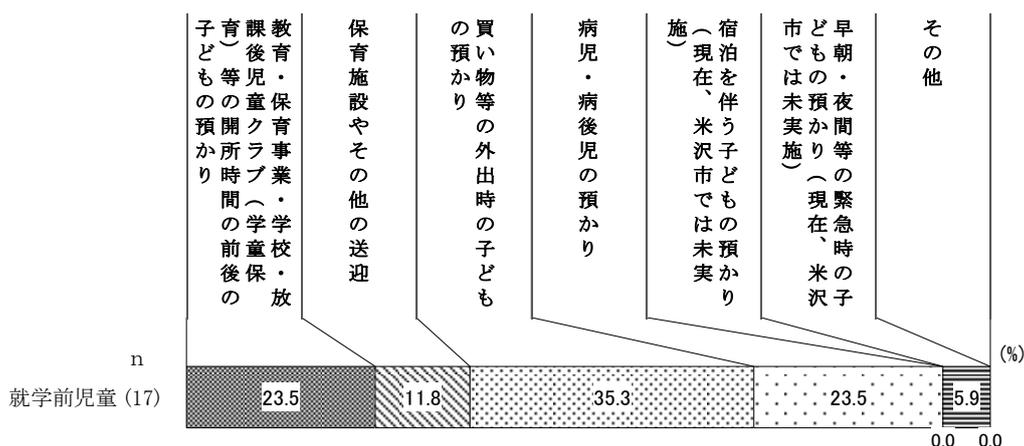
・過去1年間にファミリー・サポート・センターを利用した方について、ファミリー・サポート・センターでもっとも役に立つ活動をみると、就学前児童では「買い物等の外出時の子どもの預かり」(35.3%)が最も多く、以下「教育・保育事業・学校・放課後児童クラブ(学童保育)等の開所時間の前後の子どもの預かり」、「病児・病後児の預かり」(ともに23.5%)、「保育施設やその他の送迎」(11.8%)の順となっている。一方、小学生では「買い物等の外出時の子どもの預かり」(40.0%)が最も多く、以下「教育・保育事業・学校・放課後児童クラブ(学童保育)等の開所時間の前後の子どもの預かり」、「保育施設やその他の送迎」、「病児・病後児の預かり」(ともに20.0%)の順となっている。

\* 問 28 (就学前児童)、問 19 (小学生) で「1」(利用している) に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 28-1】【小学生 問 19-1】

次の活動のうち、もっとも役に立つものはどれですか。(1つに○)

ファミリー・サポート・センターでもっとも役に立つ活動



(3) ファミリー・サポート・センターの現在の活動内容の満足度

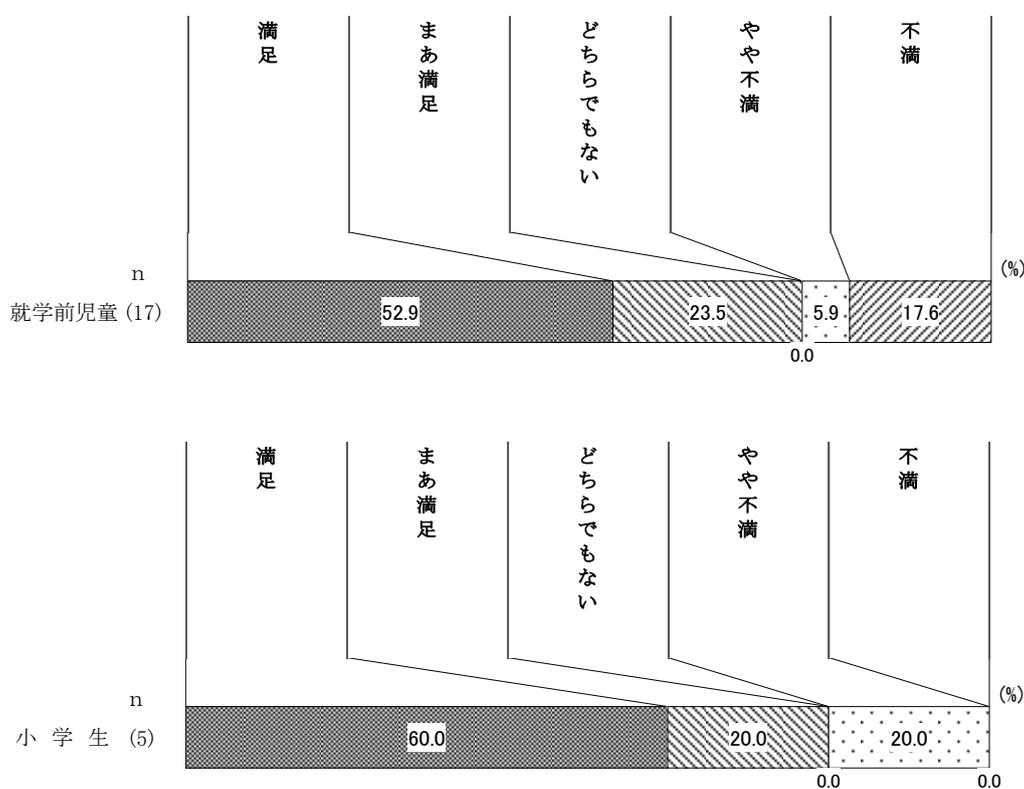
・過去1年間にファミリー・サポート・センターを利用した方について、ファミリー・サポート・センターの現在の活動内容の満足度をみると、就学前児童では「満足」(52.9%)、「まあ満足」(23.5%)を合わせた“満足派”が76.4%となっている。小学生では“満足派”が80.0%となっており、就学前児童を上回っている。

\* 問 28 (就学前児童)、問 19 (小学生) で「1」(利用している) に○をつけた方にうかがいます。

【就学前児童 問 28-2】【小学生 問 19-2】

ファミリー・サポート・センターでは、子育てを地域で相互援助するお手伝いをしておりますが、現在の活動内容についてどう思いますか。(1つに○)

ファミリー・サポート・センターの現在の活動内容の満足度



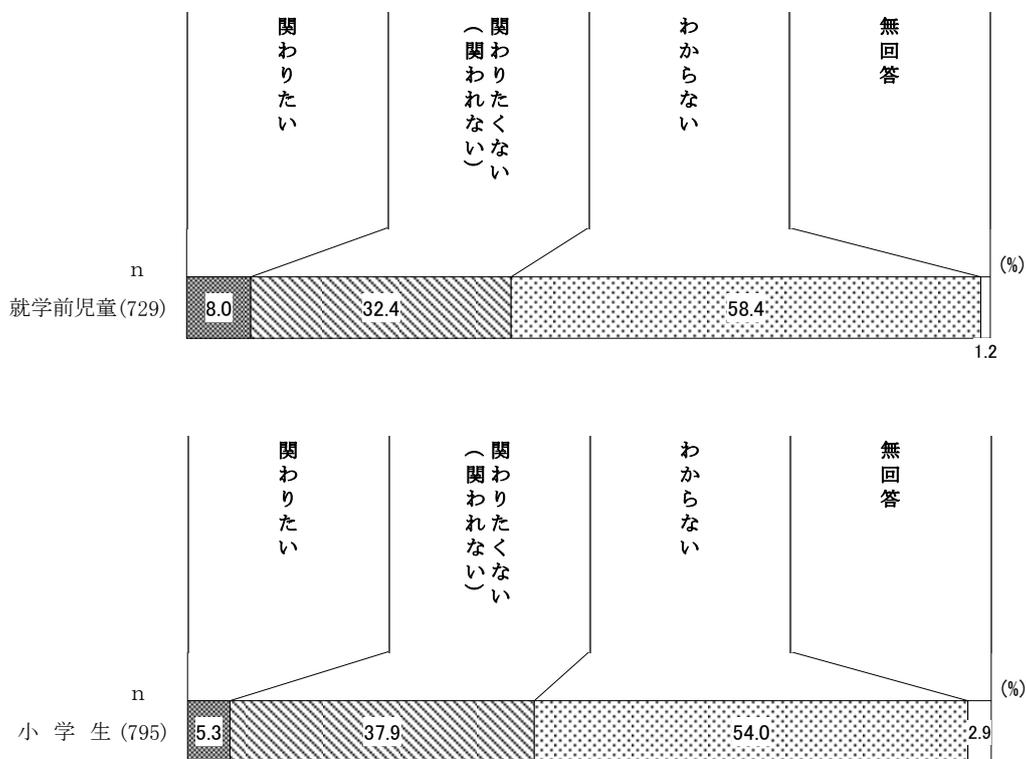
## 2. ファミリー・サポート・センターの援助活動への参加意向

- ・ファミリー・サポート・センターの援助活動への参加意向をみると、「関わりたい」（就学前児童 8.0%・小学生 5.3%）は両者ともに10%未満にとどまり、「関わりたくない（関われない）」（就学前児童 32.4%・小学生 37.9%）、「わからない」（就学前児童 58.4%・小学生 54.0%）を合わせると、就学前児童では90.8%、小学生では91.9%となっている。

### 【就学前児童 問29】【小学生 問20】

今後、ファミリー・サポート・センターの提供会員または両方会員として、援助活動に関わりたいと思いますか。（1つに○）

ファミリー・サポート・センターの援助活動への参加意向



## X I. 理想的な子どもの人数について

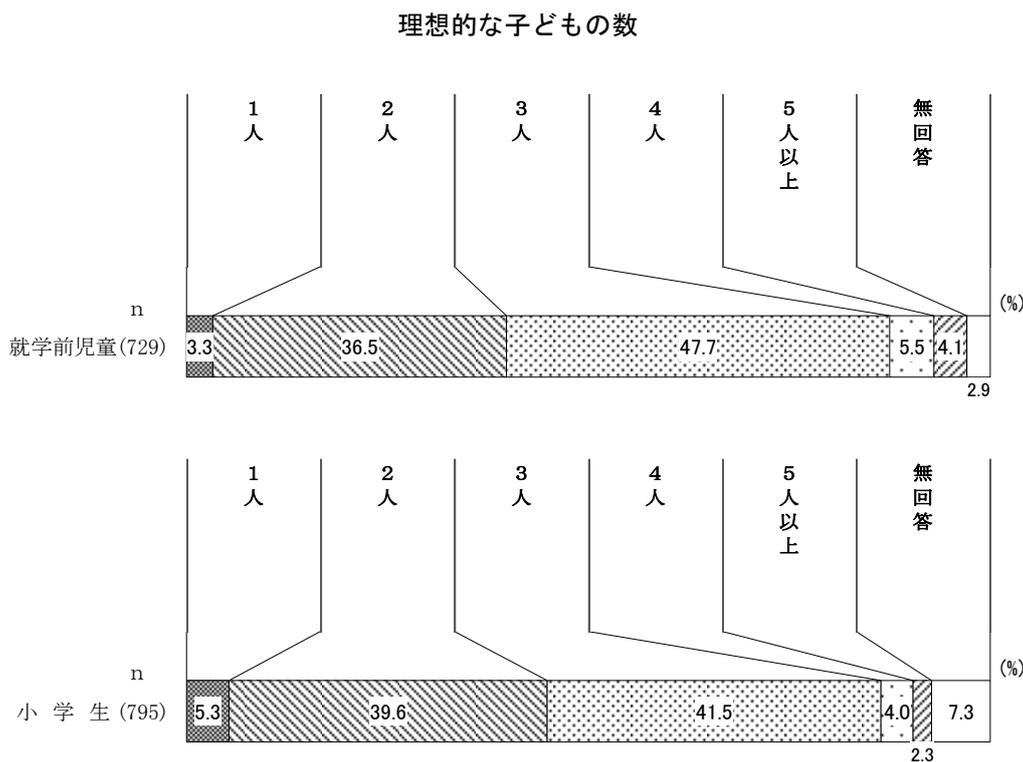
### 1. 理想的な子どもの数と持つつもりの子どもの数

- ・理想的な子どもの数を見ると、両者ともに「3人」（就学前児童 47.7%・小学生 41.5%）が最も多く、以下「2人」（就学前児童 36.5%・小学生 39.6%）となっており、「1人」（就学前児童 3.3%・小学生 5.3%）は10%未満にとどまっている。
- ・持つつもりの子どもの数を見ると、両者ともに「2人」（就学前児童 51.6%・小学生 46.0%）が最も多く、以下「3人」（就学前児童 26.9%・小学生 21.9%）、「1人」（就学前児童 13.4%・小学生 20.5%）と、理想的な子どもの人数に比べて少なくなっている。

【就学前児童 問30】【小学生 問21】

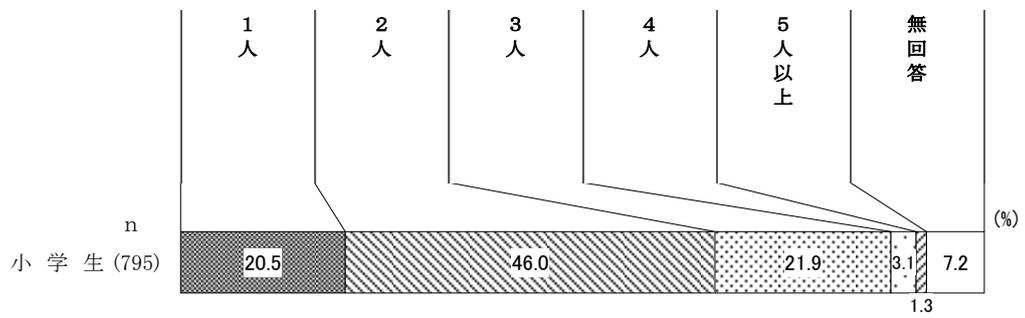
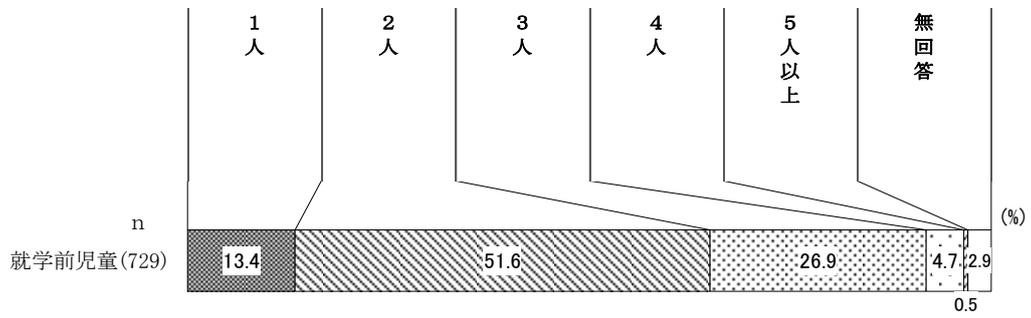
理想的な子どもの数は何人ですか。また、全部で何人のお子さんを持つつもりですか。（（1）、（2）それぞれ1つに○）

#### （1）理想的な子どもの数



(2) 持つつもりの子どもの数 (現在のお子さんの人数も含む)

持つつもりの子どもの数



## 2. 持つつもりの子どもの数が、理想より少ない理由

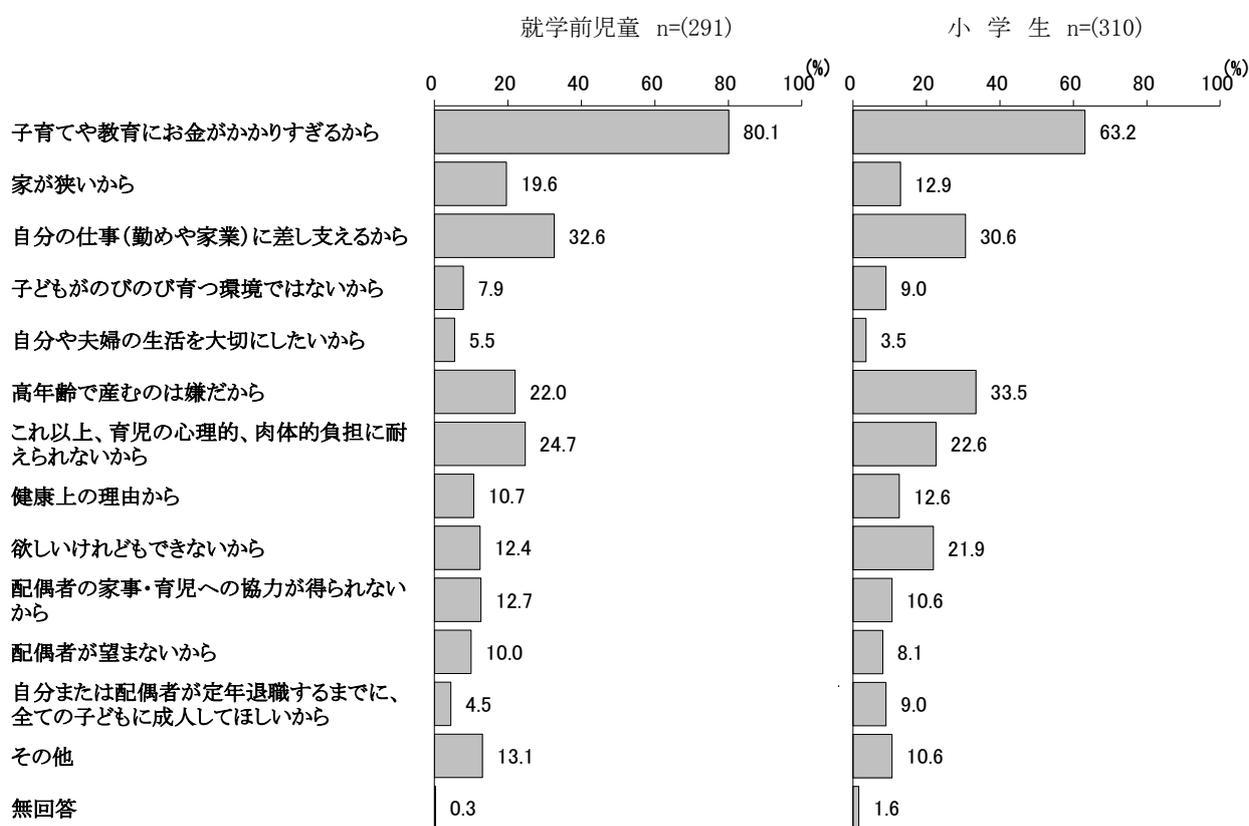
・持つつもりの子どもの数が、理想より少ない理由は、両者ともに「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（就学前児童 80.1%・小学生 63.2%）が最も多く、小学生になると「高年齢で産むのは嫌だから」が 33.5%と 2 位にあがっている。

\* 持つつもりの子どもの数（問 30（2）〔就学前児童〕、問 21（2）〔小学生〕が、理想的な子どもの数（問 30（1）〔就学前児童〕、問 21（1）〔小学生〕より少ない方にうかがいます。

【就学前児童 問 30-1】【小学生 問 21-1】

持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうしてですか。（あてはまる番号すべてに○）

持つつもりの子どもの数が、理想より少ない理由



## XII. 米沢市の子育て環境について

### 1. 施策の評価

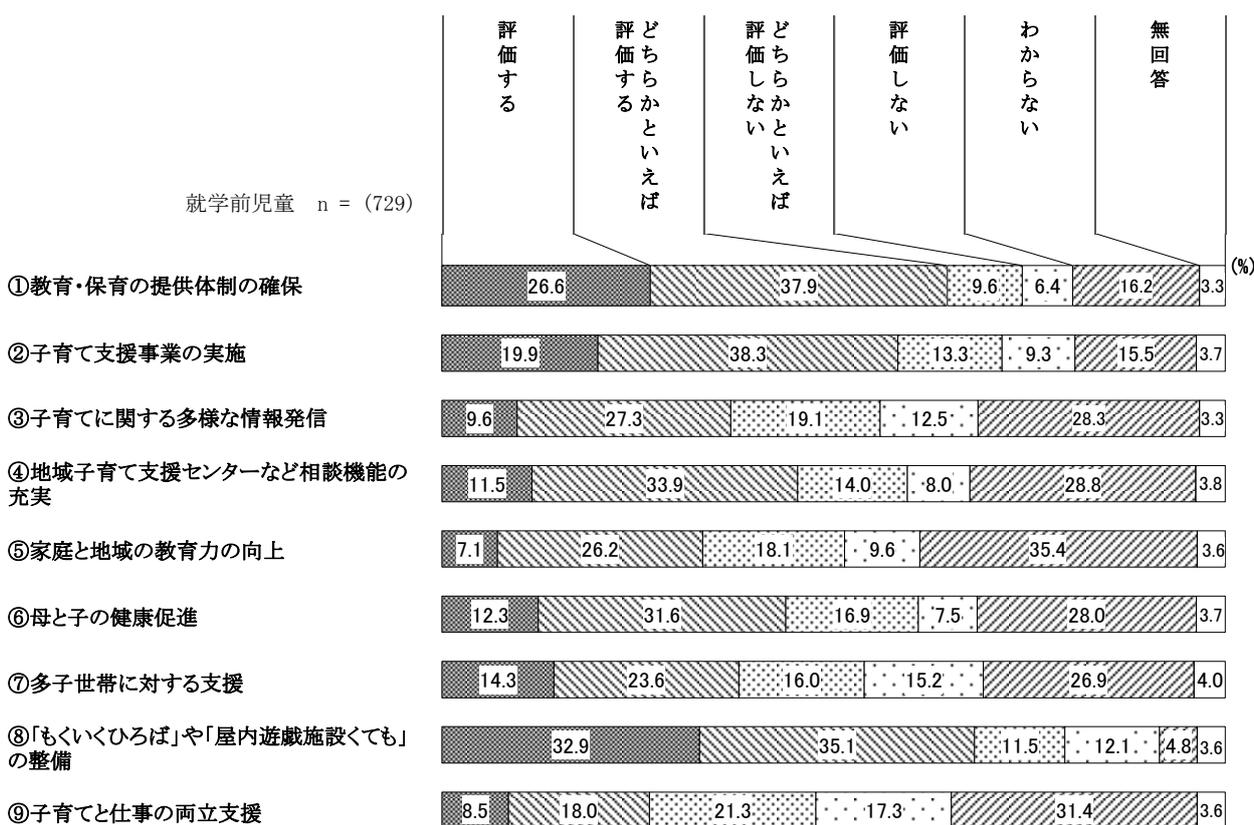
- ・本市全体の子育て支援施策の評価をみると、「評価する」、「どちらかといえば評価する」を合わせた“評価派”は、両者ともに『①教育・保育の提供体制の確保』（就学前児童 64.5%・小学生 59.6%）、『②子育て支援事業の実施』（就学前児童 58.2%・小学生 56.0%）、『⑧「もくいくひろば」や「屋内遊戯施設くても」の整備』（就学前児童 68.0%・小学生 55.7%）が50%以上と多くなっている。
- ・「どちらかといえば評価しない」、「評価しない」を合わせた“不評派”は、両者ともに『⑨子育てと仕事の両立支援』（就学前児童 38.6%・小学生 35.0%）が最も多く、以下『③子育てに関する多様な情報発信』（就学前児童 31.6%・小学生 30.8%）、『⑦多子世帯に対する支援』（就学前児童 31.2%・小学生 26.7%）となっている。“不評派”は両者ともに20~30%台となっている。
- ・就学前児童では9項目中1項目、小学生では9項目中2項目で“評価派”に比べて“不評派”が多く、中でも『⑨子育てと仕事の両立支援』で顕著になっている。
- ・なお、「わからない」と評価を留保した回答者が20%超となっている項目が多いことから、子育て支援施策の周知が必要と考えられる。中でも『⑨子育てと仕事の両立支援』（就学前児童 31.4%・小学生 35.6%）では両者ともに30%超となっている。また、小学生では9項目中6項目で「わからない」と評価を留保した回答者が30%超となっており、特に周知が必要と考えられる。

【就学前児童 問31】【小学生 問22】

米沢市では、子どもがすこやかに育つため、以下の①～⑨の施策の方向を定めて環境整備を進めています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。(①～⑨の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号1つずつ〇)

(1) 施策の評価

施策の評価 (就学前児童)

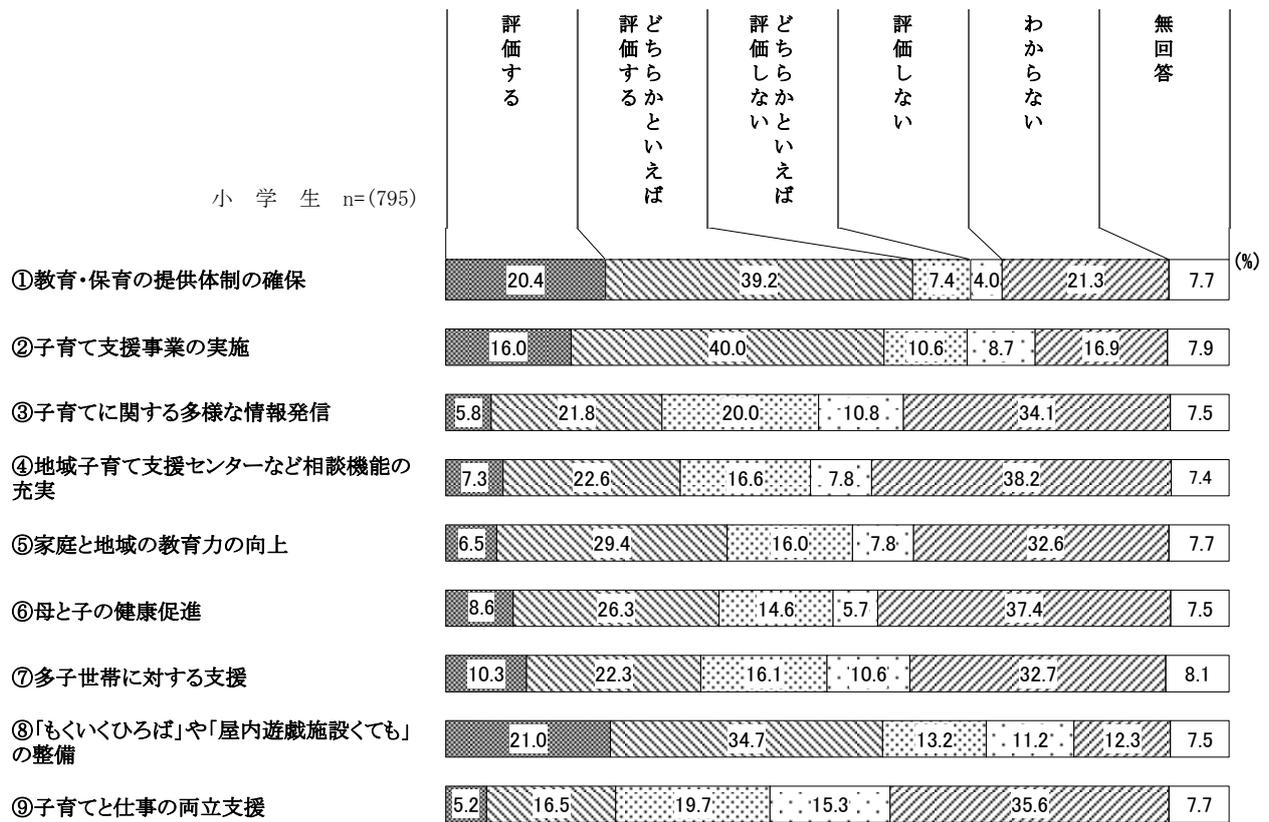


※施策の方向の詳細

①教育・保育の提供体制の確保	保育所や認定こども園の待機児童の解消など
②子育て支援事業の実施	放課後児童クラブ、延長保育、一時預かり、病児保育、乳児家庭全戸訪問、妊婦検診など
③子育てに関する多様な情報発信	子育て支援アプリやLINE等のSNSによる情報発信
④地域子育て支援センターなど相談機能の充実	
⑤家庭と地域の教育力の向上	親子を対象とした講座や、地区のコミセンを中心としたサポートの体制づくりなど
⑥母と子の健康促進	妊産婦への支援、障がい児の保育所等への入所支援など
⑦多子世帯に対する支援	保育料の軽減、多胎児への支援など
⑧「もくいくひろば」や「屋内遊戯施設くても」の整備	
⑨子育てと仕事の両立支援	職場理解に対する相談窓口のPR、家庭内就労紹介窓口の充実など

施策の評価（小学生）

小学生 n=(795)



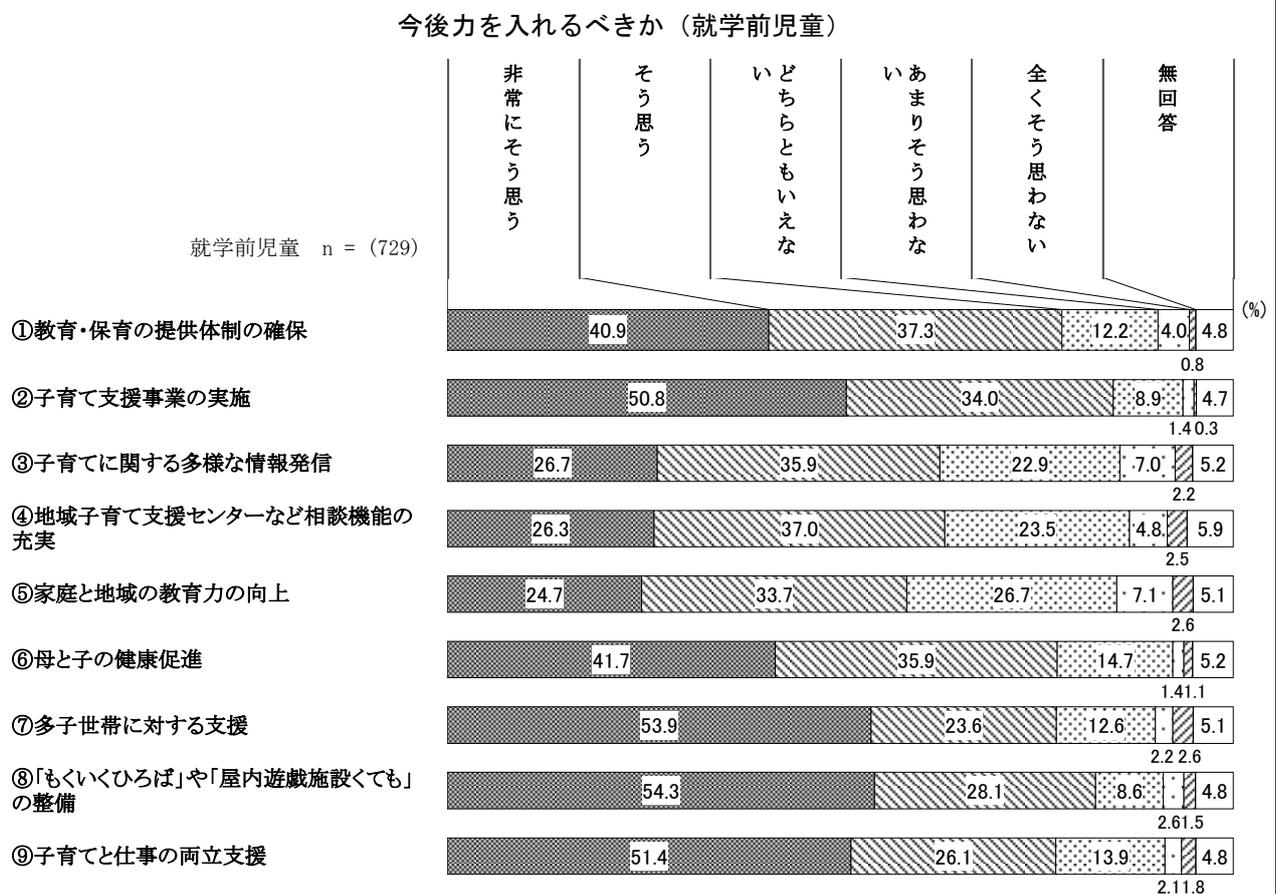
## 2. 今後力を入れるべきこと

- ・本市全体の子育て支援施策で今後力を入れるべき項目をみると、「非常にそう思う」「そう思う」を合わせた“賛同派”は、就学前児童で9項目中6項目、小学生で9項目中6項目が70%超となっている。
- ・“賛同派”は、両者ともに『②子育て支援事業の実施』（就学前児童 84.8%・小学生 78.1%）が最も多く、以下、就学前児童では『⑧もくいくひろば』や『屋内遊戯施設設けても』の整備』（82.4%）、『①教育・保育の提供体制の確保』（78.2%）、『⑥母と子の健康促進』（77.6%）、『⑦多子世帯に対する支援』、『⑨子育てと仕事の両立支援』（ともに 77.5%）の順に、小学生では『⑨子育てと仕事の両立支援』（75.5%）、『⑧「もくいくひろば」や「屋内遊戯施設設けても」の整備』（72.4%）、『⑥母と子の健康促進』（72.3%）、『⑦多子世帯に対する支援』（71.8%）、『①教育・保育の提供体制の確保』（70.0%）の順となっており、上位6項目まで同様となっている。

### 【就学前児童 問31】【小学生 問22】

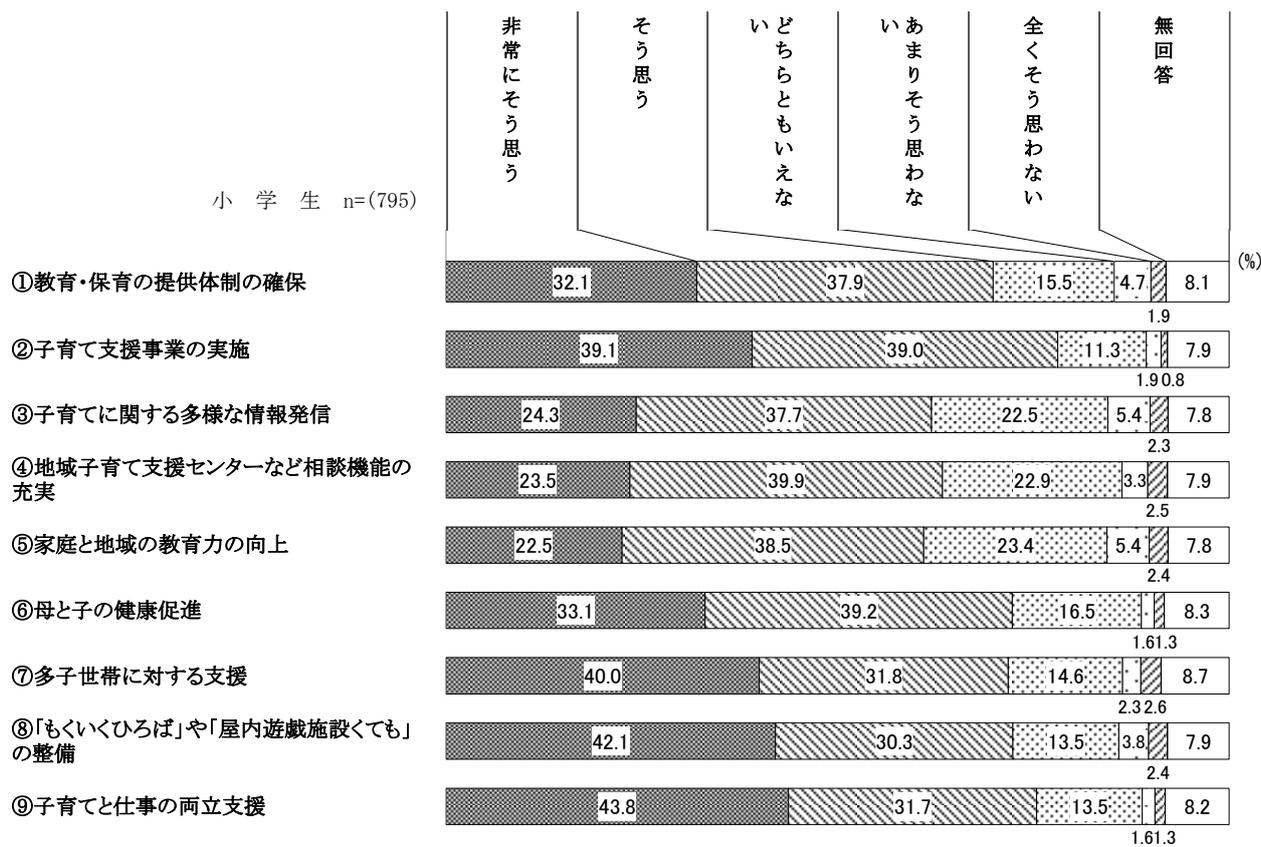
米沢市では、子どもがすこやかに育つため、以下の①～⑨の施策の方向を定めて環境整備を進めています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。（①～⑨の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号1つずつ○）

#### (2) 今後力を入れるべきか



今後力を入れるべきか（小学生）

小学生 n=(795)

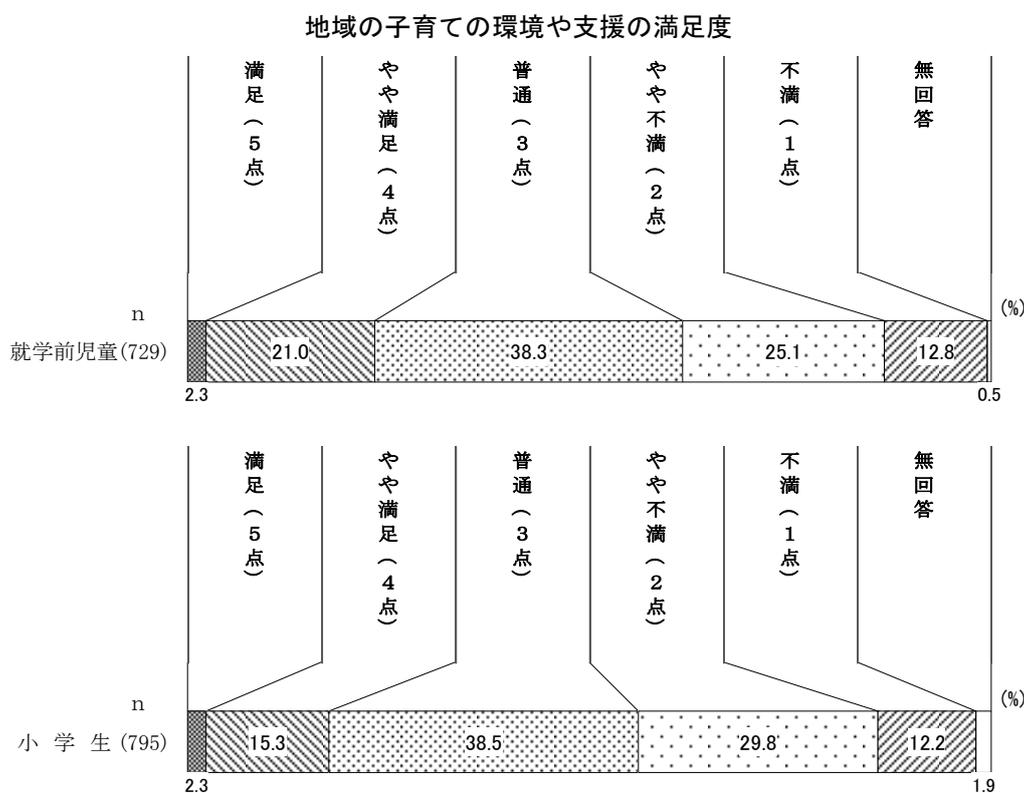


### 3. 地域の子育ての環境や支援の満足度

・地域の子育ての環境や支援の満足度をみると、両者ともに「普通（3点）」（就学前児童 38.3%・小学生 38.5%）が最も多い。就学前児童では「やや満足（4点）」（21.0%）、「満足（5点）」（2.3%）を合わせた“満足派”は23.3%にとどまり、「やや不満（2点）」（25.1%）、「不満（1点）」（12.8%）を合わせた“不満派”が37.9%と“満足派”を上回っている。小学生でも“不満派”が42.0%と、“満足派”（17.6%）を上回っている。

【就学前児童 問32】【小学生 問23】

米沢市の地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。（1つに○）



### XⅢ. 子育ての環境や支援に関するご意見について

- ・自由意見は、両者ともに「経済的負担」についての意見が最も多く、そのほか「交流・広場・催物・公園」「屋内の遊び場」「教育・保育の事業」「子育て支援」が上位となっている。また、上位3位までは両者とも同様であるのに対し、4位からは就学前児童では「教育・保育の事業」、小学生では「子育て支援」についての意見が多くなっている。

#### 【就学前児童 問33】【小学生 問24】

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

【就学前児童】回答者数 400 人・総意見数 728 件

	意見内容	件数
1	経済的負担	177
2	交流・広場・催物・公園	107
3	屋内の遊び場	83
4	教育・保育の事業	66
5	子育て支援	62
6	母子保健・医療	44
7	労働環境	39
8	相談・情報提供	29
9	生活環境(商業施設・雪対策含む)	24
10	病児・病後児保育	15
10	学校について	15
10	放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方	15
13	安心・安全な街づくり	14
14	障がい児家庭など)	13
15	一時預かり(宿泊をとまなう)	8
16	ひとり親家庭	6
17	行政全般	4
-	その他	7
総意見数		728

【小学生】回答者数 391 人・総意見数 608 件

	意見内容	件数
1	経済的負担	143
2	交流・広場・催物・公園	96
3	屋内の遊び場	67
4	子育て支援	53
5	教育・保育の事業	37
6	相談・情報提供	27
7	放課後児童クラブ等・放課後の過ごし方	25
8	母子保健・医療	24
8	学校について	24
8	労働環境	24
11	障がい児家庭など	17
12	生活環境(商業施設・雪対策含む)	14
13	病児・病後児保育	13
14	行政全般	11
15	安心・安全な街づくり	10
16	ひとり親家庭	9
17	一時預かり(宿泊をとまなう)	1
-	その他	13
総意見数		608

# 第4章 資料編

## I. 調査票（就学前児童用）

### 就学前児童用 米沢市 子育て支援に関するアンケート

〔ご記入にあたってのお願い〕

- この欄には無記入です。（回答者が特定されることはありません。）
- この調査票には、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- 調査票への回答は、速戻紙に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合があります。また、「その他」の欄は（ ）内に具体的な内容を記入ください。
- 数字で時間（時刻）を記入する場合は、2.4時間制（例：午後6時～18時）でご記入ください。
- 政庁によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので「ことわり書き」や「印刷」に従ってご回答ください。特に「ことわり書き」などがない場合は、次の欄面にお進みください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに7月1日（月）までにご投函ください。
- 家庭に複数の調査票が届く場合もございます。その場合は宛名のお子さんについて、それぞれの調査票にご回答いただきますよう、お願い申し上げます。

#### 調査にご回答頂く方について

問1 この調査にご回答頂く方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係をお答えください。（1つに○）

1. 母親
2. 父親
3. その他（ ）

問2 この調査にご回答頂く方の、配偶関係についてお答えください。（1つに○）

1. 配偶者がいる
2. 配偶者がいない

問3 宛名のお子さんがお住まいの小学校区をお答えください。（1つに○）

1. 興譲小学校区
2. 東部小学校区
3. 西部小学校区
4. 南部小学校区
5. 北部小学校区
6. 愛宕小学校区
7. 万世小学校区
8. 広運小学校区
9. 六郷小学校区
10. 塩井小学校区
11. 羅田小学校区
12. 上郷小学校区
13. 南原小学校区
14. 松川小学校区

問4 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

西暦 [ ] 年 [ ] 月 生まれ

#### 就学前児童用

問5 宛名のお子さんを含めたお子さんの人数を数字でご記入ください。

きょうだい数 [ ] 人

問6 宛名のお子さんの子育てを主にしているのはどなたですか。お子さんからみた関係をお答えください。（1つに○）

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. その他（ ）

#### 子育て環境について

問7 宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（または施設）ですか。お子さんからみた関係をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 父母ともに
2. 母親
3. 父親
4. 祖父母
5. 教育・保育事業（保育園・認定こども園・幼稚園等）
6. その他（ ）

問8 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
  2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
  3. 日常的に子どもを預けてもらえる友人・知人がいる
  4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けてもらえる友人・知人がいる
  5. いずれもない
- 問9-1 へ
- 問9-2 へ

問9 「1」または「2」に○をまつけた方にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族に宛名のお子さんをお預かってもらっている状況についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 祖父母等の親族には安心して子どもを預けられる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問8で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 友人・知人には安心して子どもを預けられる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をにかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ( )

再び、すべての方にうかがいます。

問9 宛名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所がありますか。(1つに○)

1. いる/ある 問9-1へ
2. いない/ない 問10へ

問9で「1」(いる/ある)に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 宛名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父祖母の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 教育・保育事業の保育士や幼稚園の先生や学校の先生
5. 民生委員・児童委員
6. 子育て支援施設(地域子育て支援センター等)
7. 保健所・市の保健師
8. 自治体の子育て関連担当窓口
9. かかりつけの医師
10. その他 ( )

就業状況について

再び、すべての方にうかがいます。

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況(自営業・家族従事者含む)についてお答えください。  
※ひとり親の方は、ご自身に関する設問にのみお答えください。  
※現在の就業状況についてお答えください。(母親、父親のそれぞれについて1つに○)

母親	父親
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない</li> <li>2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である</li> <li>3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない</li> <li>4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である</li> <li>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</li> <li>6. これまで就労したことがない</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない</li> <li>2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、育休・介護休業中である</li> <li>3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、育休・介護休業中ではない</li> <li>4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、育休・介護休業中である</li> <li>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</li> <li>6. これまで就労したことがない</li> </ol>

問10で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 週当たりの「就労日数」1日当たりの「就労時間(休憩時間、残業時間を含む)」をお答えください。( [ ] 内に数字でご記入ください。)

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

母親	父親
就労日数…1日当たり [ ] 日	就労日数…1日当たり [ ] 日
就労時間…1日当たり [ ] 時間程度	就労時間…1日当たり [ ] 時間程度

問10で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問10-2 寝る時刻と帰宅時刻をお答えください。( [ ] 内に数字でご記入ください。)

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。  
※時間は、必ず2.4時間制(例: 8時～18時)でご記入下さい。

母親	父親
寝る時刻 [ ] 時	寝る時刻 [ ] 時
帰宅時刻 [ ] 時	帰宅時刻 [ ] 時

問10で「8」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問11 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労を続けることを希望している	3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労を続けることを希望している
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てや家事に専念したい

問10で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。

問12 就労したいという希望はありますか。(1つに○)

母親	父親
1. 子育てや家事などに専念したい(就労予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい(就労予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが [ ] 歳になったころに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが [ ] 歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内(就労したい)	3. すぐにも、もしくは1年以内(就労したい)

※「2. 1年より先、一番下の子どもが [ ] 歳になったころに就労したい」に○をつけた方は「 [ ] 内に数字をご記入ください。

問12で「3」(すぐにも、もしくは1年以内に就労したい)に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 希望する就労形態をお答えください。(1つに○)

母親	父親
1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム・アルバイト等 (1. フルタイム以外)	2. パートタイム・アルバイト等 (1. フルタイム以外)
1週当たり [ ] 日	1週当たり [ ] 日
1日当たり [ ] 時間程度	1日当たり [ ] 時間程度

※「2. パートタイム・アルバイト等 (1. フルタイム以外)」に○をつけた方は「 [ ] 内に数字をご記入ください。

育児休業の取得について

再び、すべての方にうかがいます。

問13 病名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。(母親、父親のそれぞれについて1つに○)

母親	父親
1. 取得した(取得中)	1. 取得した(取得中)
2. 取得していない	2. 取得していない
3. 聞いていなかった	3. 聞いていなかった

問13で「2」(取得していない)と答えた方にうかがいます。

問13-1 育児休業を取得していない理由は何ですか。(母親、父親の該当する方それぞれについて、次の中からあてはまる番号すべてに○)

母親	父親	理由	由
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	
2	2	仕事が忙しかった	
3	3	(産休後に)仕事に早く復帰したかった	
4	4	仕事に戻るのが難しかった	
5	5	昇給・昇格などが遅れそうだった	
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなる	
7	7	医育所(園)などに預けることができた	
8	8	配偶者が育児休業制度を利用した	
9	9	制度を利用する必置がなかった(配偶者が無職、祖父母等の親族にのみもらえるなど)	
10	10	子育てや家事に専念するため退職した	
11	11	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがない)	
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	
13	13	育児休業を取得できることを知らなかった	
14	14	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できなかった	
15	15	その他( )	

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

再び、すべての方にかがいます。

※「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問14-1に示した事業が含まれます。

問14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(1つに○)

※法的に「一時預かり」等を利用している場合は、「1. 利用している」を選択してください。

1. 利用している 問 14-1+2+3+4へ 2. 利用していない 問 14-3へ

問14で「1」(利用している)に○をつけた方にかがいます。

問 14-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園(通常の就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(園が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模保育事業(米沢市では、さくら保育園、あゆみ園で実施)
6. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営するもの)
7. その他の認可外の保育施設
8. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
9. その他( )

問14で「1」(利用している)に○をつけた方にかがいます。

問 14-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。(【 】内に数字を記入)

※時間は必ず(例)9時～18時のように24時間前まで記入ください。

(1) 現在

1週当たり [ ] 日 1日当たり [ ] 時間 ( [ ] 時～[ ] 時 )

(2) 希望

1週当たり [ ] 日 1日当たり [ ] 時間 ( [ ] 時～[ ] 時 )

問14で「1」(利用している)に○をつけた方にかがいます。

問 14-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(1つに○)

1. 米沢市内 2. 他の市区町村

問14で「1」(利用している)に○をつけた方にかがいます。

問 14-4 現在、利用している教育・保育事業について、よいに感じていることをお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 理念や方針がしっかりしている
2. 保育士、幼稚園教諭の質が高い
3. 行事、体験等を通じ、豊かな子どもの成長を考えたプログラムを行っている
4. 自宅からの距離が近い、通勤しやすい
5. 設備が充実している
6. 部屋が広い
7. 周辺に自然環境がある
8. 保育・預かり時間が長い
9. その他( )
10. 特になし

問14で「2」(利用していない)に○をつけた方にかがいます。

問 14-5 教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分で子育てしたい
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため( [ ] 歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他( )

再び、すべての方にかかいます。

問15 現在、国では、保護者の就労にかかわらず、月の一定時間まで子ども（0歳6か月～2歳）を保育施設等に時間単位で預けられる「子ども誰でも通園制度（仮称）」の検討を進めています。この制度が実施された場合、保育施設等を利用しようと思いませんか。（1つに○）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい  
2. 利用したいとは思わない  
3. わからない  
利用する必要はない

問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

110. 利用希望がないに空をつけた方は、問17へお進みください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）  
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）  
3. 認可保育所（園が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）  
4. 認定子ども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）  
5. 小規模保育事業（米沢市では、さくら保育園、あゆみ園で実施）  
6. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営するもの）  
7. その他の認可外の保育施設  
8. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）  
9. その他（  
10. 利用希望はない 問17へ

問16で「1」～「9」（利用したい）に○をつけた方にかかいます。

問16-1 問16で○をつけた教育・保育事業について、主に利用したい場所はどこですか。（1つに○）

1. 米沢市内  
2. 他の市区町村

問16で「1」または「2」（幼稚園・幼稚園の預かり保育）に○をつけ、かつ「3」～「9」にも○をつけた方にかかいます。

問16-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つに○）

1. はい  
2. いいえ

土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

再び、すべての方にかかいます。

問17 宛名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時利用は除く）。（1）（2）それぞれについて、利用希望の有無と利用したい時間帯についてお答えください。（1つに○）

※時間は必ず（例）9時～18時のように2.4時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. ほぼ毎週利用したい  
2. 月に1～2回は利用したい  
3. 利用する必要はない
- 利用したい時間帯  
⇔ [ ] 時～[ ] 時

（2）日曜・祝日

1. ほぼ毎週利用したい  
2. 月に1～2回は利用したい  
3. 利用する必要はない
- 利用したい時間帯  
⇔ [ ] 時～[ ] 時

問17の（1）もしくは（2）で「2」（月に1～2回は利用したい）に○をつけた方にかかいます。

問17-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 月に数回仕事が入るため  
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため  
3. 親族の介護や手伝いが必要のため  
4. リフレッシュのため  
5. その他（  
）

「幼稚園」を利用されている方にかかいます。

問18 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休学期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。利用希望の有無と利用したい時間帯についてお答えください。（1つに○）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※時間は必ず（例）9時～18時のように2.4時間制でご記入ください。

1. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい  
2. 休みの期間中、週に数日は利用したい  
3. 利用する必要はない
- 利用したい時間帯  
⇔ [ ] 時～[ ] 時

問18で「2」（休みの期間中、週に数日は利用したい）に○をつけた方にかがいます。

問18-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. リフレッシュのため
5. その他 ( )

病気の際の対応について (平日日中の教育・保育事業を利用する方のみ)

問14で平日日中の定期的な教育・保育事業を利用しているとお答えの方にかがいます。

※利用していない方は、問19へお進み下さい。

問19 宛名のお子さんについて、この1年間に病気やけがのために通常の教育・保育事業を利用出来ず、特別な対応を取る必要がありましたか。(1つに○)

1. あった 問19-1へ
2. なかった 問20へ

問19で「1」（あった）に○をつけた方にかがいます。

問19-1 宛名のおさんが病気やけがで通常の教育・保育事業を利用出来ず、特別な対応を取る必要があった場合は、この1年間に行った対処法を選択し、それぞれの延べ日数をお答えください。(あてはまる番号すべてに○) (半日は1日としてカウントして下さい。)

1年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	[ ] 日程度
2. 母親が休んだ	[ ] 日程度
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	[ ] 日程度
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	[ ] 日程度
5. 病児・病後児の保育を利用した(保育園(園)で実施しているサービスを含む)※	[ ] 日程度
6. ベビーシッターを利用した	[ ] 日程度
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	[ ] 日程度
8. 仕方なく子どもだけで留守番させた	[ ] 日程度
9. その他 ( )	[ ] 日程度

※病児・病後児保育事業

※本市では、鹿川保育園と麻理台保育園に専用室が開設され、平成26年2月から、午後6か月から小学校3年生までを対象とした1日の定員3人の病児保育事業を実施しています。

問19-1で「1」（父親が休んだ）または「2」（母親が休んだ）に○をつけた方にかがいます。

問19-2 その際、できれば「病児・病後児保育事業」を利用したいと思われましたか、思われた場合は希望延べ日数をお答えください。(1つに○)

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇨ [ ] 日程度 問19-3へ
2. 利用したいとは思わない 問19-4へ

問19-2で「1」（できれば病児・病後児保育施設等を利用したい）に○をつけた方にかがいます。

問19-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)
4. その他 ( )

問19-2で「2」（利用したいとは思わない）に○をつけた方にかがいます。

問19-4 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 場所や利用可能時間が合わない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料が分からない
6. 親が仕事を休んで対応可能
7. 利用方法がわからない(わかりづらい)
8. その他 ( )

問19-1で「3」～「9」に○をつけた方にかがいます。

問19-5 その際、できれば「父親のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか、思われた方は、仕事を休んで看たいと思われる日数をお答えください。(1つに○)

1. できれば仕事を休んで看たい ⇨ [ ] 日程度 問20へ
2. できれば仕事を休んで看たいが休んで看るとは非常に難しい 問19-6へ
3. 休んで看たいとは考えなかった、又は休んで看るとは必要がなかった 問20へ

問19-5で「3」（できれば仕事を休んで看たいが休んで看るとは非常に難しい）に○をつけた方にかがいます。

問19-6 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休みがとれない
3. 休暇日数が足りないので休みがとれない
4. その他 ( )

子育て支援事業の不定期な利用や、宿泊を伴う事業の利用状況について

再び、すべての方にかかいます。

問20 宛名のお子さんについて、この1年間に日中の定期的な保育・教育事業の利用や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に子育て支援事業を利用しましたか。(1つに○)

1. 利用した 問20-1へ 2. 利用しなかった 問20-2へ

問20で「1」(利用した)に○をつけた方にかかいます。

問20-1 利用した事業及び利用日数についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

利用した事業	利用日数
1. 保育所(園)での一時預かり	[ ]日程度
2. 幼稚園の預かり保育	[ ]日程度
3. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	[ ]日程度
4. 短期入所生活援助(ショートステイ)事業	[ ]日程度
5. 夜間看護等(トワイライトステイ)事業	[ ]日程度
6. その他( )	[ ]日程度

問20で「2」(利用しなかった)に○をつけた方にかかいます。

問20-2 利用しなかった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない  
 2. 利用したい事業が地域にない  
 3. 地域の事業の質に不安がある  
 4. 場所や時間が合わない  
 5. 利用料がかかる・高い  
 6. 利用料がわからない  
 7. 自分が事業の対象者になるのかわからない  
 8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない  
 9. その他( )

再び、すべての方にかかいます。

問21 宛名のお子さんについて、日中の定期的な教育・保育事業や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に子育て支援事業を利用したいと思いませんか。(1つに○)

1. 利用したい 問21-1へ 2. 利用する必要はない 問22へ

問21で「1」(利用したい)に○をつけた方にかかいます。

問21-1 利用目的及び利用希望日数についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

利用目的	日数
計	[ ]日程度
1. 私用(買物、子どもや親の買い物等)、リフレッシュ目的	[ ]日程度
2. 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等	[ ]日程度
3. 不定期の就労	[ ]日程度
4. その他	[ ]日程度

問21で「1」(利用したい)に○をつけた方にかかいます。

問21-2 問21-1の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園・保育所等で子どもを預かる事業  
 2. 地域子育て支援センター等で子どもを預かる事業 ※1  
 3. ファミリー・サポート・センター等で子どもを預かる事業 ※2  
 4. その他( )

※1 地域子育て支援センター

保育所(園)などを活用して育児に関する相談や指導を行う他、子育てサークル養成のための講習会などを企画・実施する事業

※2 ファミリー・サポート・センター

子育てのお手伝いをしたい人と、子育てのお手伝いをしてほしい人が会員になり、お互いに地域の中で助け合いながら子育てをする、委員制の非営利ボランティア組織

地域子育て支援拠点事業の利用状況について

再び、すべての方にかかいます。

問23 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していただけますか。それぞれについて、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）  
⇒ 1週当たり [ ] 回 もしくは 1ヶ月当たり [ ] 回程度
2. その他区市で実施している類似の事業（具体名： ）  
⇒ 1週当たり [ ] 回 もしくは 1ヶ月当たり [ ] 回程度
3. 利用していない

問24 問23のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用回数を増やしたいと思いませんか。おおよその利用回数（頻度）をお答えください。（1つに○）

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者条件が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい  
⇒ 1週当たり [ ] 回 もしくは 1ヶ月当たり [ ] 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい  
⇒ 1週当たり [ ] 回 もしくは 1ヶ月当たり [ ] 回程度
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

再び、すべての方にかかいます。

問22 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者、家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合、短期入所生活支援事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）等を利用したいと思いませんか。（1つに○）

1. 利用したい 問 22-1 へ
2. 利用する必要はない 問 23 へ

問 22 で「1」（利用したい）に○をつけた方にかかいます。

問 22-1 利用目的及び利用希望日数についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）  
※なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

利用目的	日数
計	[ ] 日程度
1. 冠婚葬祭	[ ] 日程度
2. 保護者や家族の育児疲れ・不安	[ ] 日程度
3. 保護者や家族の病気	[ ] 日程度
4. その他（ ）	[ ] 日程度

小学校就学後の放課後の過ごし方について

図25 宛名のお子さん5歳以上である方にかかれます。※5歳未満の方は図28へお進みください。

図25 宛名のお子さんが小学校に就学後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）の場合で、それぞれ希望する場所と週当たりの日数をお答えください。また、放課後児童クラブ〔学童保育〕の場合は、利用を希望する時間も数字でご記入下さい。

※時間は必ず(例)1.8時のように2.4時間間でご記入ください。

	放課後の居場所 (あてはまる番番すべてに○)		今後の希望	
	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）
1. 自宅	週[ ]日程度	週[ ]日程度	週[ ]日程度	週[ ]日程度
2. 祖父母や友人・知人宅	週[ ]日程度	週[ ]日程度	週[ ]日程度	週[ ]日程度
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週[ ]日程度	週[ ]日程度	週[ ]日程度	週[ ]日程度
4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週[ ]日程度 →下校時から [ ]時まで	週[ ]日程度 →下校時から [ ]時まで	週[ ]日程度	週[ ]日程度
5. ファミリー・サポート・センター	週[ ]日程度	週[ ]日程度	週[ ]日程度	週[ ]日程度
6. その他(コミュニケーションセンター、公園など)	週[ ]日程度	週[ ]日程度	週[ ]日程度	週[ ]日程度

図26 「4」(放課後児童クラブ〔学童保育〕)に○をつけた方にかかれます。

図26 土曜日、日・祝日及び長期休暇中(夏・冬休みなど)に、放課後児童クラブ〔学童保育〕の利用希望はありませんか。それぞれについて、利用希望とその時間帯をお答えください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)。(2)。(3)それぞれ1つに○

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい [ ] 時～[ ] 時まで  
 2. 高学年(4～6年生)の間は利用したい [ ] 時～[ ] 時まで  
 3. 利用する必要はない

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい [ ] 時～[ ] 時まで  
 2. 高学年(4～6年生)の間は利用したい [ ] 時～[ ] 時まで  
 3. 利用する必要はない

(3) 長期休暇中(夏・冬休みなど)

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい [ ] 時～[ ] 時まで  
 2. 高学年(4～6年生)の間は利用したい [ ] 時～[ ] 時まで  
 3. 利用する必要はない

図27 「4」(放課後児童クラブ〔学童保育〕)以外に○をつけた方にかかれます。

図27 放課後児童クラブ〔学童保育〕を利用しない理由は何ですか。(1つに○)

1. 利用したいが利用料が高い  
 2. 保育を必要とする事由(両親の就労等)に該当しない  
 3. 利用する必要はない

## 理想的な子どもの人数について

問30 理想的な子どもの数は何人ですか。また、全部で何人のお子さんをお持ちのおつもりですか。(1)、(2) それぞれ1つに○

(1) 理想的な子どもの数

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

(2) 持つもりの子どもの数 (現在のお子さんの人数も含む)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

持つもりの子どもの数(問30(2))が、理想的な子どもの数(問30(1))より少ない方がかかります。

問30-1 持つもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                               |   |
|-------------------------------|---|
| 1. 子育てや教育に必要がかりすぎるから          | 8. 健康上の理由から                             |
| 2. 家が狭いから                     | 9. 欲しければとできないから                         |
| 3. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから       | 10. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから               |
| 4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから         | 11. 配偶者が望まないから                          |
| 5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから          | 12. 自分または配偶者が定年退職するまでに、全ての子どもに成人してほしいから |
| 6. 高年齢で産むのは嫌だから               | 13. その他( )                              |
| 7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから |   |

## ファミリー・サポート・センターについて

※ファミリー・サポート・センター  
子育てのお手伝いをしてほしい人が会員になり、お互いに地域の中で助け合っ  
ながら子育てをする、会員間の育成ボランティア組織

再び、すべての方にがかかります。

問28 過去1年間にファミリー・サポート・センターを利用したことはありますか。その場合、利用件数は何件になりますか。(1つに○)

1. 利用している ⇨ 過去1年間で [ ] 件 問28-1,2へ

2. 利用していない 問29へ

問28で「1」(利用している)に○をつけた方にうかがいます。

問28-1 次の活動のうち、もっとも役に立つものはどれですか。(1つに○)

- |   |
|---|
| 1. 教育・保育事業・学校・放課後児童クラブ(学童保育)等の開所時間の前後の子どもの預かり |
| 2. 保育施設やその他の送迎                                |
| 3. 買い物等の外出時の子どもの預かり                           |
| 4. 病児・病後児の預かり                                 |
| 5. 泊泊を伴う子どもの預かり(現在、米沢市では未実施)                  |
| 6. 早期・夜間等の緊急時の子どもの預かり(現在、米沢市では未実施)            |
| 7. その他( )                                     |

問28-2 ファミリー・サポート・センターでは、子育てを地域で相互援助するお手伝いをしておりま  
すが、現在の活動内容についてどう思いますか。(1つに○)

- |         |            |       |
|---------|------------|-------|
| 1. 満足   | 3. どちらでもない | 5. 不満 |
| 2. まあ満足 | 4. やや不満    |       |

再び、すべての方にがかかります。

問29 今後、ファミリー・サポート・センターの運営委員または両方委員として、振動活動に開いたり  
思いますか。(1つに○)

- |                  |          |
|------------------|----------|
| 1. 開きたい          | 3. わからない |
| 2. 開わりたくない(開われぬ) |          |

図32 米沢市の地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。(1つに○)

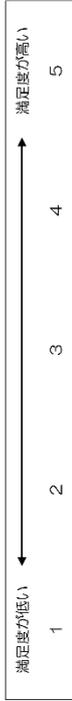


図33 子育ての環境や支援に関するご意見について

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

設問は以上になります。  
調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。  
同封の封筒に入れて、7月1日(月)までに  
ご返函くださいますようお願い致します。



米沢市直江兼続マスコットキャラクター  
「かねたん」

米沢市の子育て環境について

再び、すべての方にかかいます。

図31 米沢市では、子どもがすこやかに育つため、以下の①～⑨の施策の方向を定めて環境整備を進めています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。①～⑨の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号1つずつ○

	(1) 施策の評価			(2) 今後力を入れるべきか						
	評価する	評価するかどうか	評価しない	わからない	評価しない	評価する				
① 教育・保育の提供体制の確保 (保育所や認定こども園の待機児童の解消など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 子育て支援事業の実施 (放課後児童クラブ、延長保育、4時保育、育児休暇、乳児健診受診前・市前、産後検診など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 子育てに関する多様な情報発信 (子育て支援アプリやLINE等のSNSによる情報発信)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 地域子育て支援センターなど相談機能の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 家庭と地域の教育力の向上 (親子を対象とした講座や、地区のコミセンを中心としたサークルの体制づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 母と子の連携促進 (産後への支援、障がい児の保育所等への入所支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 多子世帯に対する支援 (保育所の確保、多胎児への支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ 「ちゅうくひろば」や「園内遊戯施設くても」の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 子育てと仕事の両立支援 (職場理解に関する相談窓口のPR、家庭内就労希望窓口の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

## II. 調査票 (小学生用)

小学生用

### 米沢市 子育て支援に関するアンケート

(に記入にあたってのお願い)

- この調査は無記名です。(回答者個人が特定されることはありません。)
- この調査票には、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- 調査票への回答は、速返時に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合があります。また、「その他」の場合は( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 数字で時間(時刻)を記入する場合は、2.4時間制(例:午後6時~1.8時)でご記入ください。
- 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので「ことわり書き」や「印刷」に従ってご回答ください。特に「ことわり書き」などがない場合は、次の設問にお進みください。
- ご記入が済みましたら、お手紙ですが、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに7月1日(月)までにご投函ください。
- 家庭に複数の調査票が届く場合もございます。その場合は病者のお子さんについて、それぞれの調査票にご回答いただきますよう、お願い申し上げます。

調査にご回答頂く方について

問1 この調査にご回答頂く方はどなたですか。病者のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 母親
2. 父親
3. その他( )

問2 この調査にご回答頂く方の、配偶関係についてお答えください。(1つに○)

1. 配偶者がいる
2. 配偶者がいない

問3 病者のお子さんがお住まいの小学校区をお答えください。(1つに○)

1. 興譲小学校区
2. 東部小学校区
3. 西部小学校区
4. 南部小学校区
5. 北部小学校区
6. 愛宕小学校区
7. 万世小学校区
8. 広瀬小学校区
9. 六郷小学校区
10. 塩井小学校区
11. 窪田小学校区
12. 上郷小学校区
13. 南原小学校区
14. 松川小学校区

問4 病者のお子さんの令和6年度の学年をお答えください。(1つに○)

1. 小学1年生
2. 小学2年生
3. 小学3年生
4. 小学4年生
5. 小学5年生
6. 小学6年生

小学生用

問5 病者のお子さんを含めたお子さんの人数を数字でご記入ください。

さようだい数 [ ]人

問6 病者のお子さんの子育てを主にしているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. その他( )

子育て環境について

問7 病者のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた(または施設)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 父母ともに
2. 母親
3. 父親
4. 祖父母
5. 小学校
6. 放課後児童クラブ(学童保育)
7. その他( )

問8 日頃、病者のお子さんを預かってもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
  2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
  3. 日常的に子どもを預かってもらえる友人・知人がいる
  4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預かってもらえる友人・知人がいる
  5. いずれもない
- 問8-1へ  
問8-2へ

問9 「1」または「2」に○を付けた方にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族に病者のお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族には安心して子どもを預けられる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や娯楽にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他( )

問題で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問8-2 友人・知人に宛名のお子さんをおみてもらっている状況についてお答えください。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 友人・知人には安心して子どもを預けられる
2. 友人・知人の身体的負担が大きいく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きいく心配である
4. 自分たちの立場として、負担をかけたことが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ( )

再び、すべての方にうかがいます。

問9 宛名のおさんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所がありますか。(1つに○)

1. いる/ある 問9-1へ
2. いない/ない 問10へ

問題で「1」(いる/ある)に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 宛名のおさんの子育てや教育について、気軽に相談できる人は、誰(どこ)ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 教育・保育事業の保育士や幼稚園の先生や学校の先生
5. 民生委員・児童委員
6. 子育て支援施設(地域子育て支援センター等)
7. 保健所・市の保健師
8. 自治体の子育て関連担当窓口
9. かかりつけの医師
10. その他 ( )

就業状況について

再び、すべての方にうかがいます。

問10 宛名のおさんの保護者の現在の就業状況(自営業、専業主婦者含む)についてお答えください。  
※ひとり親の方は、ご自身に関する設問にのみお答えください。  
※現在の就業状況についてお答えください。(以降、父親の元をそれぞれ1つに○)

母親	父親
1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4. パート・アルバイト等(フルタイム)以外で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

問題で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問10-1 週当たりの「就労日数」(1日当たりの「就労時間(休憩時間、残業時間を含む)」)をお答えください。( )内に数字でご記入ください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

母親	父親
就労日数…1週当たり [ ] 日	就労日数…1週当たり [ ] 日
就労時間…1日当たり [ ] 時間程度	就労時間…1日当たり [ ] 時間程度

問題で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問10-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。( )内に数字でご記入ください。

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。  
※時間は、必ず24時間制(例：8時～18時)でご記入下さい。

母親	父親
家を出る時刻 [ ] 時	家を出る時刻 [ ] 時
帰宅時刻 [ ] 時	帰宅時刻 [ ] 時

問10で「8」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問11 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労を続けることを希望している	3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労を続けることを希望している
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てで家事に専念したい	4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外をやめて子育てで家事に専念したい

問10で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。

問12 就労したいという希望はありますか。(1つに○)

母親	父親
1. 子育てで家事などに専念したい(就労予定はない)	1. 子育てで家事などに専念したい(就労予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが [ ] 歳になったときに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが [ ] 歳になったときに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

※「2. 1年より先、一番下の子どもが [ ] 歳になったときに就労したい」に○をつけた方は [ ] 内に数字をご記入ください。

問12で「8」(すぐにも、もしくは1年以内に就労したい)に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 希望する就労形態をお答えください。(1つに○)

母親	父親
1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム・アルバイト等 (1. フルタイム以外)	2. パートタイム・アルバイト等 (1. フルタイム以外)
1週当たり [ ] 日	1週当たり [ ] 日
1日当たり [ ] 時間程度	1日当たり [ ] 時間程度

※「2. パートタイム・アルバイト等(1. フルタイム以外)」に○をつけた方は「 [ ] 内に数字をご記入ください。

放課後の過ごし方について

再び、すべての方にうかがいます。

問13 お子さんについて、放課後(平日の小学校下校後)の時間をどこで過ごしていますか。また、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。現在の状況と、自分の現在の学年以降の今後の希望について、それぞれ運当たりの日数をお答えください。また「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

※時間は必ず(例)18時のように24時間間でご記入ください。

放課後の居場所 (あてはまる番号すべてに○)	現在の状況		今後の希望	
	低学年(1~3年生)	高学年(4~6年生)	低学年(1~3年生)	高学年(4~6年生)
1. 自宅	週 [ ] 日程度			
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 [ ] 日程度			
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 [ ] 日程度			
4. 放課後児童クラブ(学童保育)	週 [ ] 日程度 →下校時から [ ] 時まで			
5. ファミリー・サポーター・センター	週 [ ] 日程度			
6. その他(コミュニケーションセンター、公園など)	週 [ ] 日程度			



## 病気の際の対応について（平日中の教育・保育事業を利用する方のみ）

再び、すべての方にかがいます。

問15 病名のお子さんについて、この1年間に病氣やけがのために学校へ登校出来ず、特別な対応を取る必要がありましたか。（1つに○）

1. あった 問15-1へ 2. なかった 問16へ

問15で「1」（あった）に○をつけた方にかがいます。

問15-1 病名のおさんが病氣やけがで通常の教育・保育事業を利用出来ず、特別な対応を取る必要があった場合は、この1年間に行った対処法を選択し、それぞれの延べ日数を答えてください。（あてはまる番号すべてに○）（半日は1日としてカウントして下さい。）

1年間の対処方法		日数
1. 父籍が休んだ	[ ]	日程度
2. 母籍が休んだ	[ ]	日程度
3. 〈同居者を含む〉親族・知人に子どもをみてもらった	[ ]	日程度
4. 父籍または母籍のうち就労していない方が子どもをみた	[ ]	日程度
5. 病児・病後児の保育を利用した（保育所（園）で実施しているサービスを含む）※	[ ]	日程度
6. ベビーシッターを利用した	[ ]	日程度
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	[ ]	日程度
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	[ ]	日程度
9. その他（ ）	[ ]	日程度

※病児・病後児保育事業

米利市では、米利保育園と奥道南保育園に専任保育士が体制され、平成28年2月から、午後6か月から小学校3年生までを対象とした1日1名3人の病児保育事業を実施しています。

問15-2で「1」（父親が休んだ）または「2」（母親が休んだ）に○をつけた方にかがいます。

問15-2 その際、できれば「病児・病後児保育事業」を利用したいと思われましたか、思われた場合は希望延べ日数をお答えください。（1つに○）

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい [ ] 日程度 問15-3へ  
2. 利用したいとは思わない 問15-4へ

再び、すべての方にかがいます。

問14 病名のお子さんについて、希望する放課後児童クラブ（学童保育）を利用できなかったことはありましたか。（1つに○）

1. あった 問14-1-a-3-4へ 2. なかった 問15へ

問14で「1」（あった）に○をつけた方にかがいます。

問14-1 希望する放課後児童クラブ（学童保育）を利用できなかった理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 定員で断られた
2. 支援員が不足しているとの理由で断られた
3. 支援が必要なお子さんに支援員を配置することができないため断られた
4. その他（ ）

問14で「1」（あった）に○をつけた方にかがいます。

問14-2 利用できなかった時のお子さんの学年は何年生でしたか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 小学1年生
2. 小学2年生
3. 小学3年生
4. 小学4年生
5. 小学5年生
6. 小学6年生

問14で「1」（あった）に○をつけた方にかがいます。

問14-3 どのような利用形態を希望していましたか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 適年利用
2. 長期休暇利用
3. 不定期利用

問14で「1」（あった）に○をつけた方にかがいます。

問14-4 利用できなかったあととは、どのような対応をされましたか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 同地区の他放課後児童クラブを利用した
2. 別なサービス（放課後児童クラブ以外の保育サービス）を利用した
3. 保護者が仕事の時間を調整したり、締めたりして面倒をみた
4. 保護者以外の大人の家族で面倒をみた
5. 子どもだけで留守番をさせた
6. その他（ ）

問15-2で「1」(できれば病児・病後児保育施設等を利用したい)に○をつけた方にかがいます。

問15-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記いずれの事業形態が望ましいと思われませんか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 子育て家庭等の身近な場所で開催する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他( )

問15-4で「2」(利用したいとは思わない)に○をつけた方にかがいます。

問15-4 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 場所や利用可能時間が合わない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料が分からない
6. 親が仕事を休んで対応可能
7. 利用方法がわからない(わかりづらい)
8. その他( )

問15-1で「3」～「9」に○をつけた方にかがいます。

問15-5 その際、できれば「父母のいずれかが仕事を休んでほしい」と思われましたか。思われた方は、仕事を休んでほしいと思われる日数をお答えください。(1つに○)

1. できれば仕事を休んでほしい ⇨ [ ] 日程度
2. できれば仕事を休んでほしいが休んでくれることは非常に難しい
3. 休んでほしいとは思えなかった、又は休んでくれる必要がなかった

問15-6で「2」(できれば仕事を休んでほしいが休んでくれることは非常に難しい)に○をつけた方にかがいます。

問15-6 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他( )

子育て支援事業の不定期な利用や、宿泊を伴う事業の利用状況について

再び、すべての方にかがいます。

問16 宛名のお子さんについて、この1年間に病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で子育て支援事業を利用しましたか。(1つに○)

1. 利用した
2. 利用しなかった

問16で「1」(利用した)に○をつけた方にかがいます。

問16-1 利用した事業及び利用日数についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

利用した事業	利用日数
1. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	[ ] 日程度
2. 短期入所生活援助(ショートステイ)事業	[ ] 日程度
3. 夜間看護等(トワイライトステイ)事業	[ ] 日程度
4. その他( )	[ ] 日程度

問16で「2」(利用しなかった)に○をつけた方にかがいます。

問16-2 利用しなかった理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 場所や時間が合わない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかかわらない
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他( )

再び、すべての方にかかいます。

問18 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合、短期入所生活支援事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）等を利用したいと思いませんか。（1つに○）

1. 利用したい 問18-1へ

2. 利用する必要はない 問19へ

問18で「1」（利用したい）に○をつけた方にかかいます。

問18-1 利用目的及び利用希望日数についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

※なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

利用目的	日数
計	[ ]日程度
1. 冠婚葬祭	[ ]日程度
2. 保護者や家族の育児疲れ・不安	[ ]日程度
3. 保護者や家族の病気	[ ]日程度
4. その他（ ）	[ ]日程度

再び、すべての方にかかいます。

問17 宛名のお子さんについて、病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に子育て支援事業を利用したいと思いませんか。（1つに○）

1. 利用したい 問17-1/2へ

2. 利用する必要はない 問18へ

問17で「1」（利用したい）に○をつけた方にかかいます。

問17-1 利用目的及び利用希望日数についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

利用目的	日数
計	[ ]日程度
1. 私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的	[ ]日程度
2. 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等	[ ]日程度
3. 不定期の就労	[ ]日程度
4. その他	[ ]日程度

問17で「1」（利用したい）に○をつけた方にかかいます。

問17-2 問17-1の目的で宛名のお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 幼稚園・保育園等で子どもを預かる事業
2. 地域子育て支援センター等で子どもを預かる事業 ※1
3. ファミリー・サポート・センター等で子どもを預かる事業 ※2
4. その他（ ）

※1 地域子育て支援センター、

体育館（園）などを活用して育児に関する相談や指導を行う他、子育てチーム養成のための講習会などを企画・運営する事業

※2 ファミリー・サポート・センター

子育てのお手伝いをしたい人と、子育てのお手伝いをしてほしい人が会員になり、お互いに助け合いながら子育てをする、会員制の有償ボランティア組織

## 理想的な子どもの人数について

問21 理想的な子どもの数は何人ですか。また、金額で何人のお子さんを持つおつもりですか。(1)、(2)それぞれ1つに○

(1) 理想的な子どもの数

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

(2) 持つもりの子どもの数 (現在のお子さんの人数も含む)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

持つもりの子どもの数(問21(2))が、理想的な子どもの数(問21(1))より少ない方にうかがいます。

問21-1 持つもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうですか。(あてはまる番号すべてに○)

- |                               |   |
|-------------------------------|---|
| 1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから         | 8. 健康上の理由から                             |
| 2. 家が狭いから                     | 9. 欲しいけれどもできないから                        |
| 3. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから       | 10. 配偶者の家事・育児への協力が得られないから               |
| 4. 子どもがひびひや痒痒いから              | 11. 配偶者が望まないから                          |
| 5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから          | 12. 自分または配偶者が定年退職するまでに、全ての子どもに成人してほしいから |
| 6. 高齢で産むのは嫌だから                | 13. その他( )                              |
| 7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから |   |

## ファミリー・サポート・センターについて

※ファミリー・サポート・センター  
子育てのお手伝いしたい人と、子育てのお手伝いをしてほしい人が会員になり、お互いに地域の中で助け合います。ボランティア活動です。会員登録料はランニングコストがかかります。

再び、すべての方にうかがいます。

問19 過去1年間にファミリー・サポート・センターを利用したことはありますか。その場合、利用件数は何件になりますか。(1つに○)

1. 利用している ⇨ 過去1年間で [ ] 件 問19-1-2へ  
2. 利用していない 問20へ

問19で「1」(利用している)に○をつけた方にうかがいます。

問19-1 次の活動のうち、もともと役に立つものはどれですか。(1つに○)

- |   |
|---|
| 1. 教育・保育事業・学校・放課後児童クラブ(学童保育)等の開所時間の前後の子どもの預かり |
| 2. 保育施設やその他の送迎                                |
| 3. 買い物等の外出時の子どもの預かり                           |
| 4. 病児・病後児の預かり                                 |
| 5. 宿泊を伴う子どもの預かり(現在、米沢市では未実施)                  |
| 6. 早期・夜間等の緊急時の子どもの預かり(現在、米沢市では未実施)            |
| 7. その他( )                                     |

問19-2 ファミリー・サポート・センターでは、子育てを地域で相互補助するお手伝いをしておりますが、現在の活動内容についてどう思いますか。(1つに○)

- |         |            |       |
|---------|------------|-------|
| 1. 満足   | 3. どちらでもない | 5. 不満 |
| 2. まあ満足 | 4. やや不満    |       |

再び、すべての方にうかがいます。

問20 今後、ファミリー・サポート・センターの賛助会員または賛助活動員として、振替活動に関わりたいと思いませんか。(1つに○)

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| 1. 関わりたい           | 3. わからない |
| 2. 関わりたいくない(関われない) |          |

小学生用

問23 米沢市の地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。(1つに○)

満足度が低い ← 1 2 3 4 5 → 満足度が高い

子育ての環境や支援に関するご意見について

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

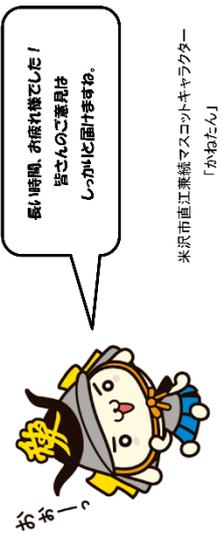
-----

-----

-----

-----

設問は以上になります。  
調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。  
同封の封筒に入れて、7月1日（月）までに  
ご返函くださいますようお願い致します。



米沢市直江兼続マスコットキャラクター「かねたん」

小学生用

米沢市の子育て環境について

再び、すべての方にうかがいます。

問22 米沢市では、子どもがすこやかに育つため、以下の①～⑨の施策の方向を定めて環境整備を進めています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。①～⑨の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号1つずつ○

	(1) 施策の評価			(2) 今後力を入れるべきか						
	評価できる	評価できない	評価しない	是非とも	是非しそ	しそ				
① 教育・保育の提供体制の確保 <small>(保育所や認定こども園の待機児童の解消など)</small>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 子育て支援事業の実施 <small>(放課後児童クラブ、延長保育、一時預かり、育児休暇取得支援、育児休業取得支援、育児休業給付金申請支援など)</small>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 子育てに関する多様な情報発信 <small>(子育て支援アプリやLINE等のSNSによる発信)</small>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 地域子育て支援センターなど相談機能の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 家庭と地域の教育力の向上 <small>(親子を対象とした講座や、地域のママセンターなどとした子育ての体験イベント)</small>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 母子子の情報促進 <small>(妊婦への支援、産後の保育所等への入所支援など)</small>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 多子世帯に対する支援 <small>(保育料の軽減、多胎児への支援など)</small>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ 「もくいくひろば」や「屋内遊戯施設」の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 子育てと仕事の両立支援 <small>(転職研修に対する相談窓口の取組、業種内職、労働時間短縮の取組など)</small>	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

米沢市子育て支援に関するアンケート調査  
報告書

---

発行日	令和6年10月
発行元	米沢市健康福祉部子育て支援課
住所	〒992-8501 山形県米沢市金池5丁目2番25号
電話	0238-22-5111
FAX	0238-22-5516
集計・分析	株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所